

(案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果（平成28年度第2四半期）について

平成28年12月7日
福島県放射線監視室

福島県が平成28年度第2四半期（平成28年7月～9月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率や環境試料については、一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線(P1～2、P20～26、P47)

(1) 空間線量率

39地点で空間線量率を常時測定しました。

各測定地点の月間平均値の範囲は0.053 μ Gy/h(53 nGy/h)（いわき市小川）～11.5 μ Gy/h(11,500 nGy/h)（大熊町夫沢）、最大値の範囲は0.059 μ Gy/h(59 nGy/h)（いわき市小川）～11.9 μ Gy/h(11,900 nGy/h)（大熊町夫沢）であり、月間平均値及び月間最大値が事故前の測定値の範囲を上回っていますが、全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。また、福島第一原子力発電所からの距離が遠くなるに従い、測定値は低くなる傾向にありました。

※Gy（グレイ） \div Sv（シーベルト）

(2) 空間積算線量

64地点で蛍光ガラス線量計による空間積算線量の測定を実施しました。

各地点の90日換算値は、0.17 mGy（南相馬市萱浜）～28 mGy（大熊町夫沢）であり、事故前の測定値の範囲を上回りましたが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。また、福島第一原子力発電所からの距離が遠くなるに従い、測定値は低くなる傾向にありました。

2 環境試料(P3～8、P27～46、P48～51)

(1) 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

14地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。

各測定地点の月間平均値は、全アルファ放射能が0.013 Bq/m³（大熊町大野、双葉町郡山）～0.062 Bq/m³（葛尾村夏湯）、全ベータ放射能が0.030 Bq/m³（双葉町郡山）～0.11 Bq/m³（浪江町大柿ダム）であり、福島第一原子力発電所からの距離に関係なく、いずれも事故前の測定値と同程度であり、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。

また、最大値は全アルファ放射能が0.052 Bq/m³（双葉町郡山）～0.28 Bq/m³（葛尾村夏湯）、全ベータ放射能が0.086 Bq/m³（双葉町郡山）～0.42 Bq/m³（浪江町大柿ダム）であり、ともに事故前の最大値を下回っており、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。

(案)

(2) 核種濃度 (ガンマ線放出核種)

今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じん、降下物、上水、海水、海底沈積物、松葉の6品目で合計479試料でした。

事故後、環境試料等の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わない方法で分析測定してきましたが、設備等が整ったため、今年度より従来まで実施してきた文部科学省放射能測定法シリーズに定められた分析を再開しました。そのため、前処理や測定時間延長により検出下限値が下がり、より低濃度まで測定できるようになりました。

全6品目の139試料からセシウム-134が、全6品目の294試料からセシウム-137が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、大気浮遊じん・降下物・上水・松葉は概ね減少傾向、海底土は採取場所のわずかな違いによる測定値の変動がありますが、概ね横ばい傾向にあります。海水は9月分が7～8月分と比較して高い値となっていますが、8月中旬頃から台風が複数回本県に接近した後の採水であったため、地表面の放射性物質が雨水とともに海に流入したことや、波浪により海底土が巻き上げられ試料に混入したことが原因と考えられます(9月分試料の懸濁物質濃度は7～8月分と比較して高い値でした)。

なお、上水の一部からセシウム-134及びセシウム-137が検出されていますが、摂取基準である10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。また、降下物からコバルト-60が検出されましたが、検出下限値が10Bq/m²から約0.5Bq/m²以下に下がったことにより、これまで検出できなかった微量な核種を検出できるようになったためです。

(3) 核種濃度 (ベータ線放出核種)

大気中水分1地点3試料、上水11地点11試料、海水9地点21試料の合計35試料について、トリチウムの調査を実施しました。このうち、大気中水分1地点2試料、上水1地点1試料、海水1地点1試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

海水7地点19試料、海底沈積物7地点7試料について、ストロンチウム-90の調査を実施しました。海水7地点15試料、海底沈積物3地点3試料からストロンチウム-90が検出されました。海水は事故直後の値と比較すると大幅に低下したものの、事故前の測定値の範囲を上回った試料があります。海底沈積物は採取場所のわずかな違いによる測定値の変動がありますが、事故後概ね横ばい傾向にあります。

(4) 核種濃度 (アルファ線放出核種)

海水7地点19試料、海底沈積物7地点7試料についてプルトニウムの調査を実施しました。海水1地点1試料からプルトニウム-238が、調査開始(平成25年度)以後初めて検出されました(測定値0.010 mBq/l、検出下限値0.009 mBq/l)。なお、プルトニウム-238は、事故後本県の海底土から最大0.02 Bq/kg検出されていますが、過去の諸外国の核実験により県外の海底土で検出されている値(最大0.22 Bq/kg)の範囲内です。また、海水1地点1試料、海底沈積物全試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

(案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(平成28年度 第2四半期)

福 島 県

目 次

測定結果の概要

1 空間放射線	
(1) 空間線量率	1
(2) 空間積算線量	2
2 環境試料	
(1) 大気浮遊じん	3
(2) 環境試料の核種濃度	4

測定結果

1 測定項目	1 3
2 測定方法	1 4
3 測定結果	
(1) 空間放射線	2 0
(2) 環境試料	2 7
4 比較対照地点の測定結果	
(1) 空間線量率	4 7
(2) 環境試料	4 8

試料採取時の付帯データ集	5 2
環境試料放射能測定方法詳細一覧表	5 3
測定値の取扱い方法	5 8

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=33709

○または、
福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

平成 28 年度第 2 四半期（平成 28 年 7 月～9 月）の測定結果の概要

1 空間放射線

(1) 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満及び福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 28 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 39 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下の通りです。詳細な測定値は 20～22、47 ページを参照。なお、今年度より測定値が 4 桁以上の場合には有効数字 3 桁として取り扱っています。

ア 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により依然として事故前の月間平均値を上回っていますが、全体として年月の経過とともに減少する傾向にありました。測定値は 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点の順に低くなっています。

各地点の空間線量率の月間平均値

（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値(*1)		
		7 月	8 月	9 月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	573～11,500	563～11,200	539～10,400	582～	910～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/15 に減少			18,341	176,000	
1F・2F 周辺	28	53～1,610	53～1,510	54～1,440	51～	117～	33～54
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/36 に減少			2,547	58,454	
比較対 照地点	3	67～155	66～152	66～149	66～	181～	39～42
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/24 に減少			220	3,716	

(注) *1 「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

イ 1時間値の変動状況

空間線量率の1時間値は、降雨によりおよそ 300nGy/h 以下の低線量地域では一時的に上昇し、およそ 300nGy/h を超える高線量地域では一時的に低下するという変動が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間最大値の範囲			過去の月間最大値		
		7月	8月	9月	H26～	事故直後	事故前
1F 近傍	8	588～11,900	585～11,800	560～11,100	18,578	1,018,174	157
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/86 に減少					
1F・2F 周辺	28	59～1,700	79～1,680	71～1,530	2,674	1,591,066	
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/940 に減少					
比較対 照地点	3	71～163	80～169	81～165	232	9,956	88
		事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/59 に減少					

(2) 空間積算線量

1F 近傍で 7 地点、1F・2F 周辺で 57 地点、計 64 地点で蛍光ガラス線量計(RPLD)により空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は 23～26 ページを参照。

90 日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の 90 日換算値（単位：mGy/90 日）

測定 エリア	測定 地点数	測定値	過去の測定値		
		(平成 28 年 7 月 14 日～ 平成 28 年 10 月 20 日)	H26～	事故直後	事故前(*1)
1F 近傍	7	1.4～28	1.5～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約 1/5 に減少			
1F・2F 周辺	57	0.17～20	0.17～31	0.18～35.84	
		事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約 1/2 に減少			

(注) *1 事故前：事故前から測定していた 20 地点における平成 15 年度第 1 四半期から平成 22 年度第 3 四半期まで。

2 環境試料

(1) 大気浮遊じん

1F近傍で3地点、1F・2F周辺で11地点、計14地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は27～28ページを参照。

ア 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、発電所からの距離に関係なく、いずれも事故前の月間平均値と同程度であり、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値

(単位：Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値		
			7月	8月	9月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.015～ 0.018	0.014～ 0.019	0.013～ 0.015	0.004～ 0.059	0.007～ 0.039	0.007～ 0.076
	1F・2F 周辺	11	0.017～ 0.062	0.015～ 0.044	0.014～ 0.038	0.004～ 0.088	0.009～ 0.046	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.033～ 0.072	0.032～ 0.079	0.030～ 0.068	0.022～ 0.16	0.025～ 0.22	0.018～ 0.12
	1F・2F 周辺	11	0.038～ 0.11	0.036～ 0.081	0.032～ 0.069	0.017～ 0.12	0.030～ 2.0	

イ 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回りました。また、全アルファ・全ベータ放射能に良い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられ、事故の影響による測定値の変動は見られませんでした。なお、巻末のグラフ集(51～57ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値

(単位：Bq/m³)

測定項目	測定 エリア	測定 地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値		
			7月	8月	9月	H26～	事故直後	事故前
全 アルファ 放射能	1F 近傍	3	0.063～ 0.099	0.084～ 0.13	0.052～ 0.079	0.21	0.19	0.58
	1F・2F 周辺	11	0.076～ 0.28	0.098～ 0.22	0.058～ 0.15	0.35	0.34	
全 ベータ 放射能	1F 近傍	3	0.099～ 0.31	0.13～ 0.41	0.086～ 0.25	0.33	1.3	0.78
	1F・2F 周辺	11	0.12～ 0.42	0.14～ 0.30	0.087～ 0.21	0.45	54	

(2) 環境試料の核種濃度

ア ガンマ線放出核種

今期間に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 50 地点 340 試料、降下物が 26 地点 78 試料、上水が 11 地点 11 試料、海水が 9 地点 21 試料、海底沈積物が 9 地点 9 試料、松葉が 20 地点 20 試料の 6 品目で合計 479 試料でした。詳細な測定値は 29～46、48、50～51 ページを参照。

事故後、環境試料等の濃縮や化学分離操作などの前処理を行わない方法で分析測定してきましたが、設備等が整ったため、今年度より従来まで実施してきた文部科学省放射能測定法シリーズに定められた分析を再開しました。そのため、前処理や測定時間延長により検出下限値が下がり、より低濃度まで測定できるようになりました。

全 6 品目の 139 試料からセシウム-134 が、全 6 品目の 294 試料からセシウム-137 が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りました。大気浮遊じん・降下物・上水・松葉は概ね減少傾向、海底沈積物は採取場所のわずかな違いによる測定値の変動がありますが、概ね横ばい傾向にあります。海水は 9 月分が 7～8 月分と比較して高い値となっていますが、8 月中旬頃から台風が複数回本県に接近した後の採水であったため、地表面の放射性物質が雨水とともに海に流入したことや、波浪により海底土が巻き上げられ試料に混入したことが原因と考えられます (1F 放水口 3 地点の浮遊物質量 7～8 月：1～3mg/L、9 月：7～8mg/L)。

なお、上水の一部からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出されていますが、摂取基準である 10Bq/kg(10Bq/L)を大きく下回っています。また、降下物からコバルト-60 が検出されましたが、検出下限値が約 10Bq/m² から約 0.5Bq/m² 以下に下がったことにより、これまで検出できなかった微量な核種を検出できるようになったためです。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気浮遊じん (mBq/m ³)	Cs-134	1F 近傍	8	ND～0.12	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.065	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.040	ND～8.2	—
	Cs-137	1F 近傍	8	ND～1.2	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～1.2	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND～0.21	ND～0.37	ND～10	—
降下物 (Bq/m ²) (MBq/km ²)	Co-60	1F 近傍	2	ND～0.54	ND	ND	ND
		1F・2F 周辺	15	ND	ND	ND	
		比較対照地点	9	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	9.8～160	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F 周辺	15	ND～21	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	9	ND～8.7	ND～180	ND～140,000	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	56～860	21～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F 周辺	15	1.6～110	ND～320	ND～1,000,000	
		比較対照地点	9	ND～47	ND～620	ND～150,000	ND～0.093

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
陸 土 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27は Bq/kg 湿))	Co-60	1F 近傍	2	—	ND～2.5	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	—	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	—	ND	ND	ND
	Sb-125	1F 近傍	2	—	ND	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	—	ND	ND	
		比較対照地点	7	—	ND～28	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	—	5,600～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	—	4.9～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	—	5.0～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	—	20,000～230,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	—	29～28,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	—	37～3,600	18～14,000	ND～30
上 水 (Bq/l)	Cs-134	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.019	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	2	—	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	ND～0.089	ND～0.18	ND～0.29	
		比較対照地点	2	—	ND～0.011	ND	ND
海 水 (Bq/l)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND～0.20	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND～0.013	ND～0.067	ND～0.094	
		2F 放水口	2	0.008～0.012	ND～0.005	ND～0.20	
		松川浦	1	0.005	ND	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.009～1.1	ND～1.0	ND～5.0	ND～ 0.003
		1F 沖合	3	0.005～0.071	ND～0.31	ND～0.19	
		2F 放水口	2	0.047～0.070	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	0.028	ND	ND	ND～0.002

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
海底沈積物 (Bq/kg 乾)	Mn-54	1F 放取水口	3	ND	ND～1.1	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.62	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	ND	ND	ND	ND
	Co-60	1F 放取水口	3	ND	ND～1.0	ND～1.3	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	
		松川浦	1	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 放取水口	3	33～85	51～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	6.6～22	6.8～130	25～72	
		2F 放水口	2	13～22	11～68	47～230	
		松川浦	1	ND	0.95～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	180～460	210～870	230～1,000	ND～ 0.97
		1F 沖合	3	37～120	28～380	61～170	
		2F 放水口	2	75～120	59～200	100～470	
		松川浦	1	1.8	4.3～13	2.6	ND～2.3
松葉 (Bq/kg 生)	Cs-134	1F 近傍	2	45～380	59～1,200	740～210,000	ND
		1F・2F 周辺	13	ND～45	ND～280	ND～61,000	
		比較対照地点	5	ND～4.4	ND～91	ND～33,000	—
	Cs-137	1F 近傍	2	260～2,100	300～6,100	1,900～230,000	ND～1.2
		1F・2F 周辺	13	1.9～250	ND～910	ND～68,000	
		比較対照地点	5	ND～22	ND～290	ND～52,000	—

イ ベータ線放出核種

大気中水分 1 地点 3 試料、上水 11 地点 11 試料、海水 9 地点 21 試料の合計 35 試料について、トリチウムの調査を実施しました。詳細な測定値は 44～45、49、51 ページを参照。

このうち、大気中水分 1 地点 2 試料、上水 1 地点 1 試料、海水 1 地点 1 試料からトリチウムが検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

海水 7 地点 19 試料、海底沈積物 7 地点 7 試料について、ストロンチウム-90 の調査を実施しました。詳細な測定値は 45、51 ページを参照。

海水 7 地点 15 試料、海底沈積物 3 地点 3 試料からストロンチウム-90 が検出されました。海水は事故直後の値と比較すると大幅に低下したものの、事故前の測定値の範囲を上回った試料があります。海底沈積物は採取場所のわずかな違いによる測定値の変動がありますが、事故後概ね横ばい傾向にあります。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
大気中 水分 (mBq/m ³)	H-3	1F 近傍	—	—	—	—	ND～23
		1F・2F 周辺	—	—	—	—	
		比較対照地点	1	ND～11	ND～21	ND～41	ND～12
陸 土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 近傍	2	—	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F 周辺	13	—	ND～17	ND～14	
		比較対照地点	7	—	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上 水 (Bq/ℓ)	H-3	1F 近傍	—	—	—	—	ND～1.2
		1F・2F 周辺	11	ND～0.55	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	2	—	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
	Sr-90	1F 近傍	—	—	—	—	0.001～0.002
		1F・2F 周辺	11	—	ND～0.002	ND～0.002	
		比較対照地点	1	—	0.001	0.001～0.002	0.001～0.002
海 水 (Bq/ℓ)	H-3	1F 放取水口	3	ND～0.55	ND～2.6	ND～6.2	ND～2.9
		1F 沖合	3	ND	ND～0.91	ND～0.58	
		2F 放水口	2	ND	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	ND	ND	ND	ND～0.46
	Sr-90	1F 放取水口	3	ND～0.087	0.001～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F 沖合	3	ND～0.0019	0.001～0.031	0.001～0.26	
		2F 放水口	2	—	0.001～0.003	0.033～0.034	
		松川浦	1	0.0010	0.001	0.001	0.001～0.002
海 底 沈 積 物 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 放取水口	3	ND～0.27	ND～1.3	ND～1.2	ND
		1F 沖合	3	ND～0.23	ND～0.55	ND～0.19	
		2F 放水口	2	—	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	ND	ND～0.21	ND	ND～0.02

ウ アルファ線放出核種

海水7地点19試料、海底沈積物7地点7試料について、プルトニウム-238及びプルトニウム-239+240の調査を実施しました。詳細な測定値は45、51ページを参照。

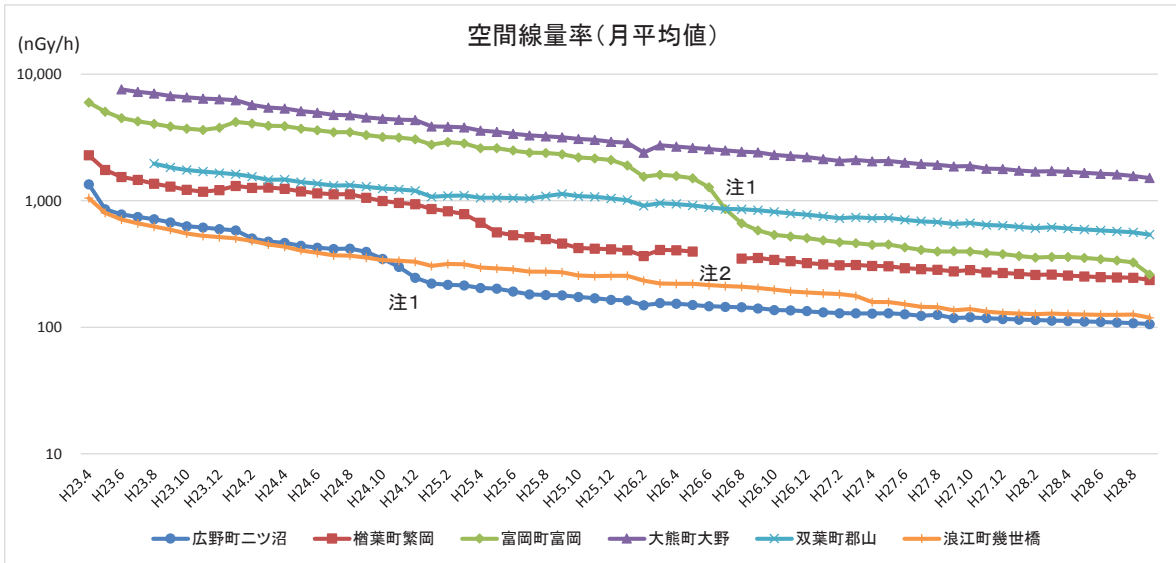
海水1地点1試料からプルトニウム-238が、調査開始（平成25年度）以後初めて検出されました（測定値0.010 mBq/ℓ、検出下限値0.009 mBq/ℓ）。なお、プルトニウム-238は、事故後本県の海底土から最大0.02 Bq/kg検出されていますが、過去の諸外国の核実験により県外の海底土で検出されている値（最大0.22 Bq/kg）の範囲内です。

また、海水1地点1試料、海底沈積物全試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

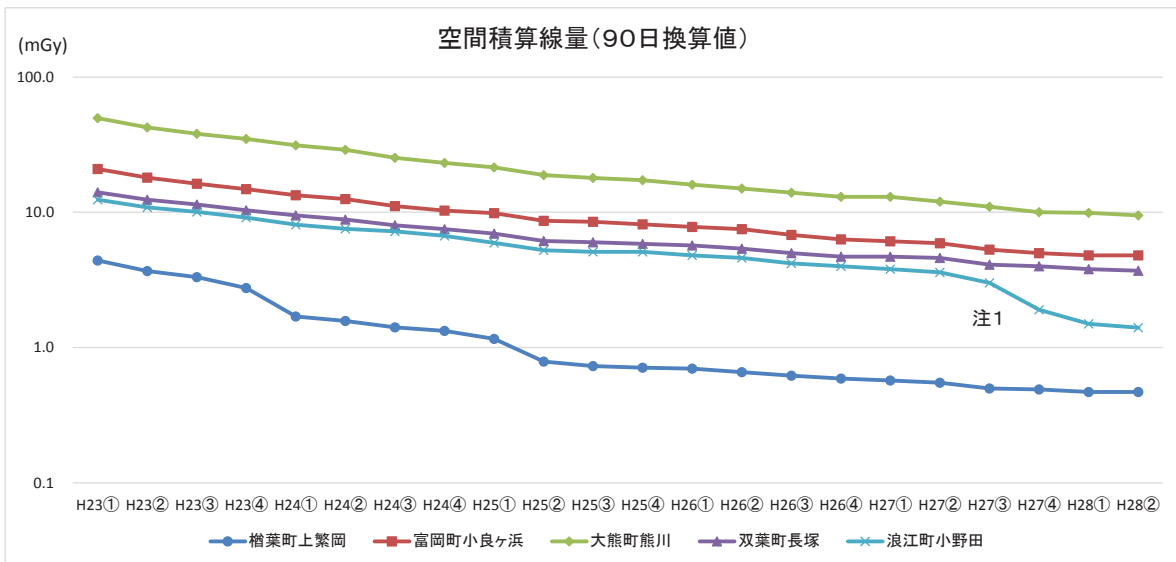
環境試料のアルファ線放出核種濃度

試料名	核種	採取 エリア	地点 数	測定値	過去の測定値		
					H26～	事故直後	事故前
陸 土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 近傍	2	—	ND～0.09	ND～0.03	ND～0.03
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	—	ND～0.03	ND～0.18	ND～0.08
	Pu- 239+240	1F 近傍	2	—	0.05～0.36	0.20～0.34	ND～0.44
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	—	ND～1.2	ND～4.8	ND～2.6
	Am-241	1F 近傍	2	—	0.02～0.15	0.02～0.16	—
		1F・2F 周辺	13	—	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	—	0.20～0.41	0.11	—
	Cm-244	1F 近傍	2	—	ND	ND	—
		1F・2F 周辺	13	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	—
上 水 (mBq/l)	Pu-238	1F 近傍	—	—	—	—	—
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	—
	Pu- 239+240	1F 近傍	—	—	—	—	ND
		1F・2F 周辺	11	—	ND	ND	
		比較対照地点	1	—	ND	ND	ND
海 水 (mBq/l)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND～0.010	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	
		2F 放水口	2	—	ND	ND	
		松川浦	1	ND	ND	ND	—
	Pu- 239+240	1F 放取水口	3	ND～0.009	ND～0.016	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND	ND～0.009	ND～0.010	
		2F 放水口	2	—	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	ND	ND	ND	ND～0.012
海 底 沈 積 物 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	—
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	
		2F 放水口	2	—	ND	ND	
		松川浦	1	ND	ND	ND	—
	Pu- 239+240	1F 放取水口	3	0.18～0.27	0.09～0.34	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.39～0.50	0.31～0.57	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	—	0.14～0.31	0.21～0.25	
		松川浦	1	0.20	0.18～0.31	0.20	

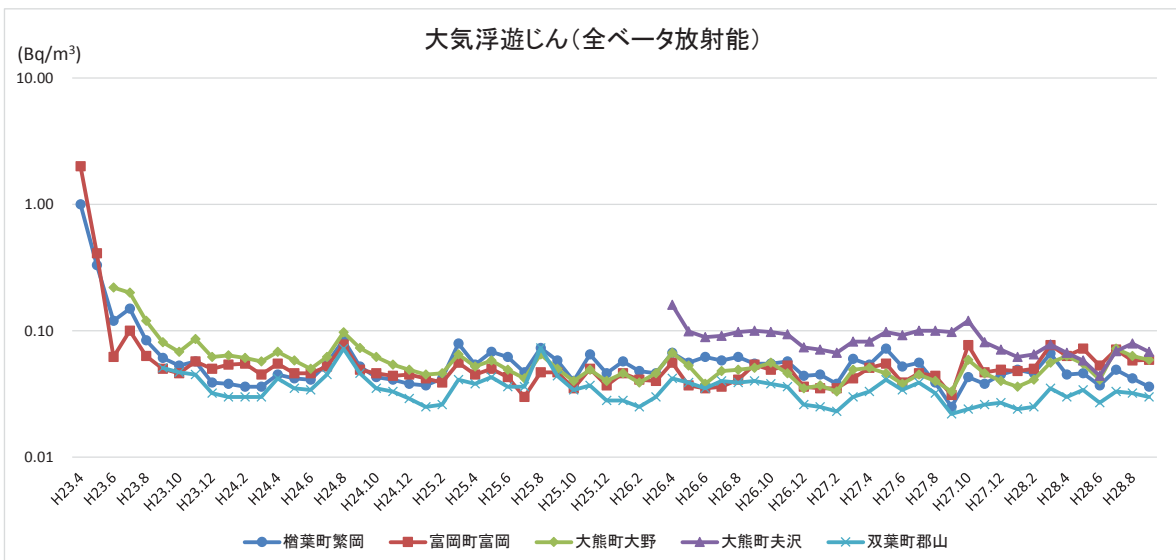
事故後の各項目毎のトレンドグラフ

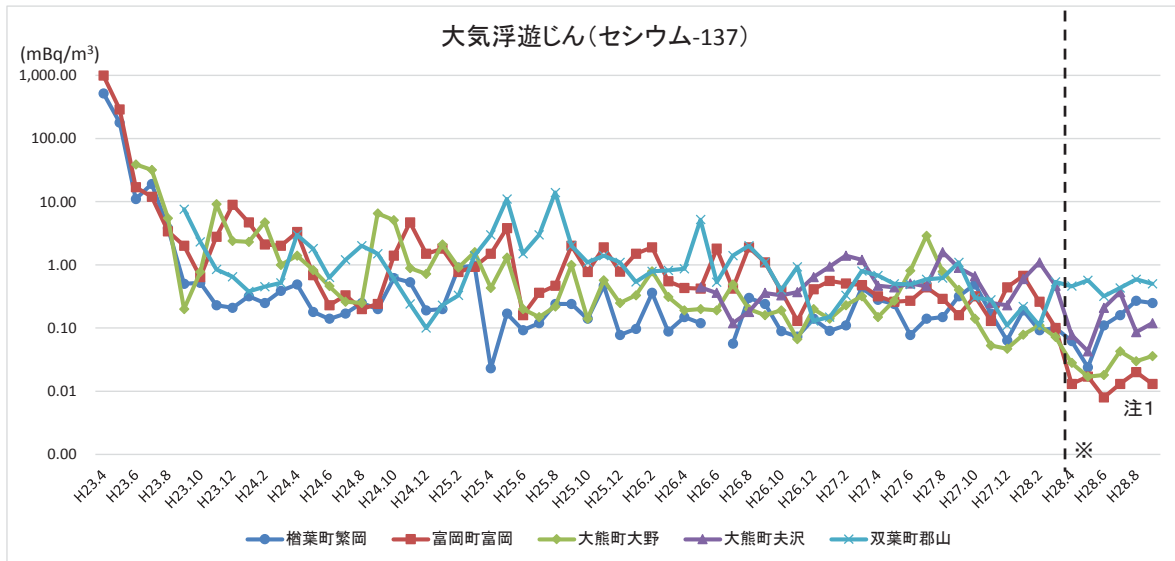


注1: 除染による減少、注2: 欠測



注1: 除染による減少

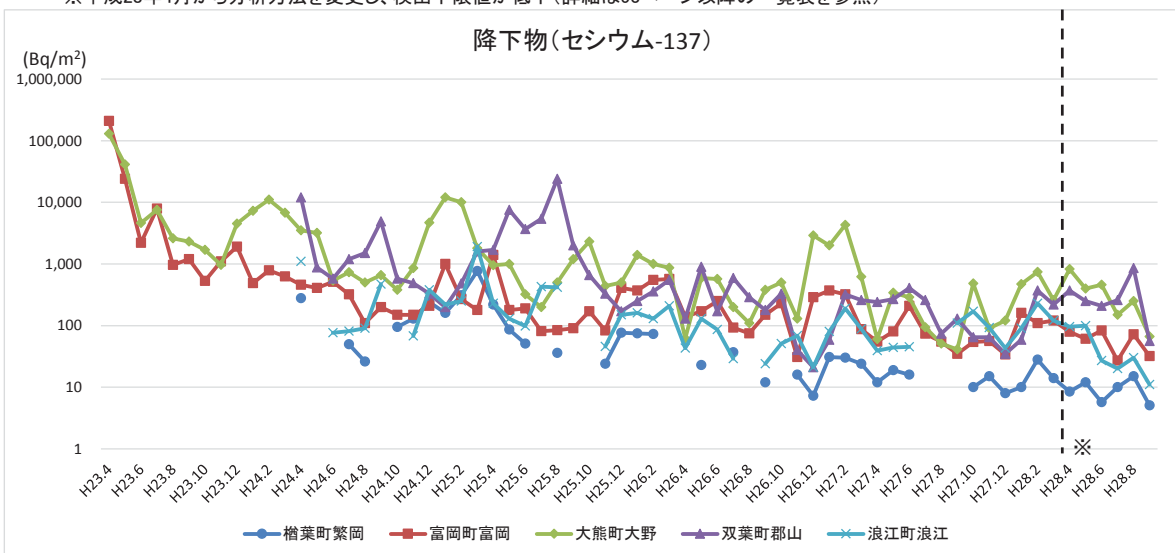




グラフの途切れは検出下限値未滿

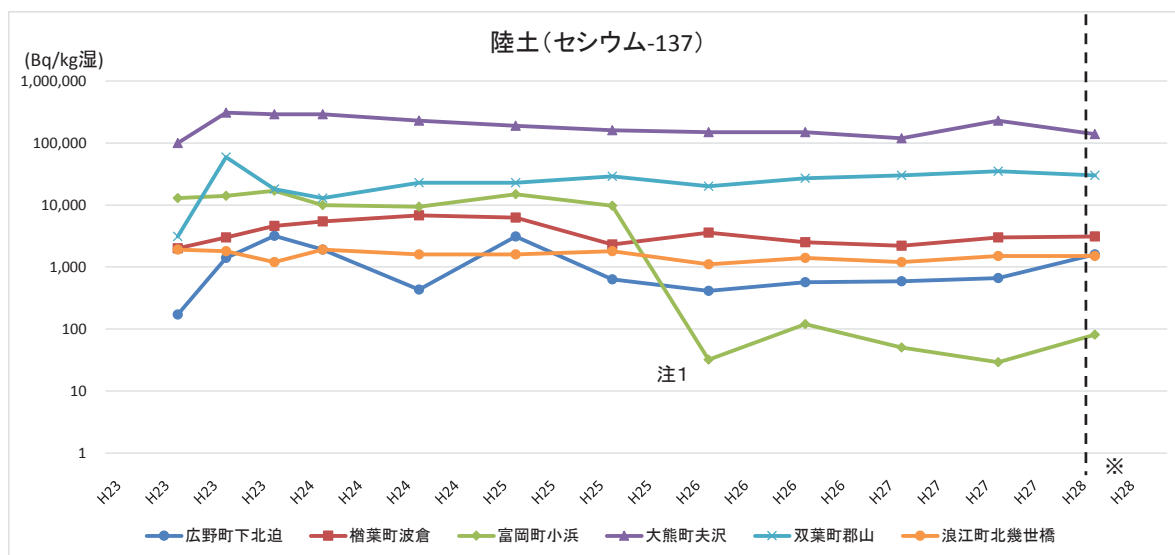
注1：機器不具合のため参考値

※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)



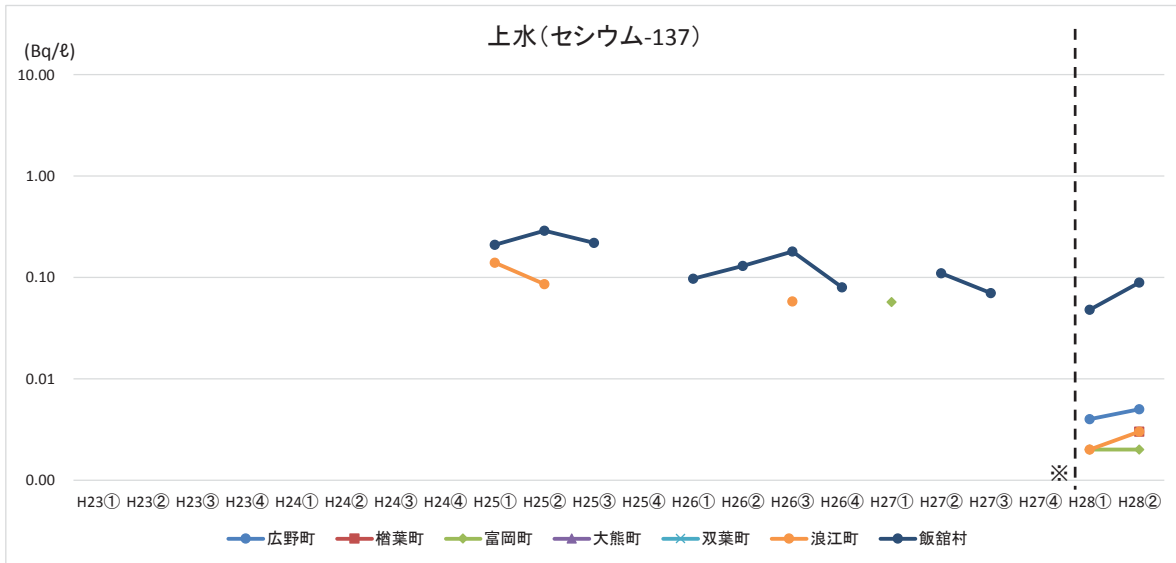
グラフの途切れは検出下限値未滿

※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)

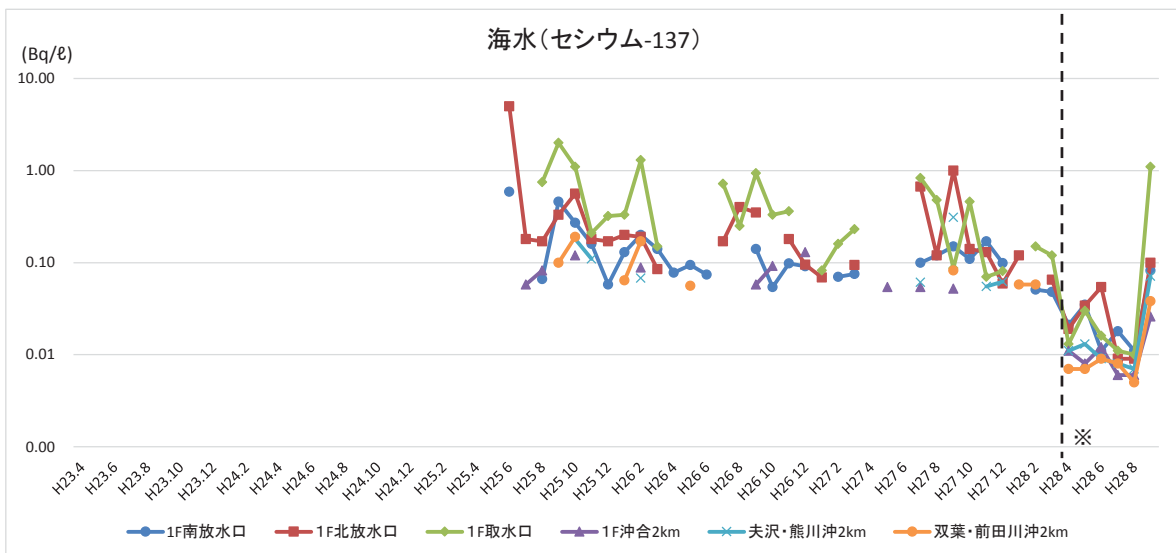


注1：除染による減少

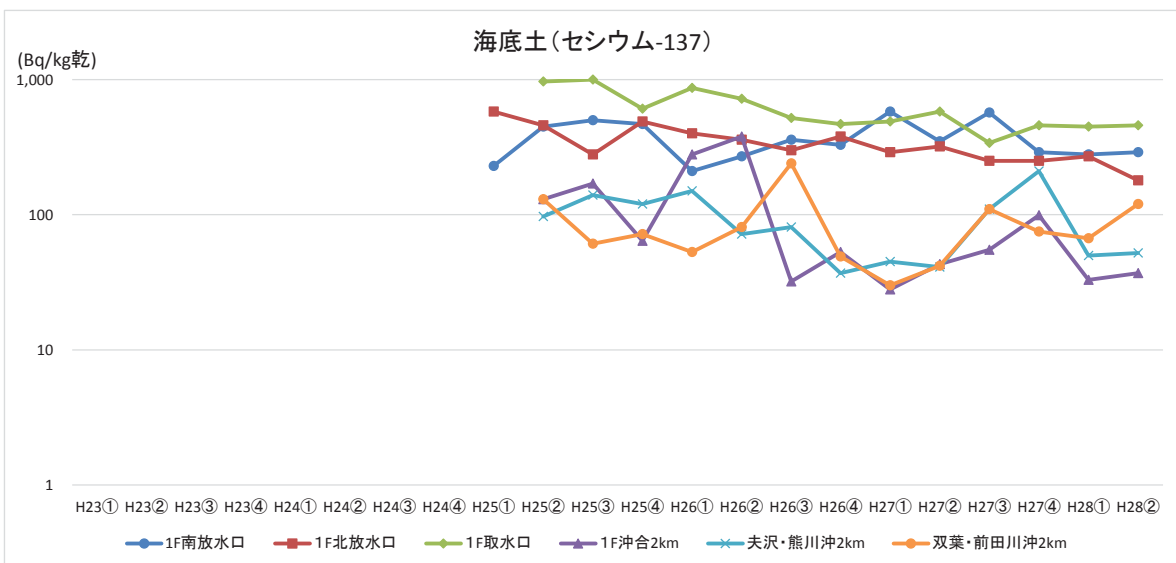
※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)

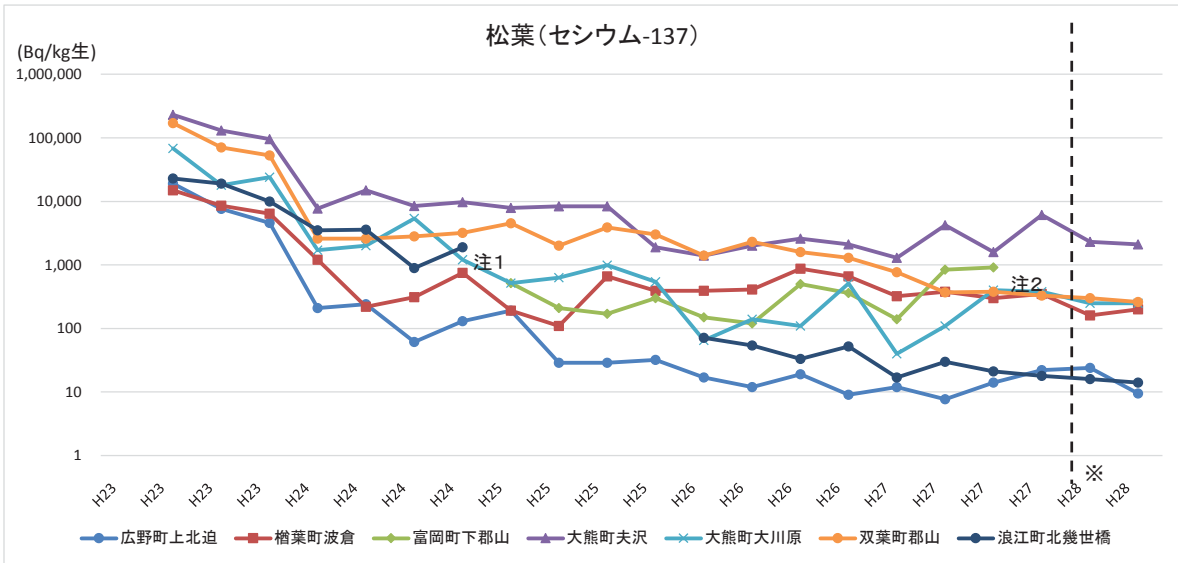


グラフの途切れは検出下限値未満
 ※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)



グラフの途切れは検出下限値未満
 ※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)





注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施、注2: 富岡町下郡山は平成27年第4四半期から欠測
 ※平成28年4月から分析方法を変更し、検出下限値が低下(詳細は53ページ以降の一覧表を参照)

平成28年度第2四半期 測定分

平成28年7月～平成28年9月

1 測定項目

(1) 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	36	連続	環境創造センター
空間積算線量	64	3ヵ月積算	

(2) 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数 (今期)							実施機関	
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm		
大 気	大気浮遊じん	14	毎月	3	連続 全α全β	42							環境創造 センター
		10		3		30							
		19	毎週	13		247							
降下物	降下物	17	毎月	3		50							
陸 土表	土	15	年2回	0		0							
			年1回	0				0	0	0			
陸 水上	水	11	年4回	1		11		11					
			年1回	0				0	0				
海 水海	水	6(*1)	毎月	3	18	18		18	18	18			
			年4回	1	2	2		2					
		2(*2)	年1回	0				0	0				
海底沈積物	海底沈積物	6(*1)	年4回	1		6			6	6			
			年4回	1		2							
		2(*2)	年1回	0				0	0				
指標植物	松 葉	15	年4回	1		15	15						

*1 東京電力(株)福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力(株)福島第二原子力発電所周辺海域

(3) 測定項目 (比較対照地点調査)

ア 空間放射線

項目	地点数	測定頻度	実施機関
空間線量率	3	連続	環境創造センター

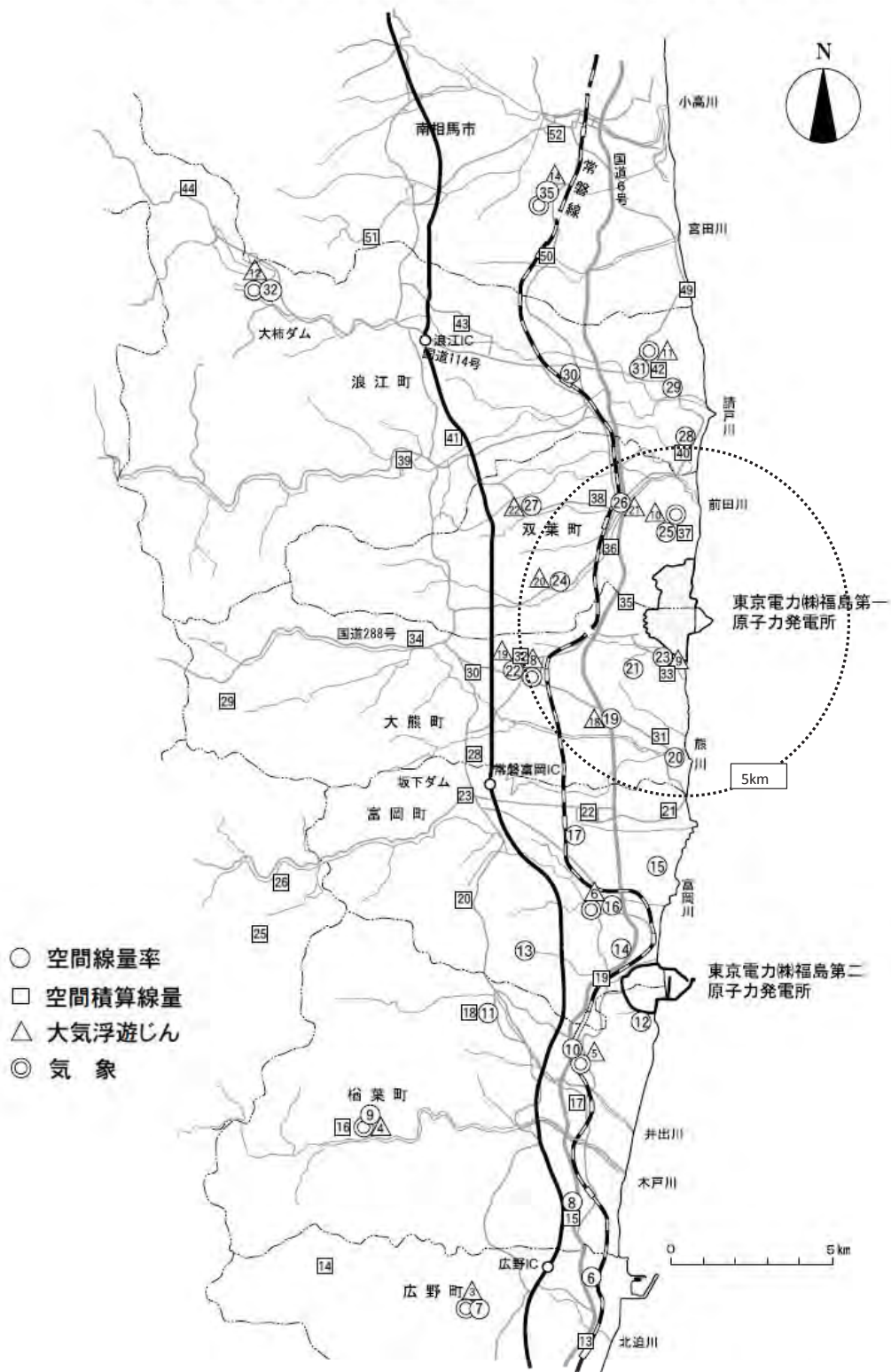
イ 環境試料

区分	試料名	地点数	採取頻度	採取回数 (今期)	測定試料数 (今期)							実施機関
					全β	γ	¹³¹ I	³ H	Sr	Pu	Am,Cm	
大 気	大気浮遊じん	7	毎月	3		21						環境創造 センター
	大気中水分	1		3				3				
降下物	降下物	9	毎月	3		27						
陸 土表	土	7	年1回	0		0			0	0	0	
陸 水上	水	2	年1回	0		0		0	0	0		
海 水海	水	1	年1回	1	1	1		1	1	1		
海底沈積物	海底沈積物	1	年1回	1		1			1	1		
指標植物	松 葉	5	年4回	1		5	5					

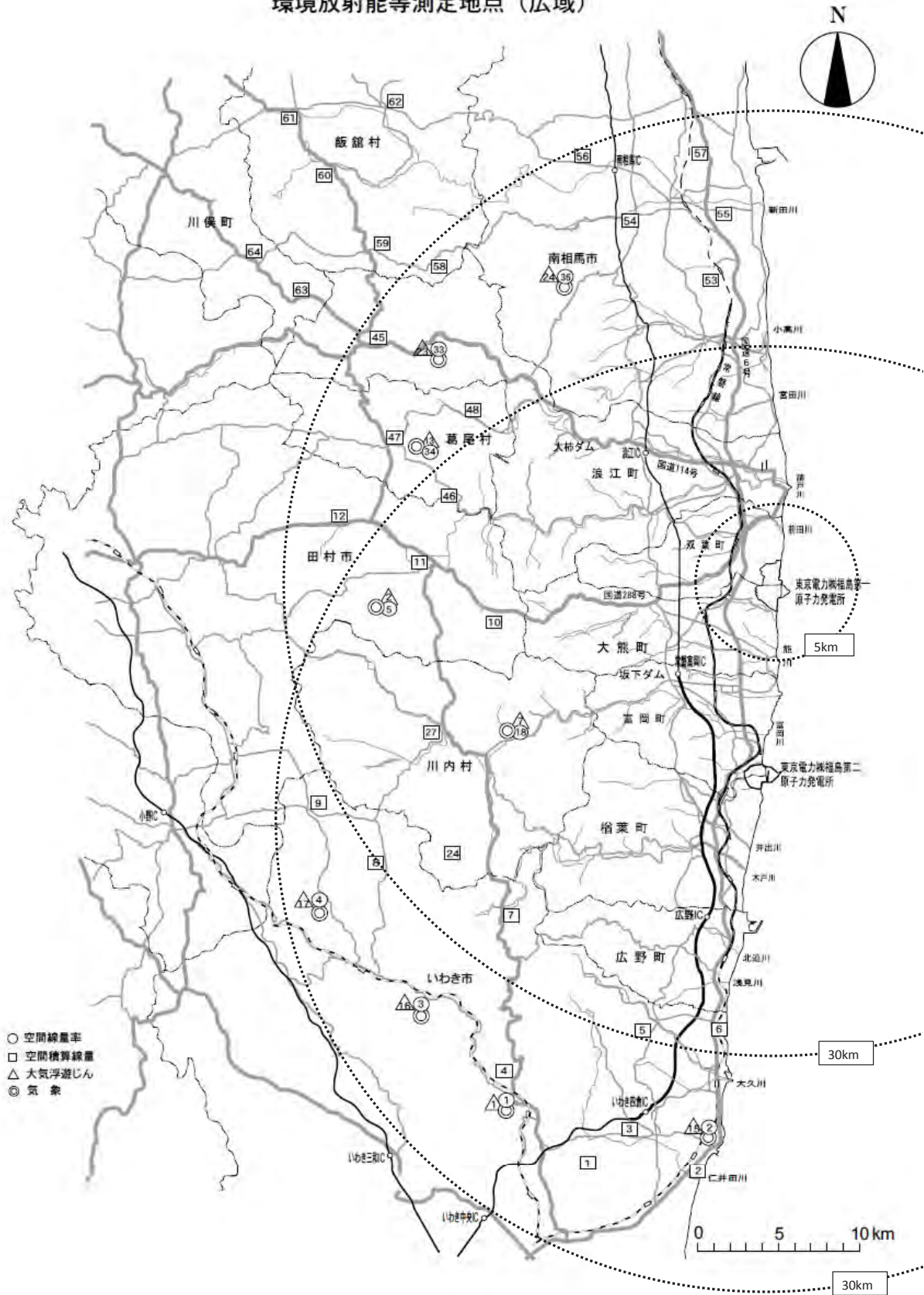
2 測定方法

測定項目		測定装置	測定方法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器 (日立製作所製 ADP-1122型他) 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 (日立製作所製 RIC-348型他) 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： ⁶⁰ Co、 ¹³⁷ Cs及び ²²⁶ Ra
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」(平成14年制定) 線量計：蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス製 SC-1型) 測定器：蛍光ガラス線量計測装置 (AGCテクノグラス製 FGD-202型) 測定位置：地表上約1m 校正線源： ¹³⁷ Cs
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式(吸引量：約90m ³ /6時間) 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器 (日立製作所製 ADC-121他) 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl
	全ベータ放射能	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」(昭和51年改訂) 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源：U ₃ O ₈ (海水)
環境試料	核種濃度	γ線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」(平成4年改訂) 測定器：ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ製 GC3018型他) 波高分析器(キャンベラ製 LINX DSA MAC型他)
		β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」(平成14年改訂) 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置 (日立製作所製 LSC-LB7型他)
	放射性ストロンチウム濃度	β線自動測定装置	測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」(平成15年改訂)に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ (日立製作所製 LBC-4202B型) 校正線源： ⁸⁹ Sr及び ⁹⁰ Sr
	アメリシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度	α線放出核種分析装置	測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」(平成2年改訂)及び「アメリシウム分析法」(平成2年)に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器(ORTEC製 BU-017-450型他) 波高分析器(ORTEC デジタルMCA(ソフトウェア)他) 校正線源： ²³⁹ Np、 ²⁴¹ Am及び ²⁴⁴ Cm

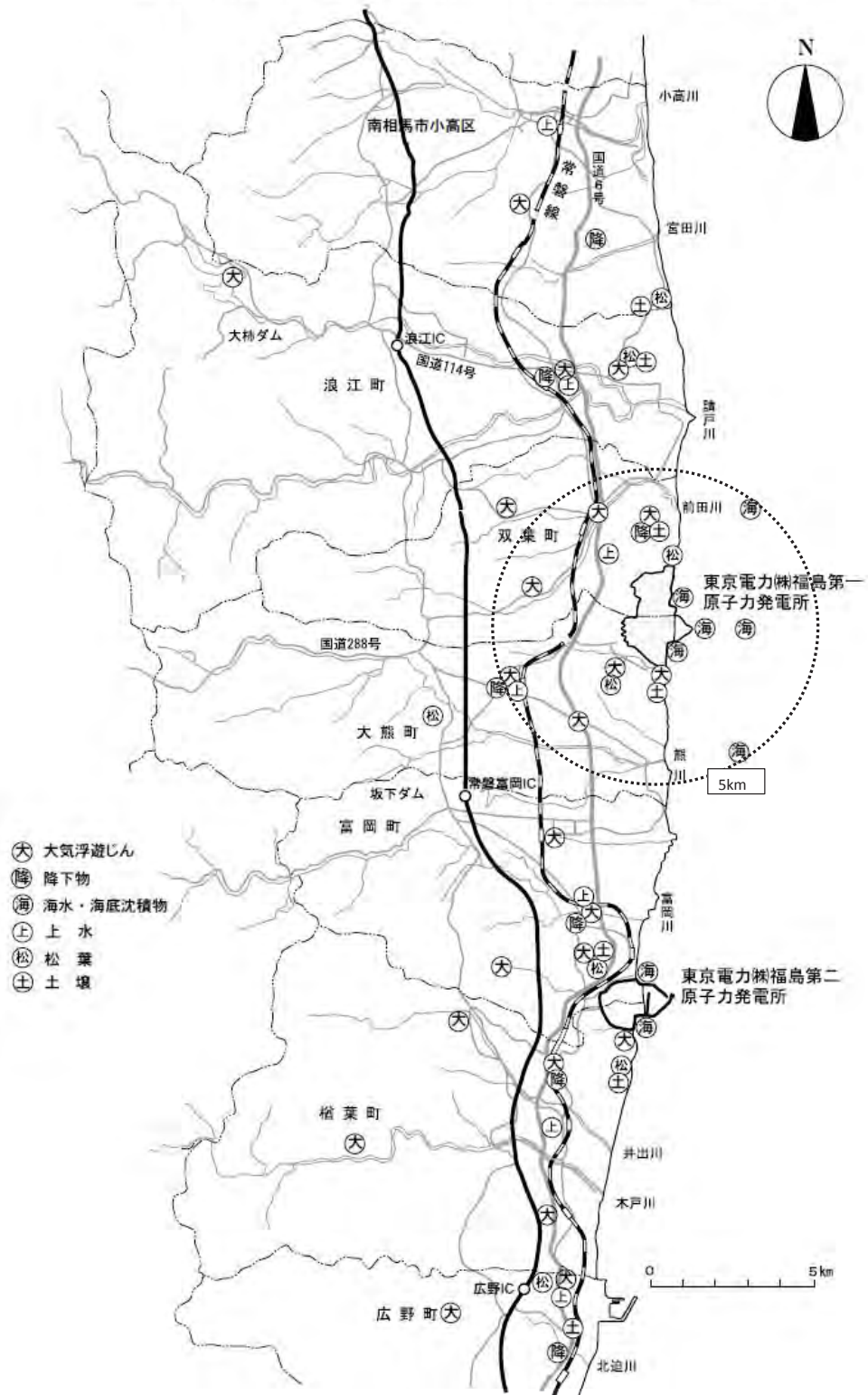
環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）



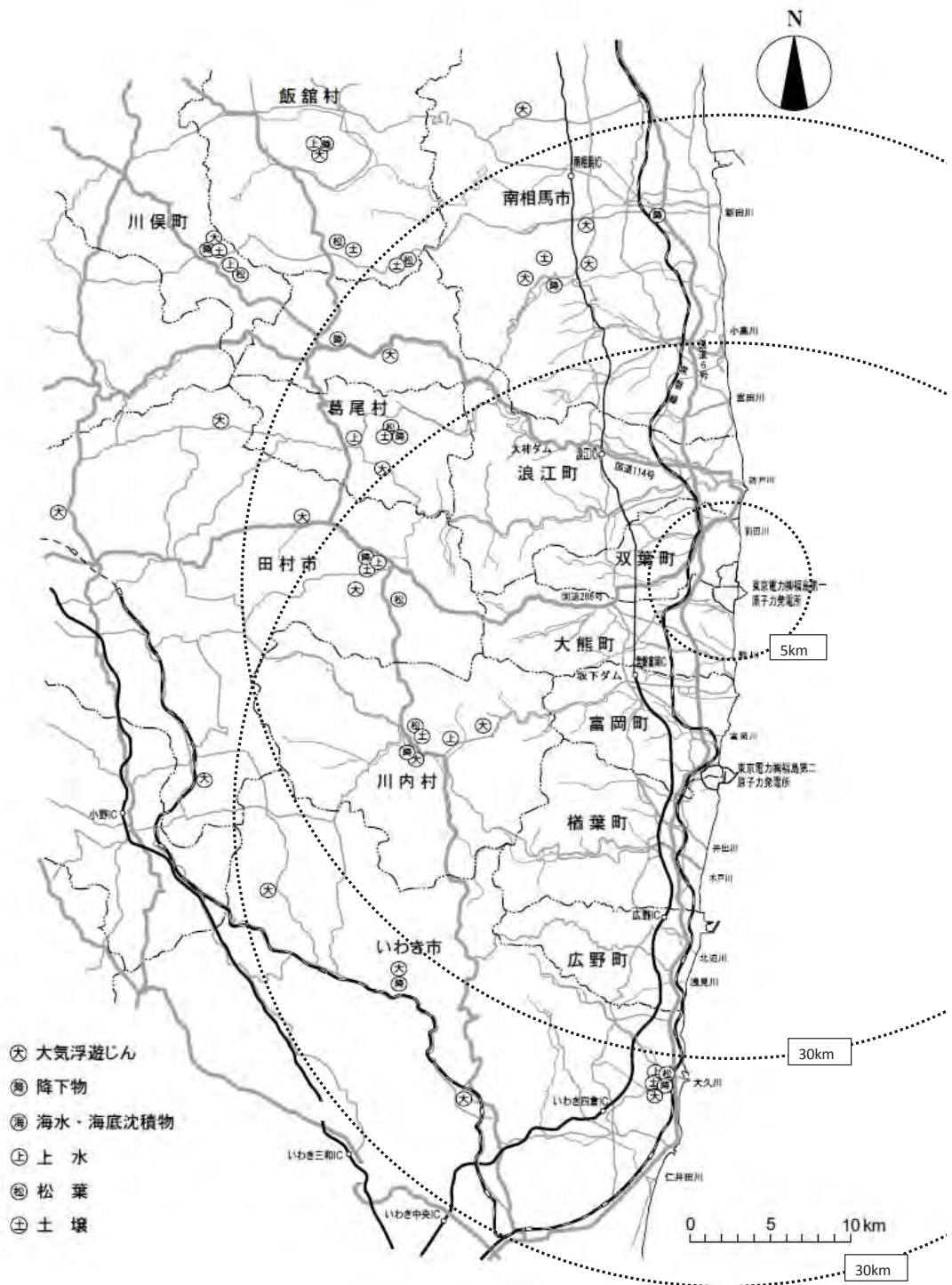
環境放射能等測定地点（広域）



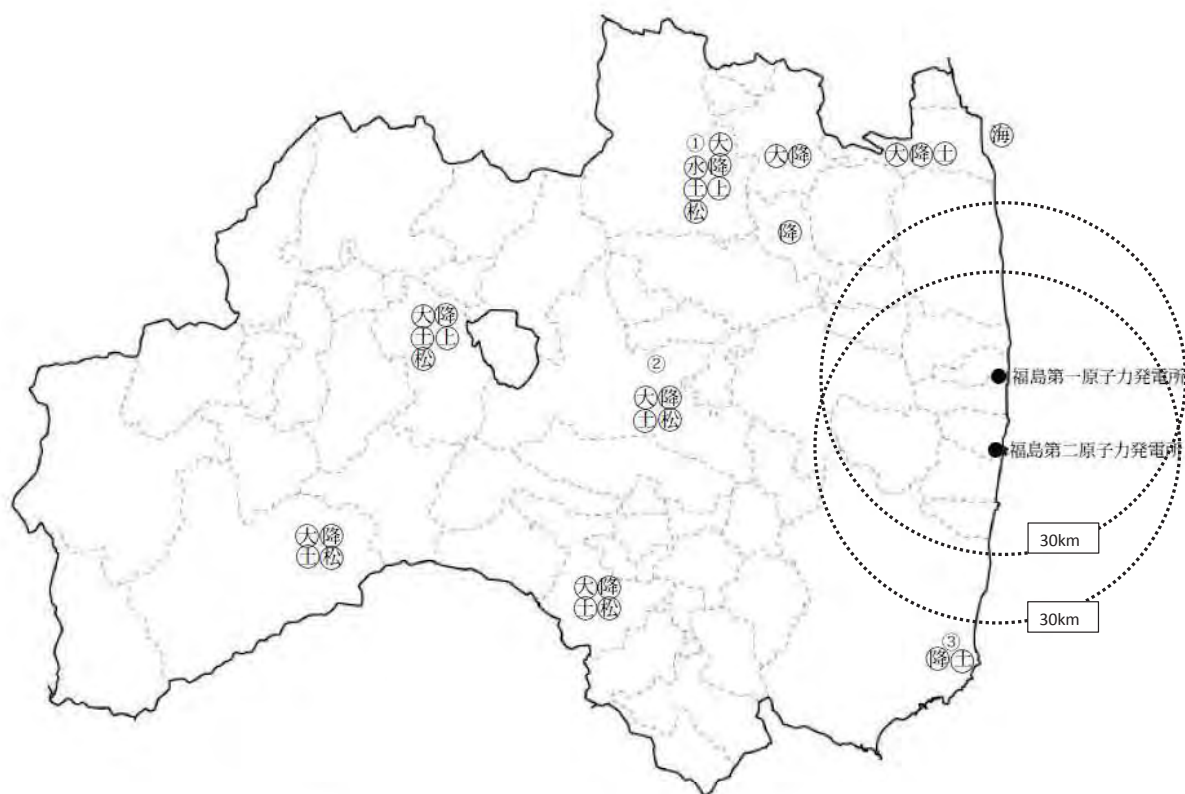
環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）



環境試料採取地点（広域）



環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊖ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊖ 降下物
- ⊖ 土壌
- ⊖ 海水・海底沈積物
- ⊖ 上水
- ⊖ 松葉

3 測定結果

(1) 空間放射線

ア 空間線量率

※ 1000n (ナノ) = 1 μ (マイクロ)

測定年月		平成28年7月				平成28年8月				平成28年9月			
測定項目		空間線量率				空間線量率				空間線量率			
No.	測定地点名	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考
		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/時間)
1	いわき市 小がわ川	53	59	744		53	79	744		54	71	720	
2	いわき市 久之浜	94	99	744		95	104	744		92	103	720	
3	いわき市 下桶ヶ売	63	71	744		63	82	744		62	93	720	
4	いわき市 川前	72	81	744		72	98	744		71	100	720	
5	田村市 都路馬洗戸	106	112	744		104	124	744		103	124	720	
6	広野町 二ツ沼	109	141	741	点検/3	108	134	744		106	143	720	
7	広野町 小滝平	101	106	744		99	121	744		98	115	719	点検/1
8	檜葉町 山田岡	77	83	744		79	106	741	点検/3	77	96	720	
9	檜葉町 木戸ダム	126	146	744		124	151	744		122	150	720	
10	檜葉町 繁田岡	248	261	741	点検/3	246	269	744		237	262	720	
11	檜葉町 松館	270	278	742	点検/2	263	292	744		258	291	720	
12	檜葉町 波倉	309	317	742	点検/2	305	319	744		295	308	720	

測定年月		平成28年7月						平成28年8月						平成28年9月					
測定項目		空間線量率						空間線量率						空間線量率					
No.	測定値 地点名	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考		
		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)		
13	富岡町 上郡やま山	488	503	741	点検/3	474	498	744		452	481	703	除染/17						
14	富岡町 下郡やま山	285	295	741	点検/3	280	303	744		266	297	698	除染/22						
15	富岡町 深谷*1	246	263	744		247	272	744		232	264	720							
16	富岡町 富岡	338	347	741	点検/3	325	347	736	除染/8	261	281	707	除染/13						
17	富岡町 夜の森	1,160	1,200	744		1,170	1,240	727	点検/10 機器異常/7	1,100	1,190	720							
18	川内村 下川内	238	249	744		231	248	744		227	248	720							
19	大熊町 向畑	1,990	2,070	744		1,940	2,050	744		1,880	1,980	720							
20	大熊町 熊川*1	2,680	2,880	744		2,710	2,930	744		2,610	2,880	720							
21	大熊町 南台*2	6,520	6,770	741	点検/3	6,400	6,740	744		6,020	6,380	720							
22	大熊町 大野	1,610	1,640	744		1,570	1,630	744		1,510	1,560	720							
23	大熊町 夫沢*2	11,500	11,900	742	点検/2	11,200	11,800	744		10,400	11,100	720							
24	双葉町 山田*2	6,300	6,610	744		5,990	6,570	744		5,570	6,100	720							
25	双葉町 郡山	573	588	743	点検/1	563	585	744		539	560	720							
26	双葉町 新山	2,160	2,300	744		2,070	2,280	742	点検/2	1,930	2,100	720							

測定年月		平成28年7月						平成28年8月						平成28年9月					
測定項目		空間線量率						空間線量率						空間線量率					
No.	測定値 地点名	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考		
		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)	(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	(欠測理由/ 時間)		
27	双葉町 上羽鳥	750	783	741	点検/3	729	777	744		698	730	720							
28	浪江町 請戸*1	128	136	744		134	156	744		127	145	720							
29	浪江町 棚塩*1	95	100	744		96	134	744		92	112	720							
30	浪江町 浪み江	192	200	742	点検/2	190	201	744		181	195	720							
31	浪江町 幾世橋	125	131	744		126	149	742	点検/2	119	133	720							
32	浪江町 大柿ダム	1,020	1,050	744		1,010	1,040	744		965	1,000	720							
33	浪江町 南津島	1,610	1,700	744		1,510	1,680	744		1,440	1,530	720							
34	葛尾村 夏湯	173	182	744		170	184	744		167	182	720							
35	南相馬市 泉沢	152	170	744		149	166	744		142	157	720							
36	南相馬市 横川ダム	313	326	744		310	328	744		299	315	720							

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

3 *2 空間線量率の測定はモニタリングポスト (NaIシンチレーション検出器、単位：ナノグレイ/時) により行ったが、概ね10,000nGy/h (10 μ Gy/h)を超えた場合は、併設している高線量用モニタリングポスト (電離箱検出器、単位：ナノグレイ/時) の測定値で補完した。

イ 空間積算線量

測定期間		平成28年7月14日～平成28年10月20日			
No.	測定項目	地点名	積算線量 (mGy)	測定日数	備考
				(日)	
1	いわき市	石の森	0.26 (0.24)	98	
2	いわき市	四倉	0.33 (0.30)	98	
3	いわき市	大野	0.25 (0.23)	98	
4	いわき市	福岡	0.28 (0.25)	98	
5	いわき市	大久	0.27 (0.25)	98	
6	いわき市	宋続	0.39 (0.36)	98	
7	いわき市	上小川	0.49 (0.45)	98	
8	いわき市	志田名	0.48 (0.44)	98	
9	いわき市	小白井	0.25 (0.23)	98	
10	田村市	場々	0.45 (0.41)	98	
11	田村市	古道	0.29 (0.26)	98	
12	田村市	岩井沢	0.25 (0.23)	98	
13	広野町	下浅見川	0.26 (0.24)	98	
14	広野町	帯平	0.32 (0.30)	98	
15	檜葉町	山田岡	0.26 (0.24)	98	
16	檜葉町	乙次郎	0.31 (0.29)	98	
17	檜葉町	井出	0.33 (0.30)	98	
18	檜葉町	上繁岡	0.51 (0.47)	98	

平成 28 年 7 月 14 日 ~ 平成 28 年 10 月 20 日

測定期間		積算線量		測定日数 (日)	備考
No.	地点名	(mGy)			
19	富岡町 太田	0.71	(0.66)	98	
20	富岡町 赤木	0.60	(0.55)	98	
21	富岡町 小良ヶ浜	5.3	(4.8)	98	
22	富岡町 夜の森北	2.3	(2.1)	98	
23	富岡町 上手岡	1.0	(0.96)	98	
24	川内村 三ツ石	0.80	(0.74)	98	
25	川内村 貝ノ坂	1.2	(1.1)	98	
26	川内村 五枚沢	0.58	(0.54)	98	
27	川内村 上川内	0.25	(0.23)	98	
28	大熊町 大川原	0.54	(0.50)	98	
29	大熊町 旭ヶ丘	0.63	(0.58)	98	
30	大熊町 野上	4.1	(3.8)	98	
31	大熊町 熊川	10	(9.5)	98	
32	大熊町 大野	12	(11)	98	
33	大熊町 夫沢	31	(28)	98	
34	大熊町 湯の神	3.2	(2.9)	98	
35	大熊町 長者原	9.1	(8.4)	98	
36	双葉町 清戸迫	1.9	(1.8)	98	
37	双葉町 郡山	1.6	(1.4)	98	

平成 28 年 7 月 14 日 ~ 平成 28 年 10 月 20 日

測定期間		積算線量		測定日数 (日)	備考
No.	測定項目 地点名	(mGy)	(mGy)		
38	双葉町 長塚	4.1	(3.7)	98	
39	浪江町 井手	22	(20)	98	
40	浪江町 請戸	0.40	(0.36)	98	
41	浪江町 小野田	1.6	(1.4)	98	
42	浪江町 幾世橋	0.40	(0.37)	98	
43	浪江町 刈宿	1.4	(1.3)	98	
44	浪江町 昼音根	11	(11)	98	
45	浪江町 津島	5.0	(4.6)	98	
46	葛尾村 大放	0.53	(0.49)	98	
47	葛尾村 落谷	0.68	(0.62)	98	
48	葛尾村 野行	4.1	(3.8)	98	
49	南相馬市 浦尻	0.31	(0.29)	98	
50	南相馬市 耳谷	0.39	(0.36)	98	
51	南相馬市 川房	1.6	(1.5)	98	
52	南相馬市 関場	0.92	(0.84)	98	
53	南相馬市 高	0.31	(0.28)	98	
54	南相馬市 大木戸	0.23	(0.21)	98	
55	南相馬市 萱浜	0.19	(0.17)	98	
56	南相馬市 大原	0.96	(0.88)	98	

測定期間		平成28年7月14日～平成28年10月20日			
No.	測定項目	地点名	積算線量 (mGy)	測定日数	備考
				(日)	
57	南相馬市	川子	0.35 (0.32)	98	
58	飯館村	藤平	1.2 (1.1)	98	
59	飯館村	長泥	4.9 (4.5)	98	
60	飯館村	飯樋	0.84 (0.77)	98	
61	飯館村	臼石	1.5 (1.4)	98	
62	飯館村	草野	1.4 (1.2)	98	
63	川俣町	山木屋坂下	1.3 (1.2)	98	
64	川俣町	山木屋	0.48 (0.44)	98	

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

(2) 環境試料

ア 大気浮遊じん、全アルファ及び全ベータ放射能

No.	地点名	測定年月	全アルファ放射能				全ベータ放射能			
			平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)	平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)
1	いわき市 小がわ川	平成28年7月	0.040	0.17	666	点検/78	0.059	0.23	666	点検/78
		平成28年8月	0.031	0.16	732	停電/12	0.050	0.20	732	停電/12
		平成28年9月	0.035	0.15	720		0.054	0.21	720	
2	田村市 みやこじょうま ^{あらい} 都路馬洗戸	平成28年7月	0.017	0.076	726	停電/18	0.038	0.12	726	停電/18
		平成28年8月	0.015	0.098	732	停電/12	0.036	0.14	732	停電/12
		平成28年9月	0.014	0.085	720		0.033	0.13	720	
3	広野町 こたき ^だ 小滝平	平成28年7月	0.020	0.084	708	点検/36	0.043	0.13	708	点検/36
		平成28年8月	0.018	0.15	720	停電/24	0.041	0.22	720	停電/24
		平成28年9月	0.018	0.083	720		0.041	0.12	720	
4	檜葉町 き ^と 木戸ダム	平成28年7月	0.030	0.18	744		0.052	0.25	744	
		平成28年8月	0.023	0.12	744		0.044	0.17	744	
		平成28年9月	0.028	0.11	720		0.049	0.15	720	
5	檜葉町 し ^け 繁おが岡	平成28年7月	0.023	0.10	744		0.049	0.17	744	
		平成28年8月	0.019	0.15	744		0.042	0.26	744	
		平成28年9月	0.015	0.11	720		0.036	0.18	720	
6	富岡町 と ^み 富岡 * 1	平成28年7月	0.021	0.096	732	点検/12	0.071	0.28	732	点検/12
		平成28年8月	0.016	0.11	714	除染/30	0.058	0.32	714	除染/30
		平成28年9月	0.016	0.050	678	除染/42	0.059	0.15	678	除染/42
7	川内村 も ^か 川内	平成28年7月	0.032	0.20	684	点検/60	0.055	0.26	684	点検/60
		平成28年8月	0.027	0.12	732	停電/12	0.049	0.18	732	停電/12
		平成28年9月	0.032	0.15	720		0.055	0.20	720	

No.	地点名	測定年月	全アルファ放射能				全ベータ放射能			
			平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)	平均値 (Bq/m ³)	最大値 (Bq/m ³)	測定時間 (h)	備考 (欠測理由/ 時間)
8	大熊町 大野	平成28年7月	0.018	0.099	720	点検/24	0.072	0.31	720	点検/24
		平成28年8月	0.014	0.091	744		0.063	0.28	744	
		平成28年9月	0.013	0.068	720		0.059	0.22	720	
9	大熊町 夫とざわ	平成28年7月	0.015	0.089	714	機器異常/18 点検/12	0.069	0.30	714	機器異常/18 点検/12
		平成28年8月	0.019	0.13	744		0.079	0.41	744	
		平成28年9月	0.015	0.079	672	停電/12 機器不具合/36*2	0.068	0.25	672	停電/12 機器不具合/36*2
10	双葉町 郡おりやま山	平成28年7月	0.015	0.063	744		0.033	0.099	744	
		平成28年8月	0.014	0.084	744		0.032	0.13	744	
		平成28年9月	0.013	0.052	708	停電/12	0.030	0.086	708	停電/12
11	浪江町 幾世はし橋	平成28年7月	0.026	0.12	744		0.045	0.17	744	
		平成28年8月	0.025	0.19	744		0.043	0.25	744	
		平成28年9月	0.019	0.085	708	停電/12	0.036	0.12	708	停電/12
12	浪江町 柿ダム	平成28年7月	0.057	0.26	720	停電/24	0.11	0.42	720	停電/24
		平成28年8月	0.038	0.16	744		0.081	0.27	744	
		平成28年9月	0.030	0.11	720		0.069	0.18	720	
13	葛尾村 夏つゆ湯	平成28年7月	0.062	0.28	684	点検/60	0.094	0.39	684	点検/60
		平成28年8月	0.044	0.22	708	停電/36	0.073	0.30	708	停電/36
		平成28年9月	0.038	0.15	708	停電/12	0.065	0.21	708	停電/12
14	南相馬市 泉みさ沢	平成28年7月	0.021	0.088	744		0.041	0.14	744	
		平成28年8月	0.020	0.11	744		0.040	0.16	744	
		平成28年9月	0.014	0.058	708	停電/12	0.032	0.087	708	停電/12

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域
2 * 1 10月に配管部付属機器の破損が確認されたため、機器の最終確認日(7月4日)から9月30日までを参考値とする。
3 * 2 機器の不具合により、停電復旧時に測定が自動再開されなかった。

イ 大気浮遊じん核種の濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
1	いわき市 おがわ小川 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	田村市 みやこ(旧)まあらいど 都路馬洗戸 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	広野町 こたきだいら 小滝平 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	檜葉町 きど 木戸ダム (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND
5	檜葉町 しげ 繁岡 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	0.16	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	0.27	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	0.25	ND	ND	
6	富岡町 とみ 富岡 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND	
7	川内村 しもかわうち 下川内 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	
8	大熊町 おおの 大野 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.043	ND	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.030	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.036	ND	ND	
9	大熊町 おとぎわ 夫沢 (連続ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.070	0.37	ND	ND	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	0.086	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	0.12	ND	ND	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
19	大熊町 野 大野 (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.059	0.18	ND
		H28.9.1 ~ H28.9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.055	0.25	ND
20	双葉町 山 山田 (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.092	0.42	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	0.48	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.73	ND
21	双葉町 新 新山 (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.045	0.20	ND
		H28.9.1 ~ H28.9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND
22	双葉町 上 上羽鳥 (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	0.32	ND
23	浪江町 南 南津島 (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.091	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.032	0.13	ND
24	南相馬市 横 横川ダム (リアルタイム ダストモニタ)	H28.7.1 ~ H28.8.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND
		H28.8.1 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND
		H28.9.1 ~ H28.10.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
25	広野町 二ツ沼 <small>ぬま</small> (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
26	檜葉町 山田 <small>やまだ</small> <small>お</small> <small>か</small> <small>岡</small> (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																	
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce							
27	檜葉町 松 ^{しょうか} 館 (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
28	檜葉町 波 ^{なみ} 倉 ^{くら} (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
29	富岡町 かみこおりやま 上郡山 (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
30	富岡町 しもこおりやま 下郡山 (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29*2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
31	富岡町 夜の森 (ダストサンプラー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
32	大熊町 南台 (ダストサンプラー)	H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.69	ND	ND
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.53	ND	ND
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.55	ND	ND
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.33	ND	ND
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	ND	ND
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.30	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.96	ND
H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	0.91	ND		
H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.71	0.74	ND		
H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	ND	ND		
H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)															
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce					
33	浪江町 浪江 (ダストサンプラワー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.37	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
34	田村市 滝根 (簡易型ダストサンプラワー)	H28. 6. 30 ~ H28. 7. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 7 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 14 ~ H28. 7. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 21 ~ H28. 7. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 7. 28 ~ H28. 8. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 10 ~ H28. 8. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 18 ~ H28. 8. 25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 25 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 1 ~ H28. 9. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 15 ~ H28. 9. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 9. 21 ~ H28. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																				
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce										
35	田村市 船引き (簡易型ダストサンプラー)	H28.6.30 ~ H28.7.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			
		H28.7.7 ~ H28.7.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.14 ~ H28.7.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.21 ~ H28.7.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.28 ~ H28.8.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.8.4 ~ H28.8.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.10 ~ H28.8.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.18 ~ H28.8.25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.25 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.9.1 ~ H28.9.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.9.8 ~ H28.9.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.9.15 ~ H28.9.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.9.21 ~ H28.9.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND	
36	田村市 岩井沢 (簡易型ダストサンプラー)	H28.6.30 ~ H28.7.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.7 ~ H28.7.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.14 ~ H28.7.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	ND	
		H28.7.21 ~ H28.7.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.7.28 ~ H28.8.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	ND	
		H28.8.4 ~ H28.8.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.10 ~ H28.8.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.18 ~ H28.8.25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND	ND
		H28.8.25 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.021	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.9.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND	ND
		H28.9.8 ~ H28.9.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	ND	ND
		H28.9.15 ~ H28.9.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	ND	ND
		H28.9.21 ~ H28.9.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
43	川俣町 山木屋 ^{*3} (簡易型ダストサンブLOWER)	H28.6.30 ~ H28.7.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28.7.7 ~ H28.7.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.7.14 ~ H28.7.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.7.21 ~ H28.7.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.7.28 ~ H28.8.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28.8.4 ~ H28.8.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.8.10 ~ H28.8.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.8.18 ~ H28.8.25	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.8.25 ~ H28.9.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.1 ~ H28.9.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28.9.8 ~ H28.9.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
H28.9.15 ~ H28.9.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
H28.9.21 ~ H28.9.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

4 *1 10月に配管部付属機器の破損が確認されたため、機器の最終確認日（7月4日）から10月1日までを参考値とする。

5 *2 採取期間内において、周辺で建屋解体作業が実施された。

6 *3 採取期間内において、周辺で建屋建設作業が実施されている。

4 比較対照地点の測定結果

(1) 空間線量率

測定年月		平成 28 年 7 月				平成 28 年 8 月				平成 28 年 9 月			
測定項目		空間線量率				空間線量率				空間線量率			
No.	測定地点名	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考	平均値	最大値	測定時間	備考
		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)		(nGy/h)	(nGy/h)	(h)	
1	福島市 紅葉山 ^{もみじやま*1}	132	138	744		128	145	744		125	138	720	
		144	150	744		140	153	744		135	147	720	
2	郡山市 日和田 ^{ひわた}	155	163	744		152	169	744		149	165	720	
3	いわき市 平 ^{たいら}	67	71	744		66	80	744		66	81	720	

注) 1 *1 上段は比較対照地点として高さ2.5m地点で測定した値、下段は参考として高さ1m地点で測定した値

(2) 環境試料
ア 大気浮遊じん核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m ³)																
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce						
1	福島市 ほうきだ 方木田	H28. 7. 13 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
		H28. 8. 4 ~ H28. 8. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.050	ND	ND	ND	
		H28. 9. 8 ~ H28. 9. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	ND	ND	
2	会津若松市 おつてまち 追手町	H28. 7. 11 ~ H28. 7. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H28. 8. 1 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 はやま 麓山	H28. 9. 5 ~ H28. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 13 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	白河市 しらかほまち 昭和町	H28. 8. 1 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 14 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	相馬市 たまの 玉野	H28. 7. 11 ~ H28. 7. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	伊達市 とみかり 富成	H28. 9. 5 ~ H28. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 13 ~ H28. 7. 14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	南会津町 たまがし 田島	H28. 8. 1 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 14 ~ H28. 9. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 7. 11 ~ H28. 7. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND
		H28. 9. 5 ~ H28. 9. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 *1 7月～8月に周辺で土木工事が実施されている。

イ 大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m ³)	(参考値) 捕集水濃度 (Bq/l)	
1	福島市 ほうきだ 方木田	H28. 7. 1 ~ H28. 8. 1	ND	ND	16
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	9. 5	0. 55	17
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 3	11	0. 69	17

ウ 降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²))												
			⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁵ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce		
1	福島市 ほうきだ 方木田	H28. 7. 1 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.72	3.8	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	5.3	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	1.8	ND
2	会津若松市 おとてま 追手町	H28. 7. 5 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 ほやま 麓山	H28. 7. 5 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	7.6	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.0	21	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND
4	いわき市 いら 平	H28. 7. 4 ~ H28. 8. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.75	4.3	ND
		H28. 8. 2 ~ H28. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	7.3	ND
		H28. 9. 2 ~ H28. 10. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.7	ND
5	白河市 しろがわ 昭和町	H28. 7. 5 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.95	2.5	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.86	ND
6	相馬市 たまの 玉野	H28. 7. 4 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	8.7	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.7	47	ND
		H28. 9. 2 ~ H28. 10. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	19	ND
7	伊達市 とみなり 富成	H28. 7. 4 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.3	43	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.2	37	ND
		H28. 9. 2 ~ H28. 10. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.1	44	ND
8	川俣町 かわのくち 樋ノ口	H28. 7. 4 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	2.8	ND
		H28. 9. 2 ~ H28. 10. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	ND
9	南会津町 たま ^{#1} 田島	H28. 7. 5 ~ H28. 8. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	ND
		H28. 8. 1 ~ H28. 9. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H28. 9. 1 ~ H28. 10. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

(注) 1 「ND」：検出限界未満

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 *1 7月～8月に周辺で土木工事が実施されている。

エ 環境試料中の核種濃度

試料名	種類 又は 部位	採取地点番号 及び採取地点名	採取 年月日	単位	全ベータ 放射能 測定値	核種濃度														天然 核種																									
						⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁸ Co	⁵⁹ Fe	⁶⁰ Co	⁹⁶ Zr	⁹⁵ Nb	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴ Ce	³ H	¹³¹ I	⁸⁶ Sr		⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	^{239/240} Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm																				
海	水	相馬市 松川浦	H28. 8. 3	Bq/l	0.02	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	0.005	¹³⁷ Cs	0.028	¹⁴ Ce	ND	³ H	ND	¹³¹ I	/	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	0.0010	²³⁸ Pu	ND	^{239/240} Pu	ND	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	⁴⁰ K	10
						海	砂	相馬市 松川浦	H28. 8. 3	Bq/kg乾	/	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	ND	ND	/	/	/	/	/	/	ND	ND	ND	0.20	/	/	430	
松	葉	福島市 杉妻町	H28. 9. 1	Bq/kg生	/	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	4.4	¹³⁷ Cs	22	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	59	
		郡山市 麓山	H28. 9. 7			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	2.1	¹³⁷ Cs	12	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	84	
		白河市 昭和町	H28. 9. 6			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	7.0	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	73	
		白河市 南登り町	H28. 9. 6			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	3.7	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	80	
		会津若松市 城東町	H28. 9. 6			⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	0.70	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	99	
南会津町 永田	H28. 9. 6	⁵¹ Cr	ND	⁵⁴ Mn	ND	⁵⁸ Co	ND	⁵⁹ Fe	ND	⁶⁰ Co	ND	⁹⁶ Zr	ND	⁹⁵ Nb	ND	¹⁰⁶ Ru	ND	¹³⁴ Cs	ND	¹³⁷ Cs	ND	¹⁴ Ce	ND	³ H	/	¹³¹ I	ND	⁸⁶ Sr	/	⁹⁰ Sr	/	²³⁸ Pu	/	^{239/240} Pu	/	²⁴¹ Am	/	²⁴⁴ Cm	/	76					

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種

2 *1 白河市では昭和町の松葉が減少したため、南登り町に変更することとし、第1四半期より並行測定を行った。同等の測定結果であったことから、第3四半期より南登り町のみの採取とする。

試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH
1	いわき市	H28.7.1	30.6	23.1	6.8
2	南相馬市	H28.7.4	25.4	23.0	6.7
3	田村市	H28.7.1	25.0	20.5	6.7
4	川俣町	H28.7.4	23.0	22.0	6.9
5	広野町	H28.7.1	26.0	22.0	7.1
6	檜葉町	H28.7.1	21.8	23.0	7.0
7	富岡町	H28.7.1	26.5	19.5	6.9
8	大熊町	—	—	—	—
9	双葉町	—	—	—	—
10	浪江町	H28.7.4	27.3	21.9	7.1
11	川内村	H28.7.1	26.6	21.0	7.0
12	葛尾村	H28.7.4	23.2	20.0	6.9
13	飯館村	H28.7.4	25.0	23.0	7.1

2 海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	Cl ⁻ (%)
1	第一(発)南放水口	H28.7.11	23.2	21.3	8.3	18.0
		H28.8.3	25.0	24.9	8.2	18.0
		H28.9.15	24.0	23.6	8.2	16.0
2	第一(発)北放水口	H28.7.11	23.5	22.0	8.3	18.0
		H28.8.3	25.0	25.0	8.2	18.0
		H28.9.15	24.0	23.5	8.2	16.0
3	第一(発)取水口	H28.7.11	23.6	21.8	8.3	18.0
		H28.8.3	25.0	24.9	8.2	18.0
		H28.9.15	24.0	23.5	8.2	16.0
4	第一(発)沖合	H28.7.11	24.2	21.9	8.3	18.0
		H28.8.3	25.5	25.0	8.2	18.0
		H28.9.15	23.9	23.4	8.2	16.0
5	夫沢・熊川沖	H28.7.11	23.9	21.8	8.2	18.0
		H28.8.3	25.0	24.9	8.2	18.0
		H28.9.15	23.1	23.1	8.2	15.0
6	双葉・前田川沖	H28.7.11	24.5	22.3	8.3	18.0
		H28.8.3	25.0	24.5	8.2	18.0
		H28.9.15	24.0	23.4	8.2	16.0
7	第二(発)南放水口	H28.9.16	27.7	23.0	8.1	17.0
8	第二(発)北放水口	H28.9.16	26.4	23.0	8.2	16.4

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(Cs-134、Cs-137濃度・トリチウム濃度・ストロンチウム-90濃度)

項目	試料名	大気浮遊じん			
		簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内)	簡易型ダストサンプラー(比較対照地点)	連続ダストサンプラー	連続ダストモニタ
	核種	Cs-134、Cs-137			
試料採取	採取方法	ハイボリュウムエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリュウムエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m
	採取容器等	ろ紙(GB-100R)		ろ紙(HE-40T)	
	採取量	約6,550m ³	約1,150m ³	約500m ³	約11,000m ³
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。
前処理	方法	1週間分の集塵ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	1週間分の集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、U8容器に収納する。	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	ろ紙を全量丸めてU8容器底面に収納する。		50φmmの円の中心から47φmmを打ち抜き88.36%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。	灰にした試料全量をU8容器に充填する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。			・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。
測定	測定装置	Ge半導体検出装置			
	測定試料状態	生			灰
	測定容器	U8容器			
	供試料量	約6,550m ³	約1,150m ³	約500m ³	約11,000m ³
	測定時間	10,000秒	80,000秒	8,000~13,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.01~0.03mBq/m ³	約0.03~0.04mBq/m ³	約0.2~0.3mBq/m ³	約0.005~0.01mBq/m ³
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的なGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。			
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88			
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施			
	BG測定頻度	月1回 200,000秒			
備考		平成26年7月:測定開始	平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒)	平成28年4月:測定開始	平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)

項目	試料名	大気浮遊じん		降下物	
		リアルタイムダストモニタ	リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内)	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m	ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地上約2m	建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	ろ紙(HE-40T)	ろ紙(IGAM/ROLL (フィルターコード:FSLW))	大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ)	
	採取量	約2,200m ³	約1,250m ³	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	試料毎に分けて採取している。	試料毎に分けて採取している。	容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	採取試料全量を充填	採取試料全量を充填
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	U8容器は、新品を使用しラッピングしている。	測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置		Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	灰	生	乾固物	
	測定容器	U8容器		U8容器	
	供試料量	約2,200m ³	約1,250m ³	0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤)	
	測定時間	80,000秒	80,000秒	80,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.02~0.06mBq/m ³	約0.02~0.06mBq/m ³	大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88		Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施		(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒		月1回 200,000秒	
備考	平成28年4月:測定開始	平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可	事故前から測定していた3地点では大型水盤、事故後に追加した23地点では小型水盤を使用している。 平成24年4月:小型水盤による採取開始 平成27年6月:比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月:前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒)		

項目	試料名	陸土		上水		
	核種	Cs-134, Cs-137	Sr-90	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。		各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取。		
	採取容器等	採土器		ポリタンク	ポリビン	ポリタンク
	採取量	3kg程度		20L	1L	100L
	現場での前処理(酸などの薬品添加を実施しているか)	なし		なし		
	採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか)	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。		採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。		
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105°Cで72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。	一昼夜程度自然乾燥させ、105°Cで72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけて、十分に混合する。	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法)	震災前と変更なし		
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) ・試料処理毎に汚染がないことを確認		・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認		
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフロー計数装置
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	100mLテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	約100g	100g	20L	50mL	100L
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	30,000秒	3,600秒
	測定下限値	約1~10Bq/kg乾土	約0.2~0.5Bq/kg乾土	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.00015~0.0004Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn-54, Y-88	H-3	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度
備考	平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134, Cs-137の前処理変更(湿土→乾土)			平成28年4月:前処理変更(生→加熱濃縮法)		

項目	試料名	海水			海底土	
	核種	Cs-134, Cs-137	H-3	Sr-90	Cs-134, Cs-137	Sr-90
試料採取	採取方法	海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。			船上から採泥器にて採取する。	
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	採泥器	
	採取量	40L	1L	60L	3kg程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし			なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。	
前処理	方法	リンモリブデン酸アンモニウム -二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	イオン交換法	一昼夜程度自然乾燥させ、105°Cで72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	震災前と変更なし			地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法)	
	前処理でのコンタミ防止 とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認			・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認	
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンド液体 シンチレーション検出装置	ローバックグラウンドガスフ ロー計数装置	Ge半導体検出装置	ローバックグラウンドガスフ ロー計数装置
	測定試料状態	リンモリブデン酸アンモニウム と二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	乾土	鉄共沈物
	測定容器	U8容器	100mlテフロンバイアル	ステンレス皿(25mmφ)	U8容器	ステンレス皿(25mmφ)
	供試料量	20L以上	50mL	40L	約100g	100g
	測定時間	80,000秒	30,000秒	3,600秒	80,000秒	3,600秒
	測定下限値	約0.001~0.002Bq/L	約0.32~0.46Bq/L	約0.0007~0.01Bq/L	約0.5~1.5Bq/kg乾土	約0.15~0.25Bq/kg乾土
	測定におけるコンタミ防 止とその確認法	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染の ないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を 使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。	試料毎に新品のステンレス皿 を使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。	定期的にGe半導体検出器に おいてBG測定を行い、汚染の ないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿 を使用し、検出器の汚染につ いては、測定時にBG測定を 行っている。
校正	使用線源	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn- 54, Y-88	H-3	Sr-90	Cd-109, Co-57,60, Ce-139, Cr-51, Sr-85, Cs-137, Mn- 54, Y-88	Sr-90
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)メーカーによる簡易点 検、精密点検、各1回。精密点検 時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。	(年1回)Co線源や混合線源 (U8・マリネリ)で幾何効率校 正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)JCAC分析確認調査時使 用試料にて効率確認。
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度
備考	平成28年4月:前処理変更 (生→リンモリブデン酸アンモ ニウム-二酸化マンガン共沈 法)					

項目	試料名	松葉	
		福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
核種		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	ビニール袋	
	採取量	500g程度	
	現場での前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか)	なし	
	採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか)	採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	95°Cで所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合)	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いる容器はディスポーザブル容器を使用。 ・粉砕機は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用
測定	測定装置	Ge半導体検出装置	
	測定試料状態	乾燥物	
	測定容器	U8容器	
	供試料量	約 50g	
	測定時間	80,000秒	80,000秒
	測定下限値	約0.5～1Bq/kg生	約0.5～1Bq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	(年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	
備考	平成27年7月：比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月：前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。		

測定値の取扱い方法

平成28年度福島県の発電所周辺環境モニタリング実施要領に測定値の取扱いを定めていたが、下線部を追記し、以下のとおり取扱うこととする。

項目・試料名		単位	測定値の取扱い	
空間放射線	空間線量率	nGy/h	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均値は、1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。 ・ 最大値は、1時間値の最も大きな値とする。 ・ 表示は整数とし、4桁以上になる場合は有効数字3桁として4桁目を四捨五入する。 	
	空間積算線量	mGy	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四半期ごとの測定値、90日換算値及び年間(365日)として求める。 ・ 表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	
環境試料	全α 全β 放射能	大気 Bq/m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均値は、6時間値の測定値の和を測定値の数で除して求める。 ・ 最大値は、6時間値の最も大きな値とする。 ・ 表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	
	全β 放射能	海水 Bq/l	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第2位を限度とし、小数第3位を四捨五入する。 	
核種濃度	核種	降下物	Bq/m ² ・月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
		大気	mBq/m ³	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。
	陸土	Bq/kg 乾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	
	上水	Bq/l	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第3位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	
	海水	Bq/l (Puは mBq/l)	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリチウム濃度は、小数第2位を限度とする。 ・ <u>ストロンチウム濃度は、小数第4位を限度とする。</u> 	
	海底沈積物	Bq/kg 乾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	
	指標植物	Bq/kg 生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表示は、小数第2位を限度とする有効数字2桁とし、3桁目を四捨五入する。 	

(注) 全β放射能及び核種濃度の検出限界値は、 $3 \times \sigma$ とし、検出限界値未満の測定値については、「ND」と表示する。ただし、「 σ 」は計数誤差とする。

平成28年度第1四半期測定値の訂正について

平成28年12月7日

平成28年度第1四半期の測定値に誤記がありましたので、以下のとおり訂正します。

Cs-134

松葉 (単位: Bq/kg生)	採取地点名	採取年月日	正	誤
	郡山市 麓山	H28. 6.21	2.0	ND
	白河市 昭和町	H28. 6.21	3.9	2.0
	白河市 南登り町	H28. 6.21	2.0	3.9
	会津若松市 城東町	H28. 6.21	ND	2.0

Cs-137

松葉 (単位: Bq/kg生)	採取地点名	採取年月日	正	誤
	郡山市 麓山	H28. 6.21	11	3.7
	白河市 昭和町	H28. 6.21	18	11
	白河市 南登り町	H28. 6.21	11	18
	会津若松市 城東町	H28. 6.21	3.7	11

K-40

松葉 (単位: Bq/kg生)	採取地点名	採取年月日	正	誤
	郡山市 麓山	H28. 6.21	74	61
	白河市 昭和町	H28. 6.21	120	74
	白河市 南登り町	H28. 6.21	69	120
	会津若松市 城東町	H28. 6.21	61	69

各地点の空間線量率等の変動グラフ

平成28年7月～9月

福島県

目次

空間線量率

1	いわき市小川	1
2	いわき市久之浜	2
3	いわき市下桶売	3
4	いわき市川前	4
5	田村市都路馬洗戸	5
6	広野町二ツ沼	6
7	広野町小滝平	7
8	檜葉町山田岡	8
9	檜葉町木戸ダム	9
10	檜葉町繁岡	10
11	檜葉町松館	11
12	檜葉町波倉	12
13	富岡町上郡山	13
14	富岡町下郡山	14
15	富岡町深谷	15
16	富岡町富岡	16
17	富岡町夜の森	17
18	川内村下川内	18
19	大熊町向畑	19
20	大熊町熊川	20
21	大熊町南台	21
22	大熊町大野	22
23	大熊町夫沢	23
24	双葉町山田	24
25	双葉町郡山	25
26	双葉町新山	26
27	双葉町上羽鳥	27
28	浪江町請戸	28
29	浪江町棚塩	29
30	浪江町浪江	30
31	浪江町幾世橋	31
32	浪江町大柿ダム	32
33	浪江町南津島	33
34	葛尾村夏湯	34
35	南相馬市泉沢	35
36	南相馬市横川ダム	36

大気浮遊じん(推移)

1	いわき市小川	37
2	田村市都路馬洗戸	38
3	広野町小滝平	39
4	檜葉町木戸ダム	40
5	檜葉町繁岡	41
6	富岡町富岡	42
7	川内村下川内	43
8	大熊町大野	44
9	大熊町夫沢	45
10	双葉町郡山	46
11	浪江町幾世橋	47
12	浪江町大柿ダム	48
13	葛尾村夏湯	49
14	南相馬市泉沢	50

大気浮遊じん(相関図)

1	いわき市小川	51
2	田村市都路馬洗戸	51
3	広野町小滝平	52
4	檜葉町木戸ダム	52
5	檜葉町繁岡	53
6	富岡町富岡	53
7	川内村下川内	54
8	大熊町大野	54
9	大熊町夫沢	55
10	双葉町郡山	55
11	浪江町幾世橋	56
12	浪江町大柿ダム	56
13	葛尾村夏湯	57
14	南相馬市泉沢	57

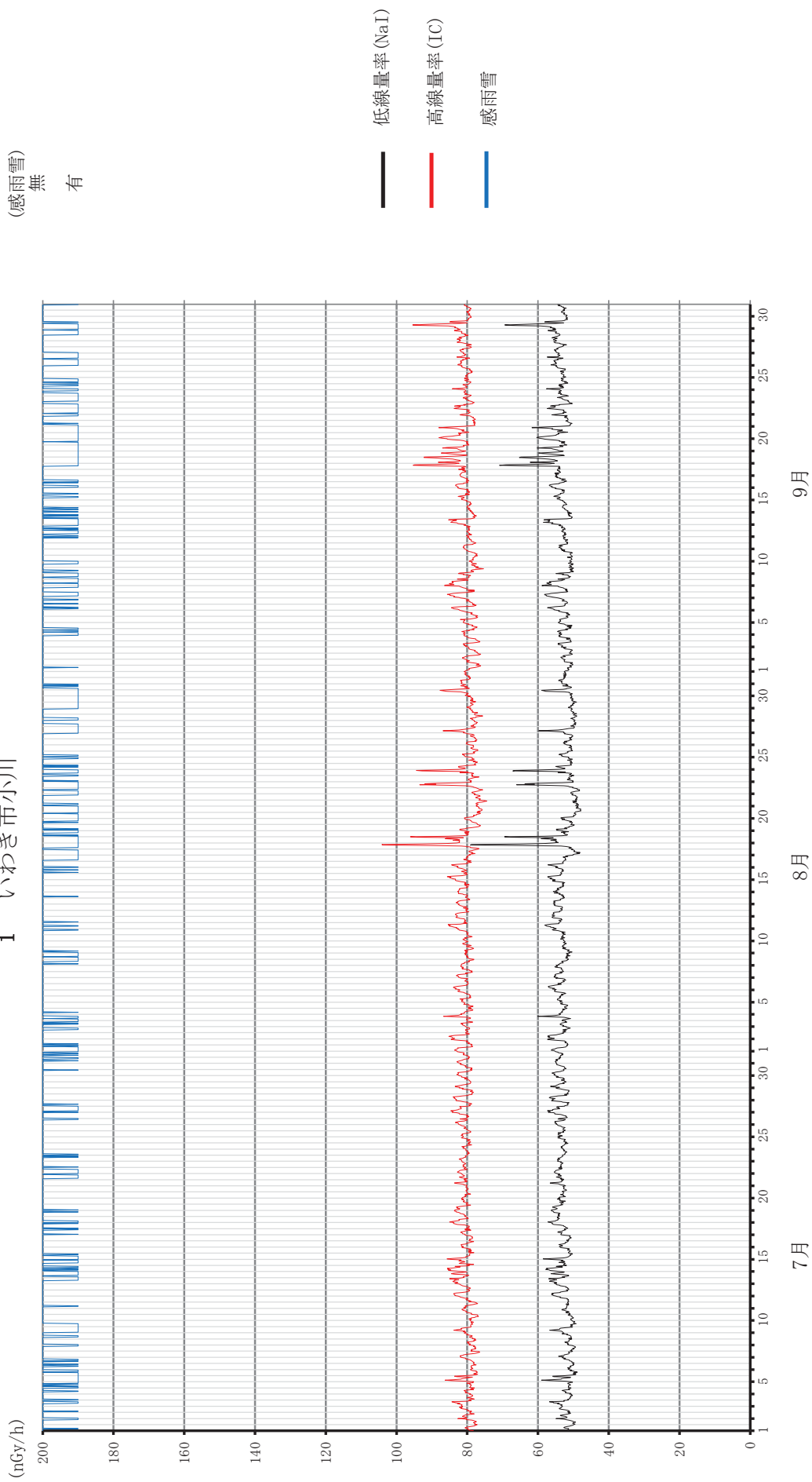
空間線量率(比較対照)

1-1	福島市紅葉山(3m)	58
1-2	福島市紅葉山(1m)	59
2	郡山市日和田	60
3	いわき市平	61

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

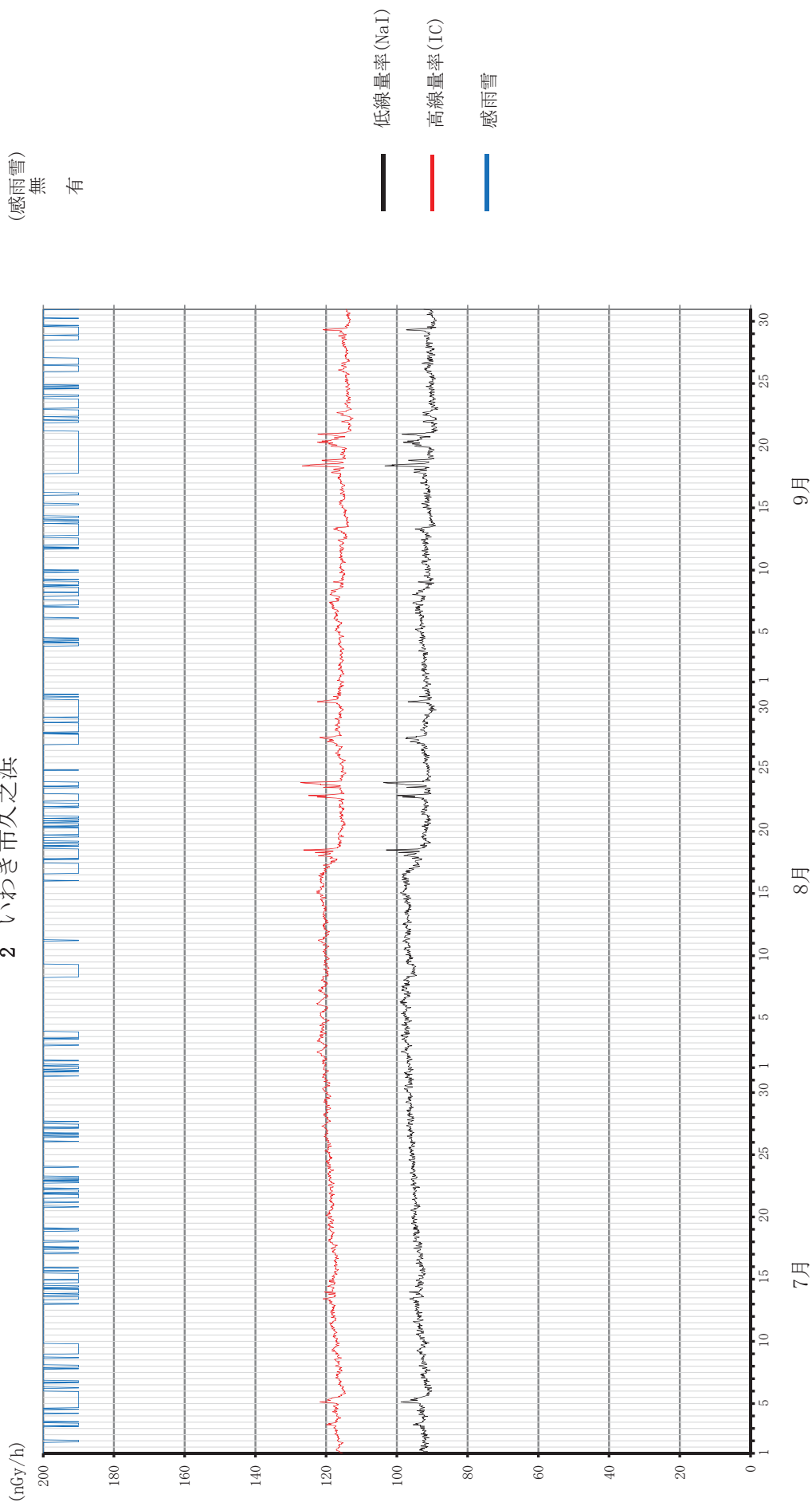
空間線量率の変動グラフ

1 いわき市小川

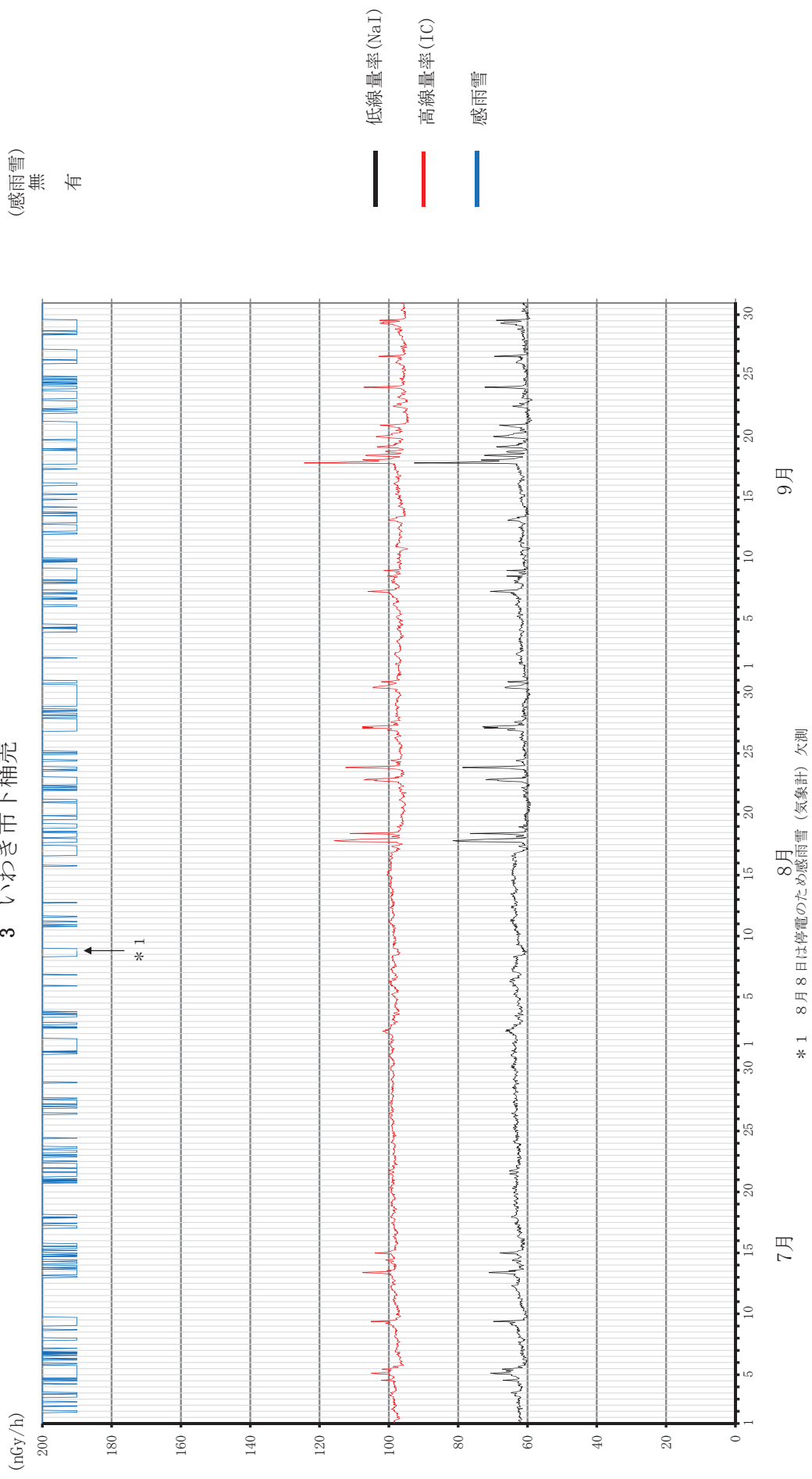


空間線量率の変動グラフ

2 いわき市久之浜

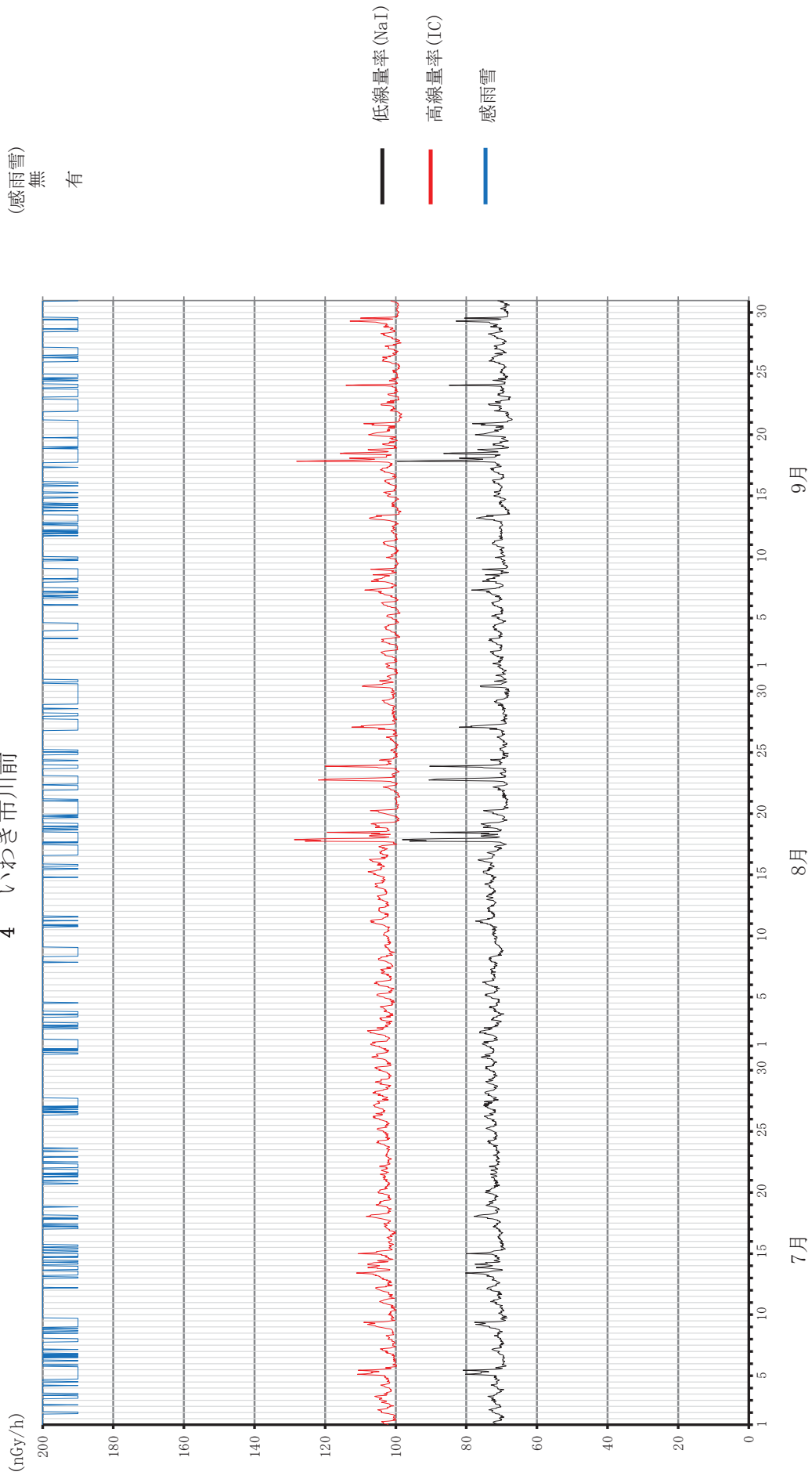


空間線量率の変動グラフ 3 いわき市下桶壳

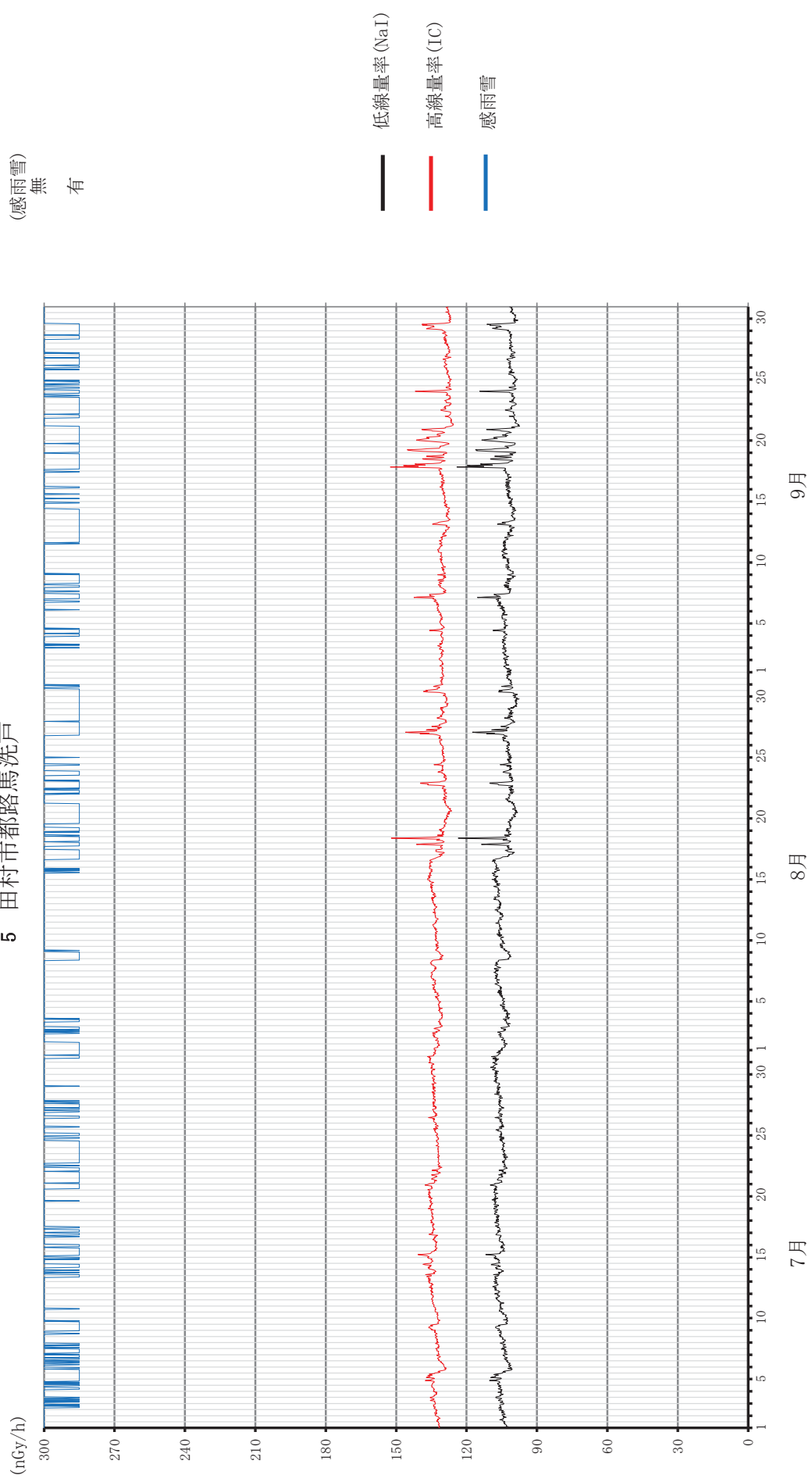


空間線量率の変動グラフ

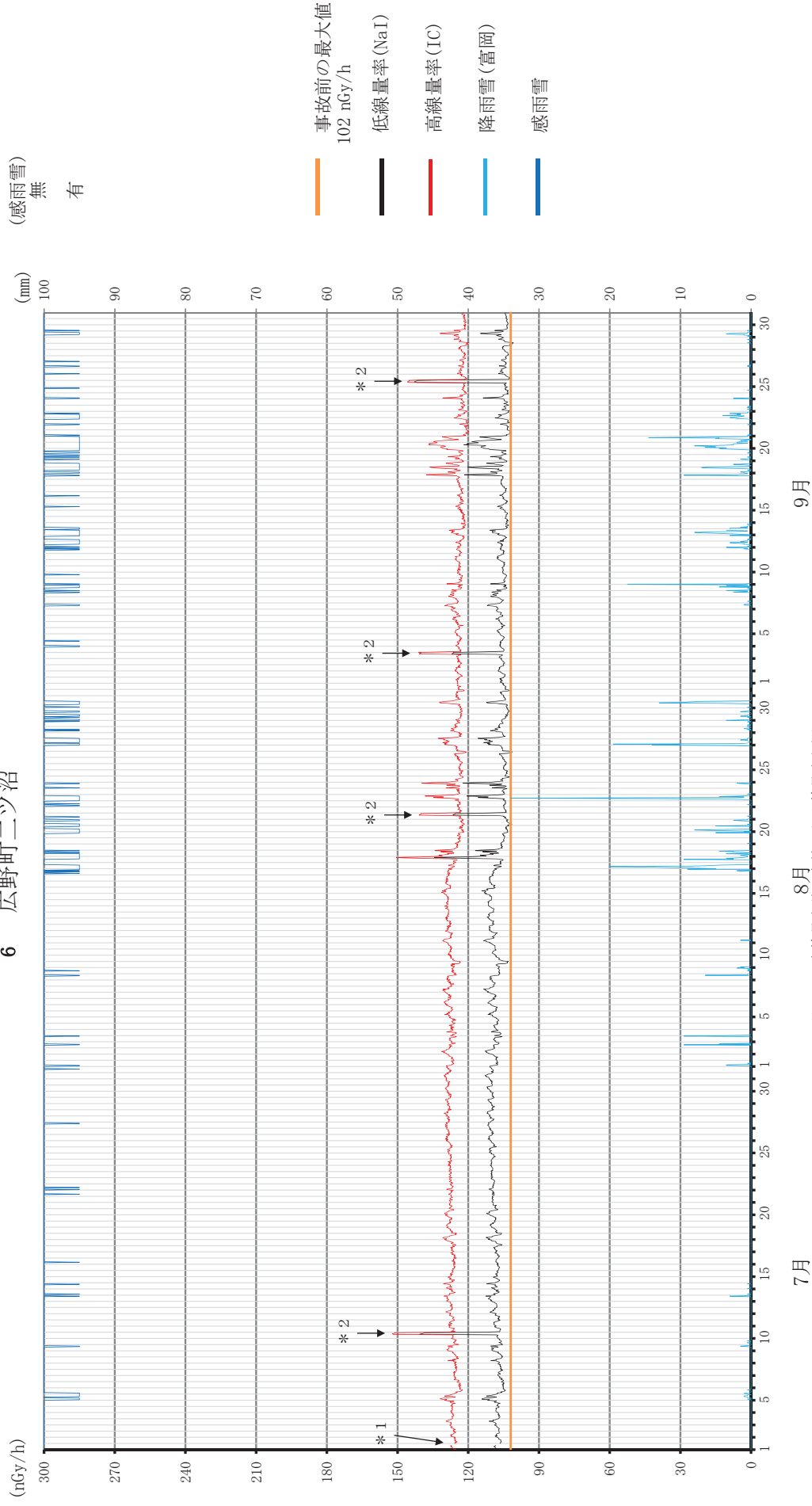
4 いわき市川前



空間線量率の変動グラフ 5 田村市都路馬洗戸



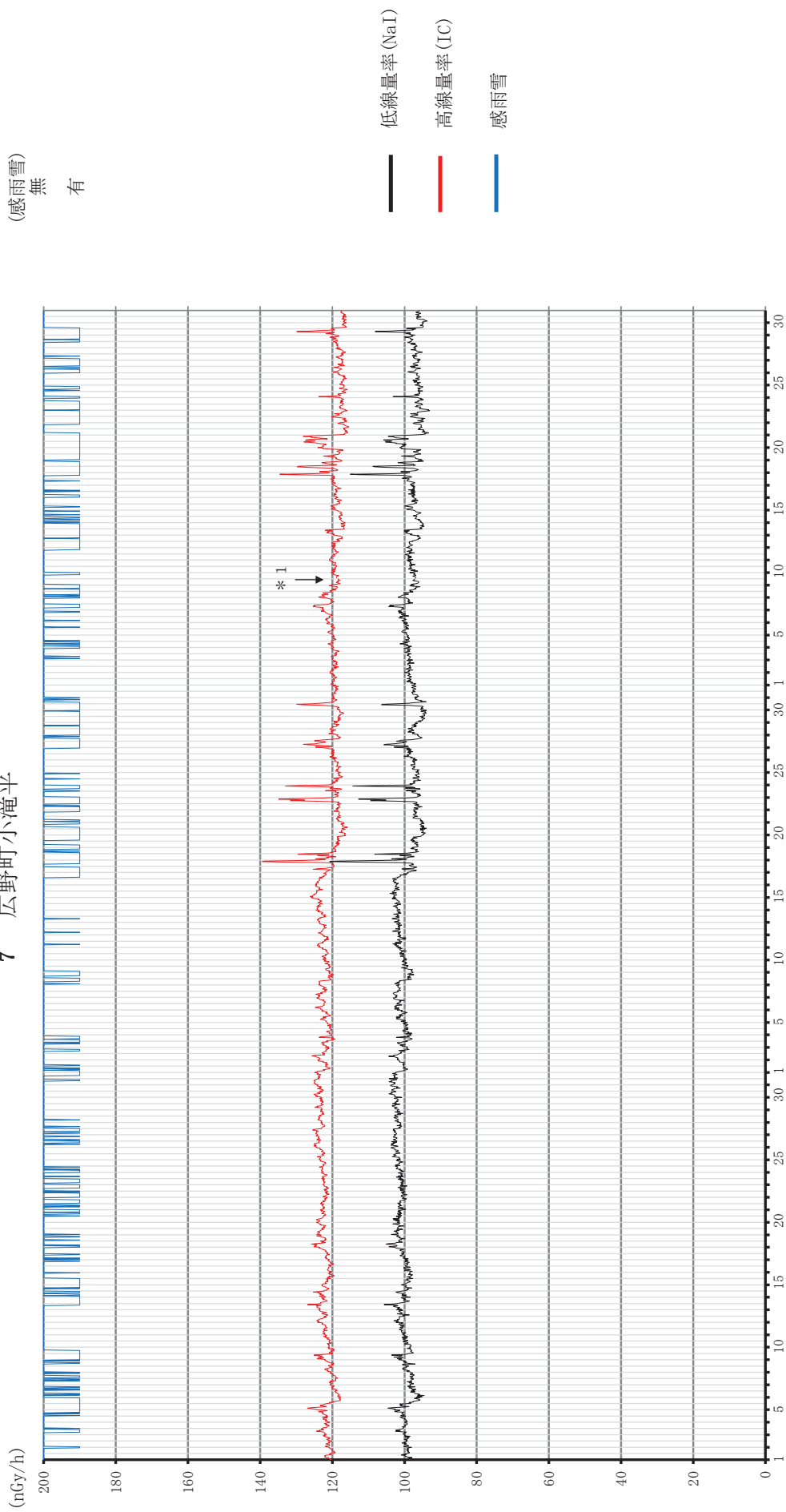
空間線量率の変動グラフ
6 広野町二ツ沼



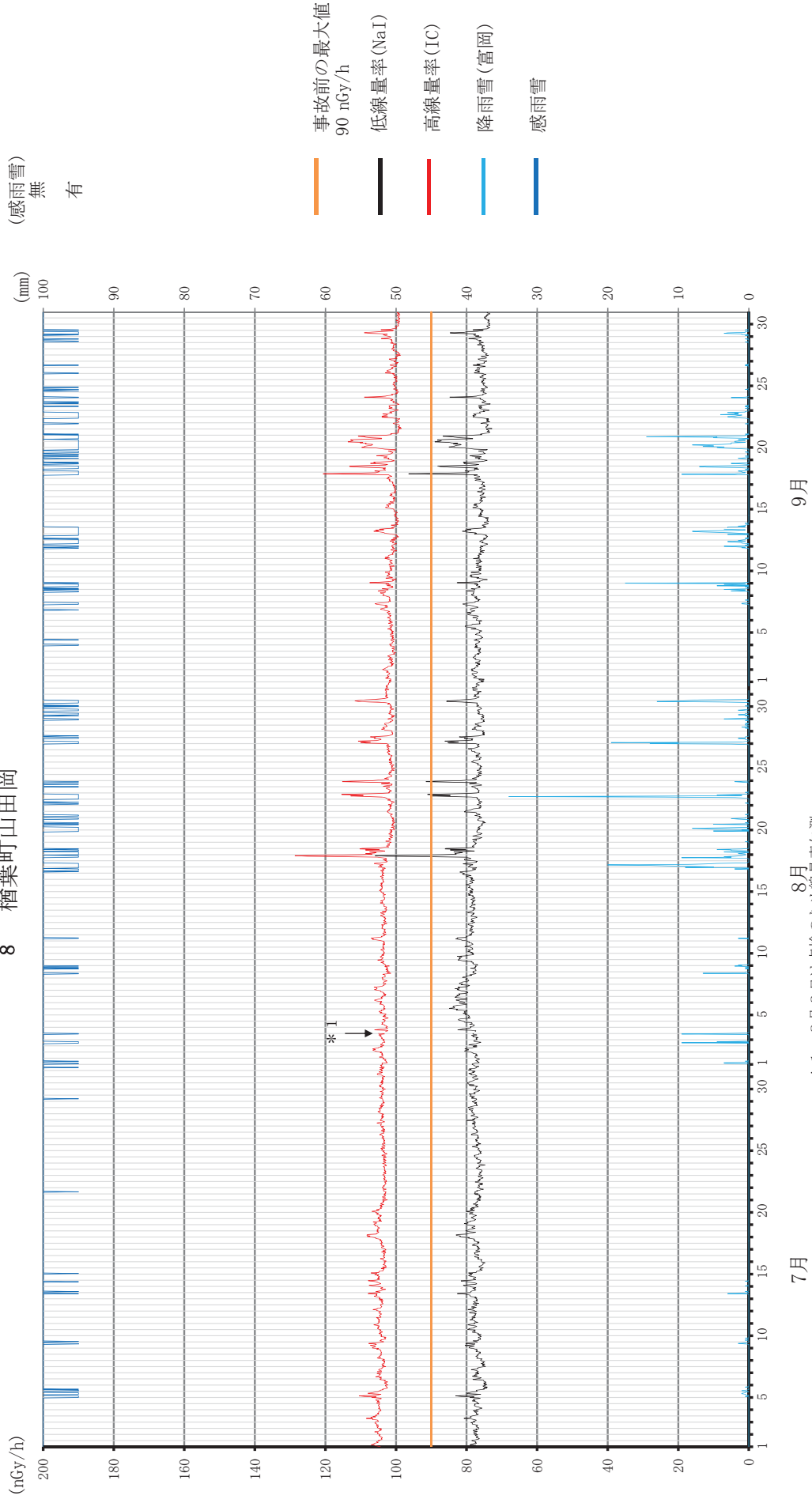
7月 8月 9月

*1 7月1日は高線量率計の点検のため線量率欠測
*2 7月10日、8月21日、9月3日及び9月21日は局舎近傍への駐車車両に起因する線量率上昇

空間線量率の変動グラフ
7 広野町小滝平

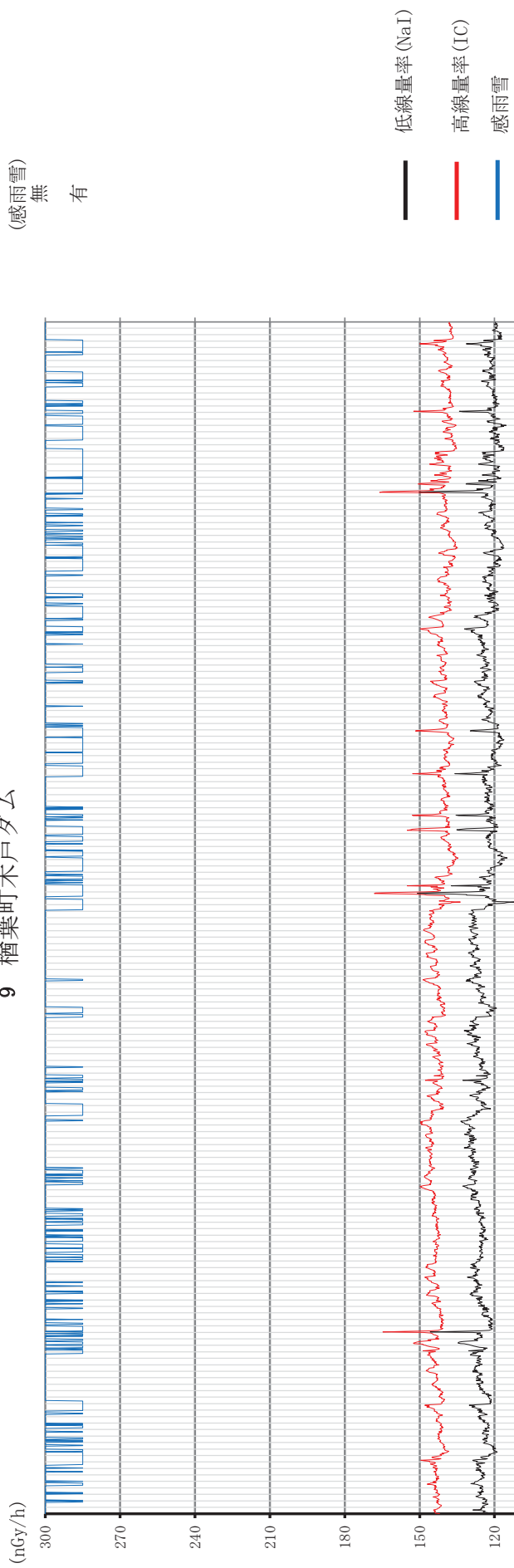


空間線量率の変動グラフ
8 榎葉町山田岡

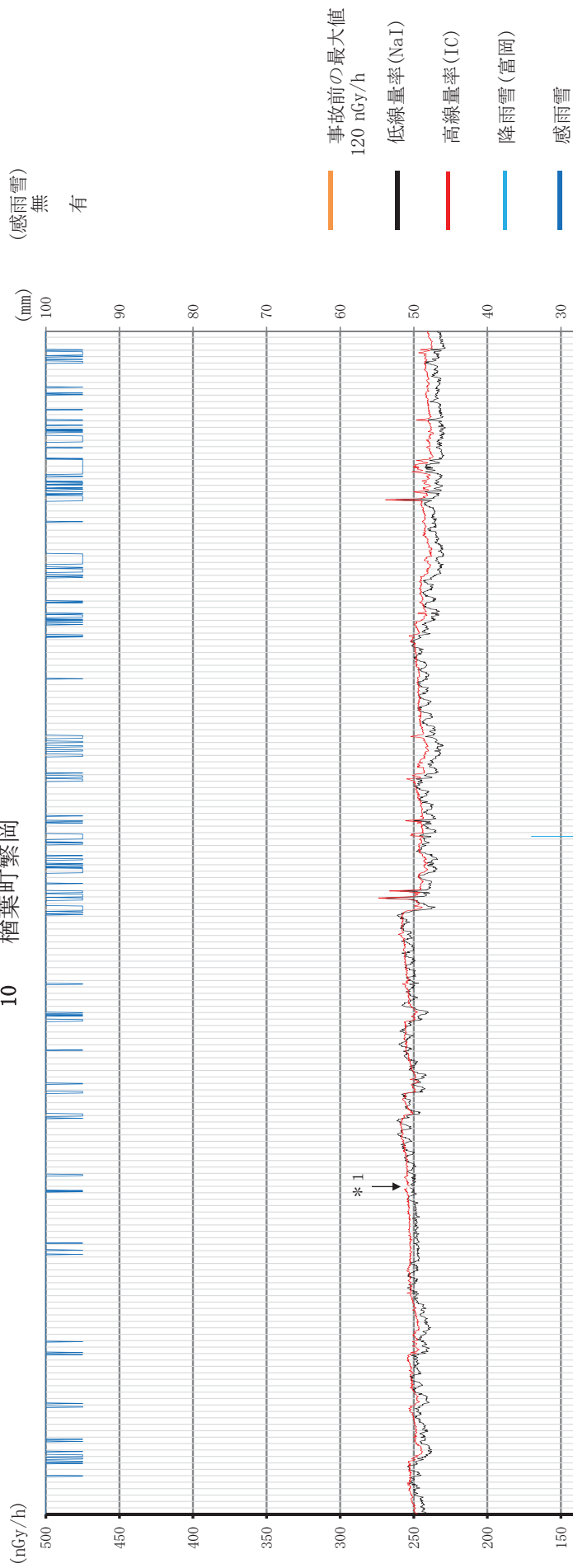


*1 8月3日は点検のため線量率欠測

空間線量率の変動グラフ 9 榎葉町木戸ダム



空間線量率の変動グラフ
10 榎葉町繁岡



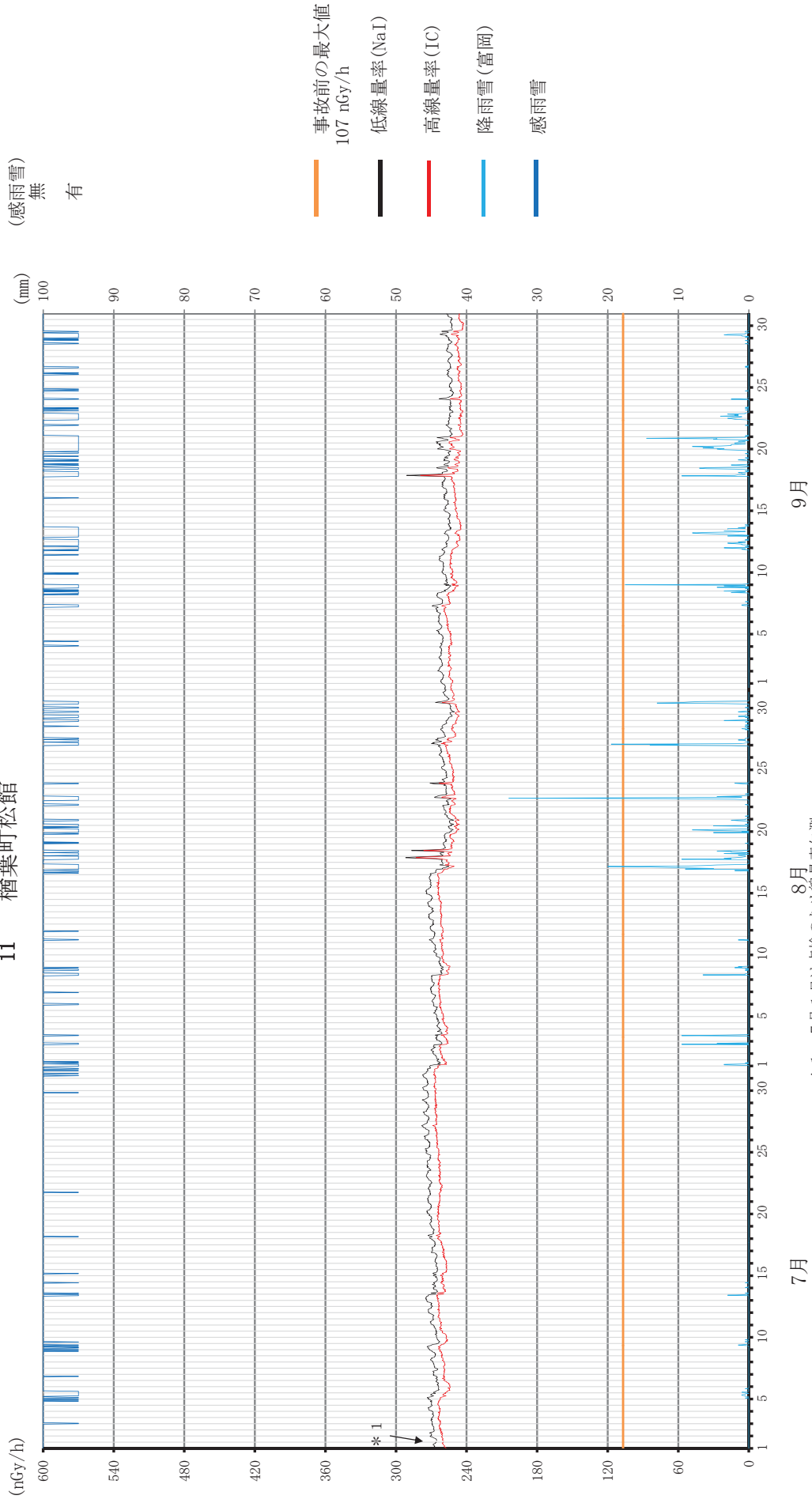
7月

8月

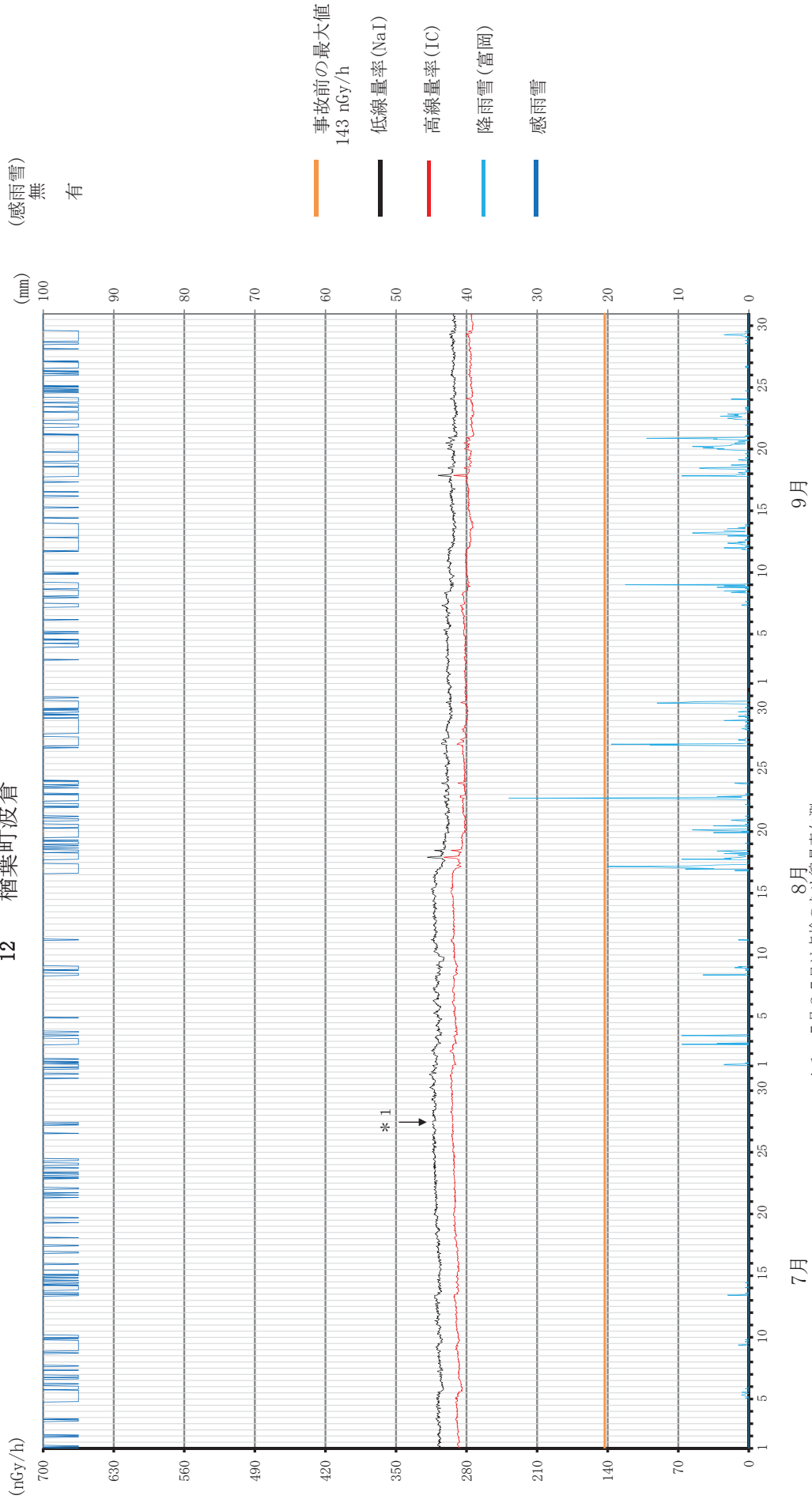
9月

* 1 7月26日は点検のため線量率欠測

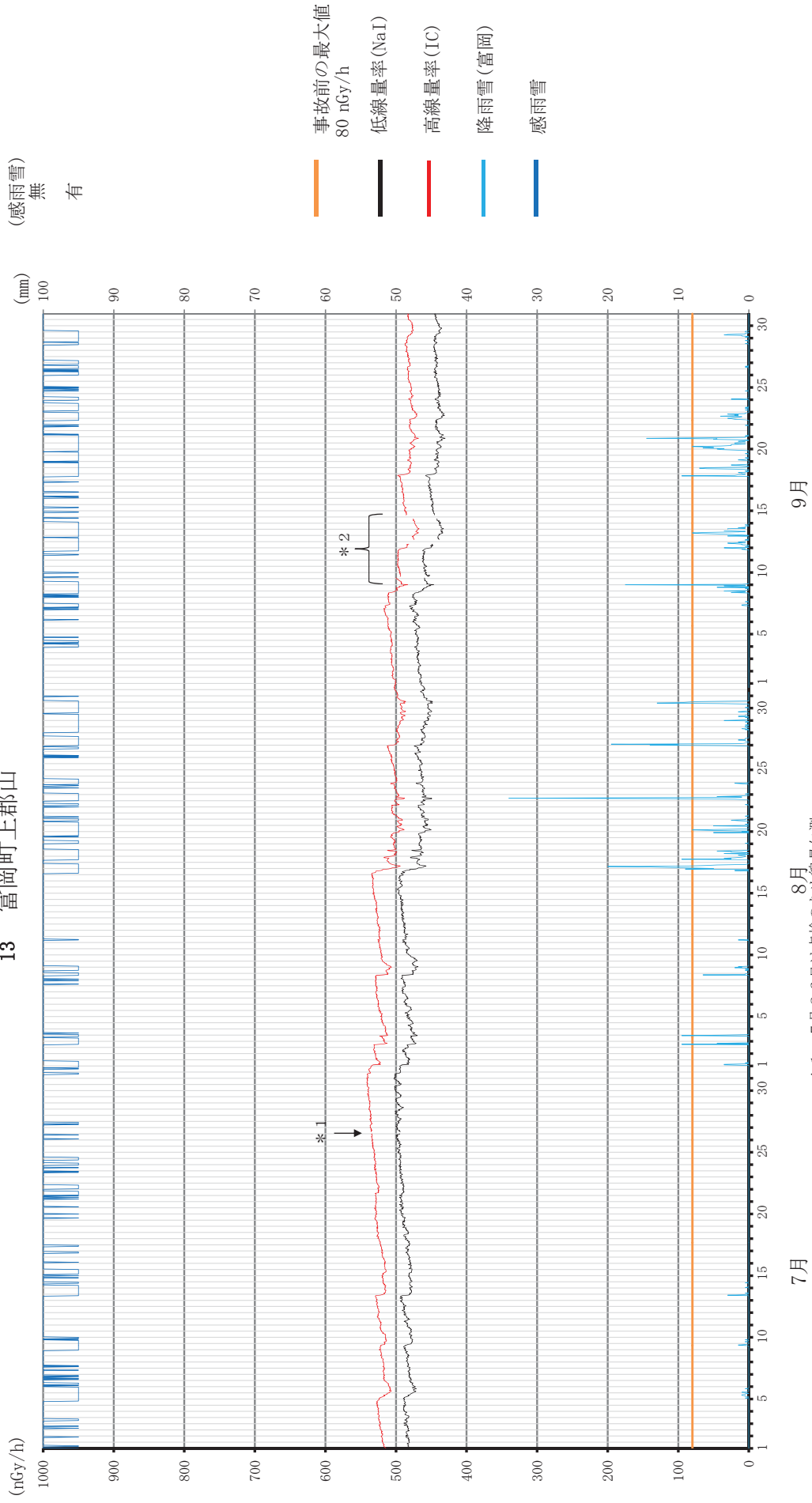
空間線量率の変動グラフ
11 榎葉町松館



空間線量率の変動グラフ
12 榎葉町波倉

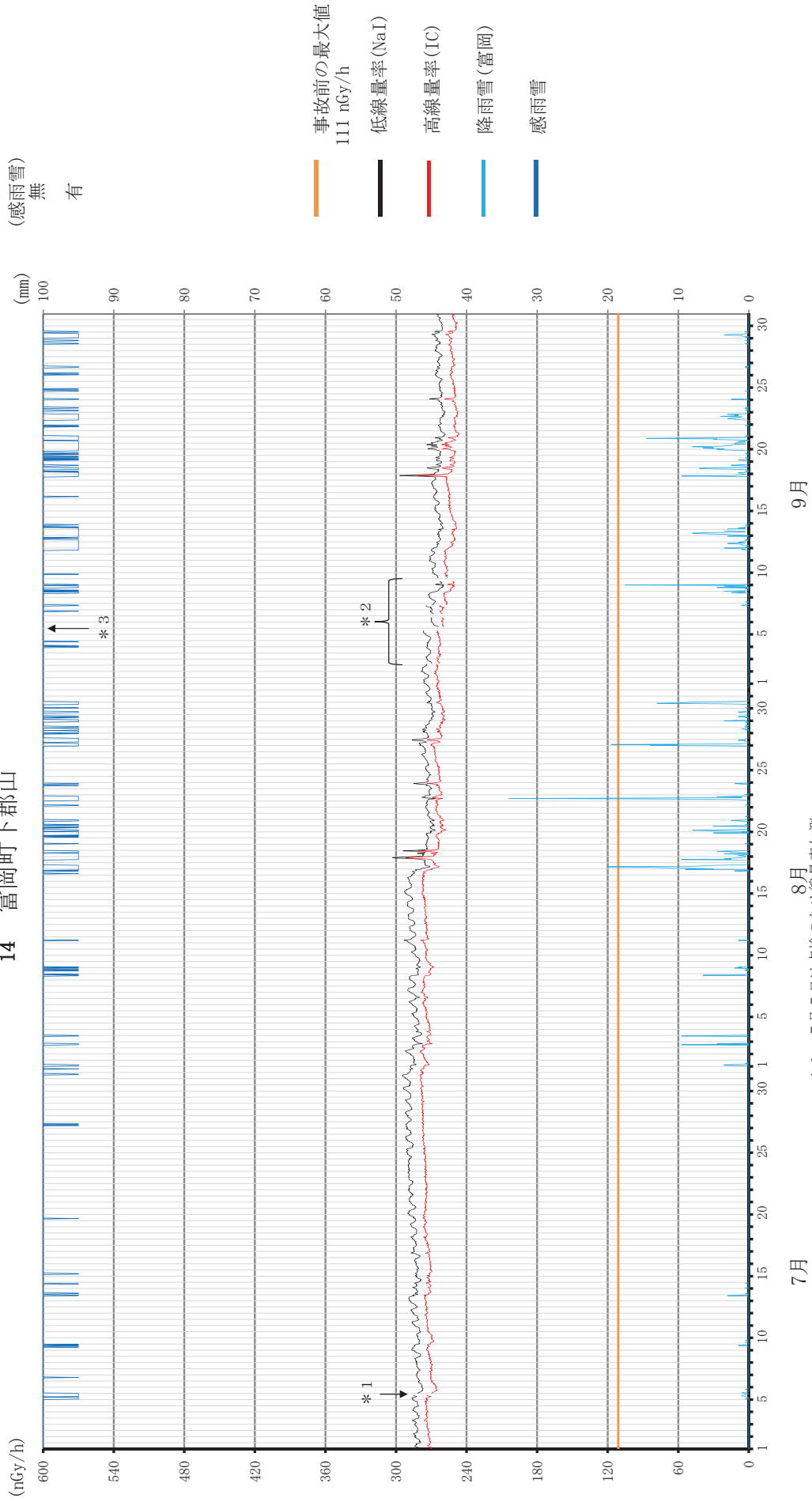


空間線量率の変動グラフ
13 富岡町上郡山



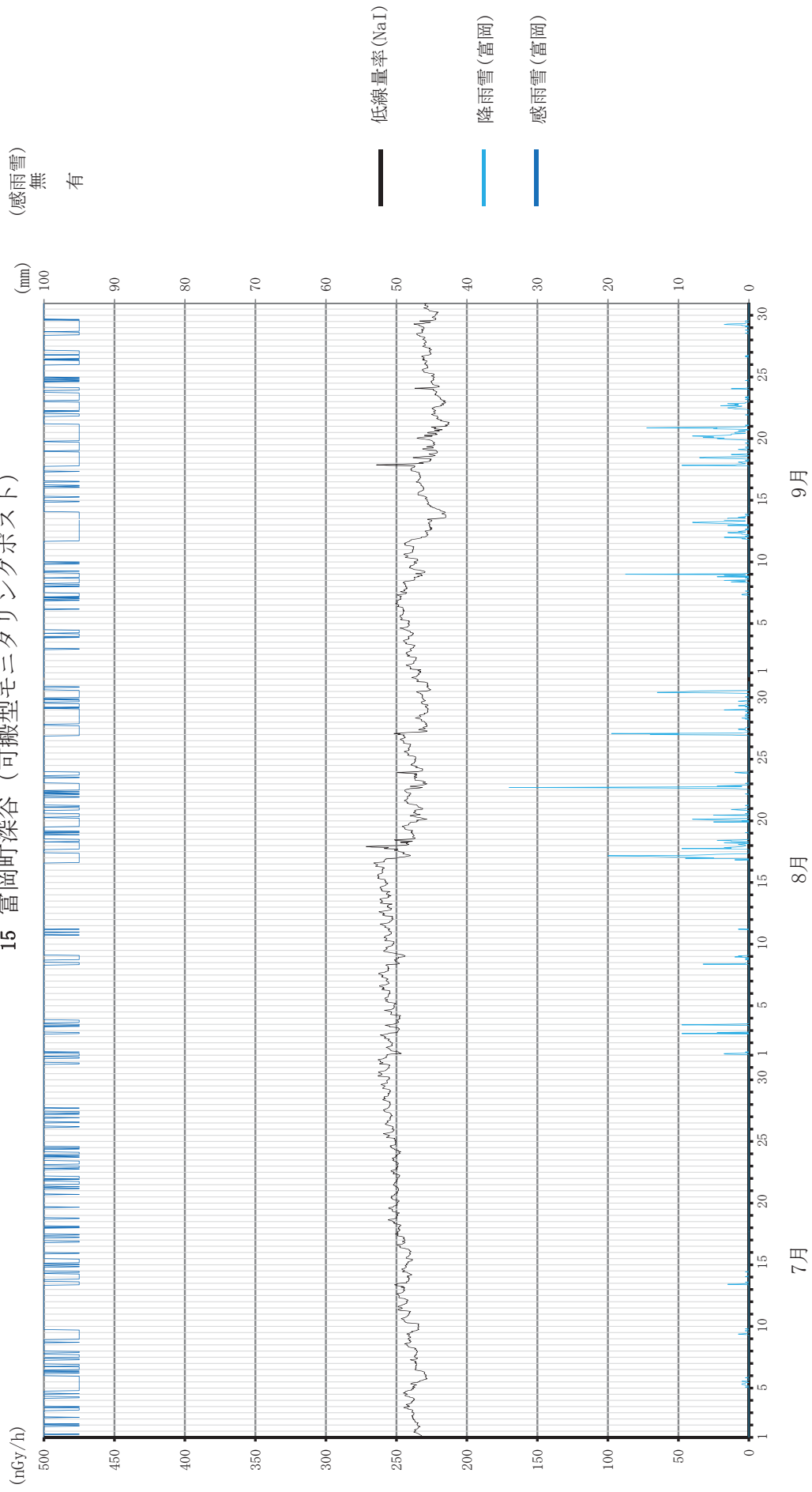
*1 7月26日は点検のため線量欠測
*2 9月9、12、14日は除染作業のため線量率欠測及び線量率低下

空間線量率の変動グラフ
14 富岡町下郡山



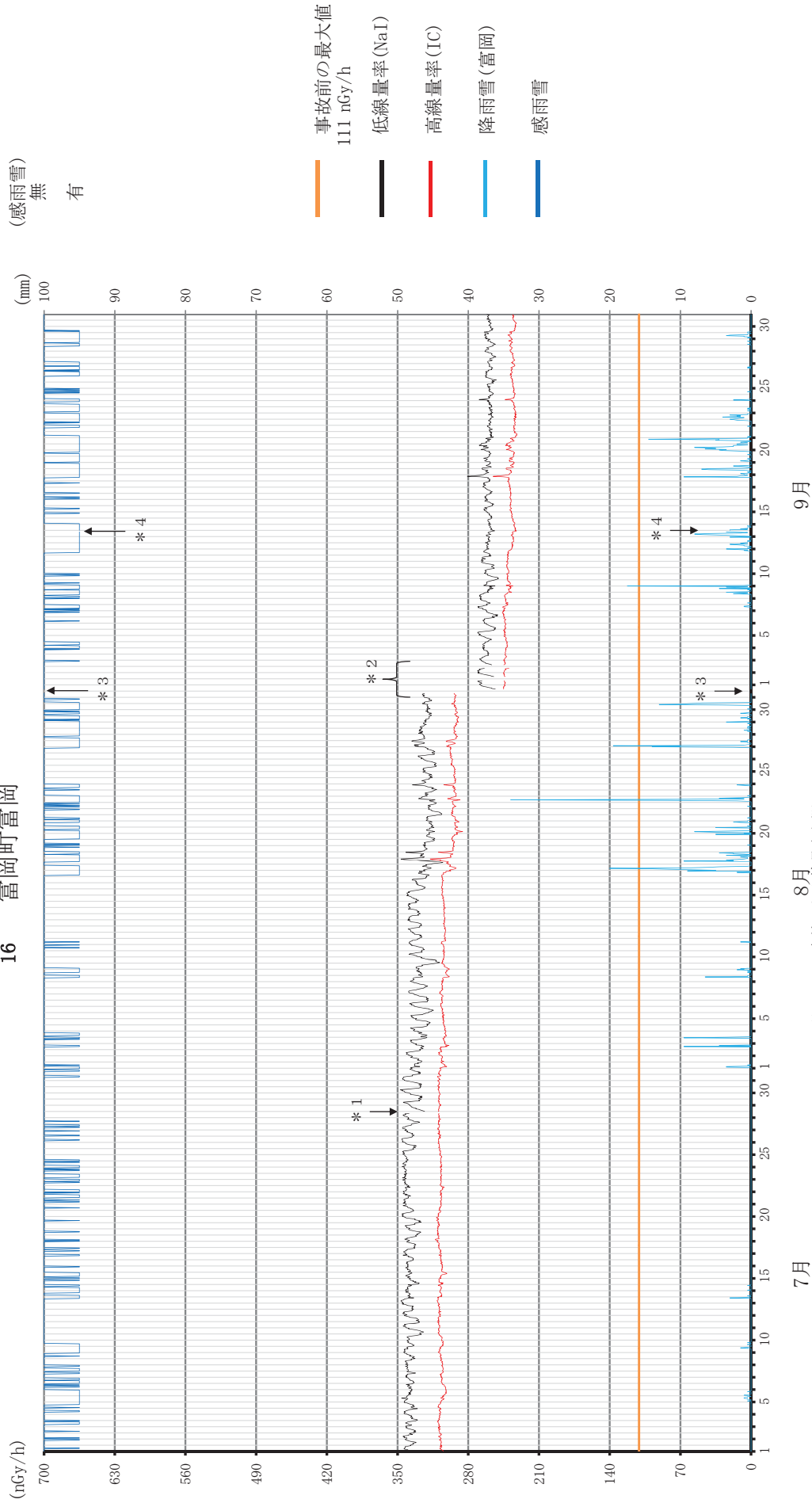
* 1 7月5日は点検のため線量率欠測
* 2 9月2, 5, 6, 7, 9日は除染作業のため線量率欠測及び線量率低下
* 3 9月5日は除染作業のため感雨雪欠測

空間線量率の変動グラフ 15 富岡町深谷（可搬型モニタリングポスト）



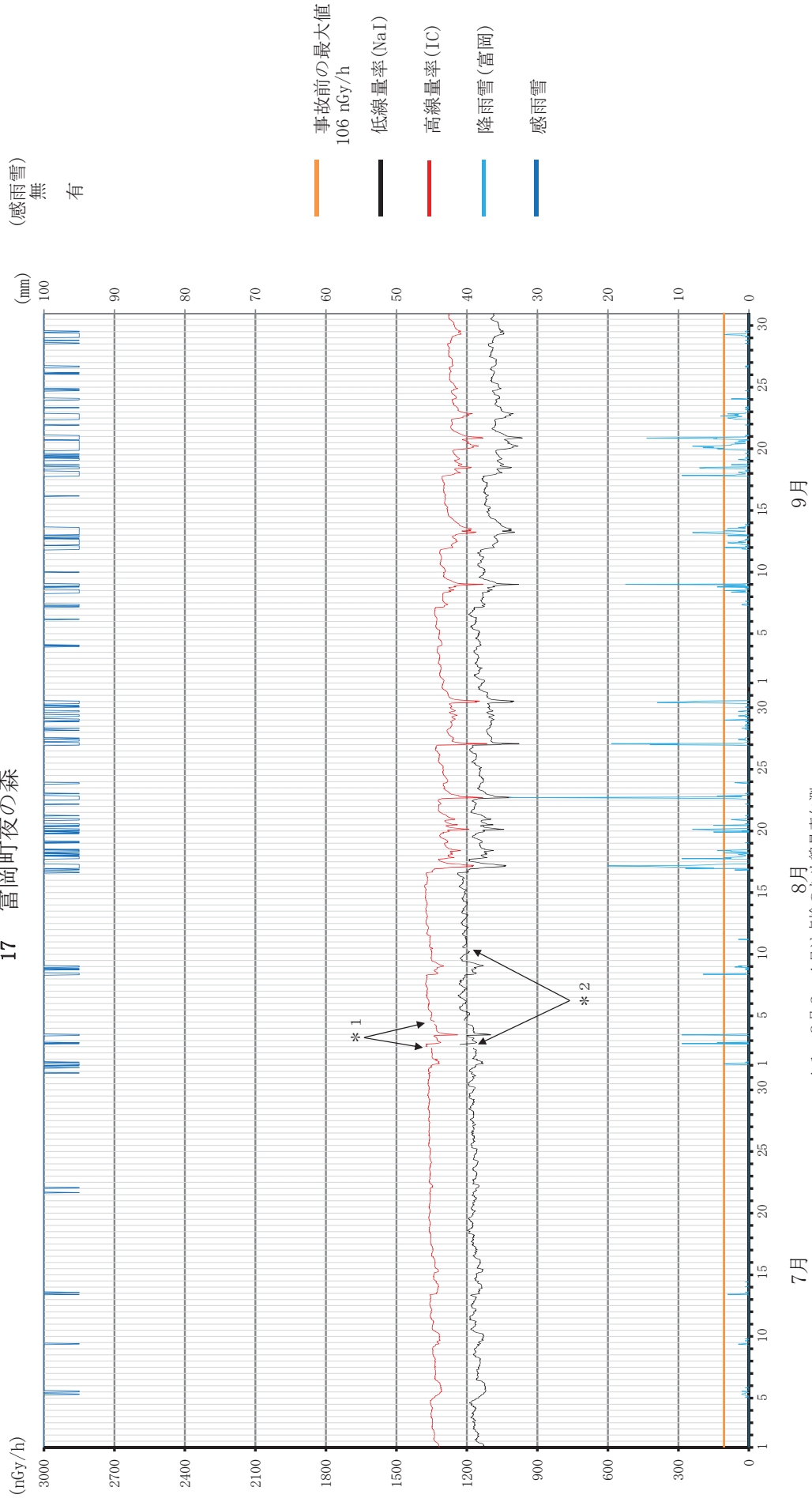
空間線量率の変動グラフ

16 富岡町富岡



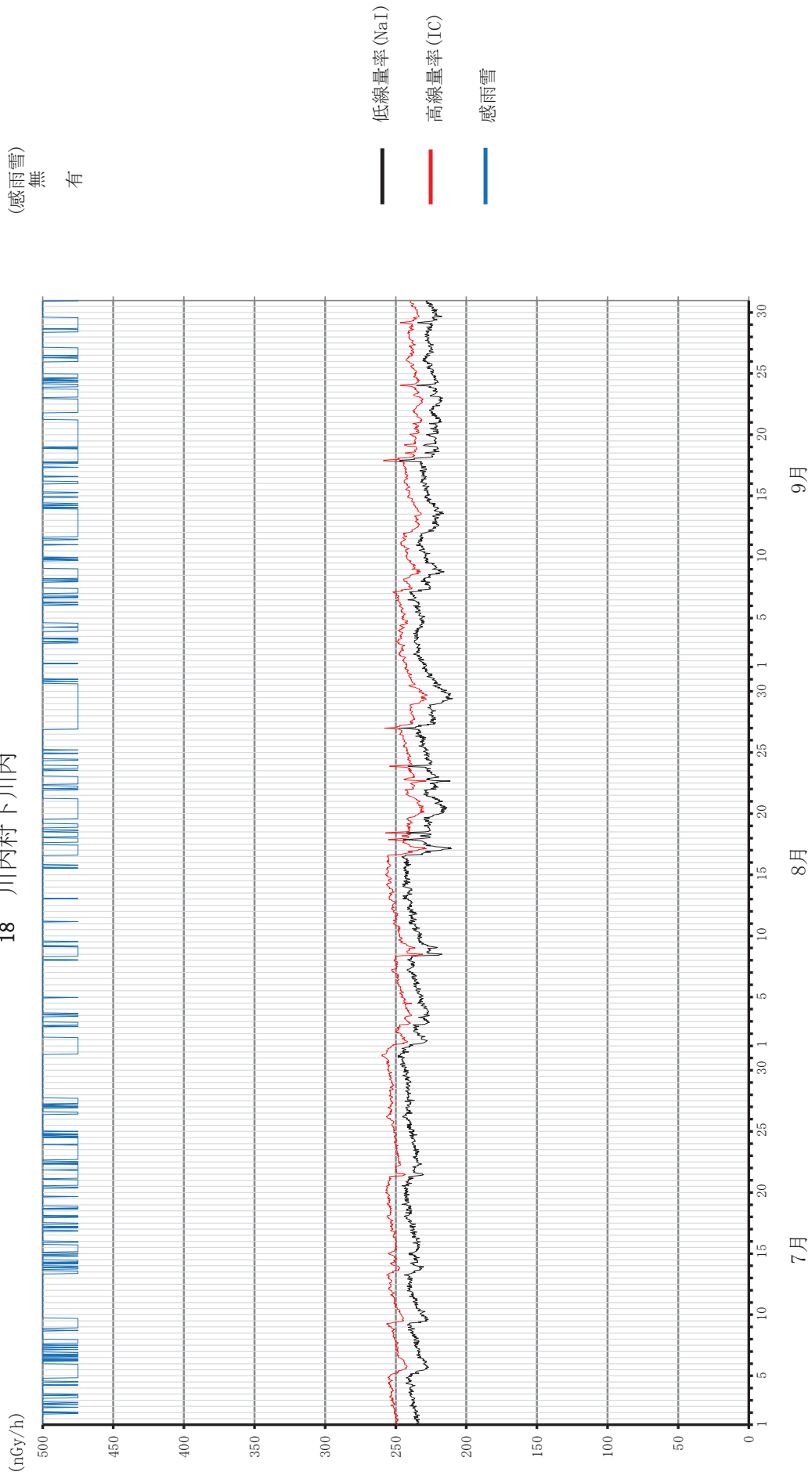
- * 1 7月28日は点検のため線量率欠測
- * 2 8月31日及び9月1, 2日は除染作業のため線量率欠測及び線量率低下
- * 3 8月31日は除染作業のため気象計欠測 (富岡局気象計を参照している他局についても同様)
- * 4 9月13日は点検のため気象計欠測 (富岡局気象計を参照している他局についても同様)

空間線量率の変動グラフ
17 富岡町夜の森



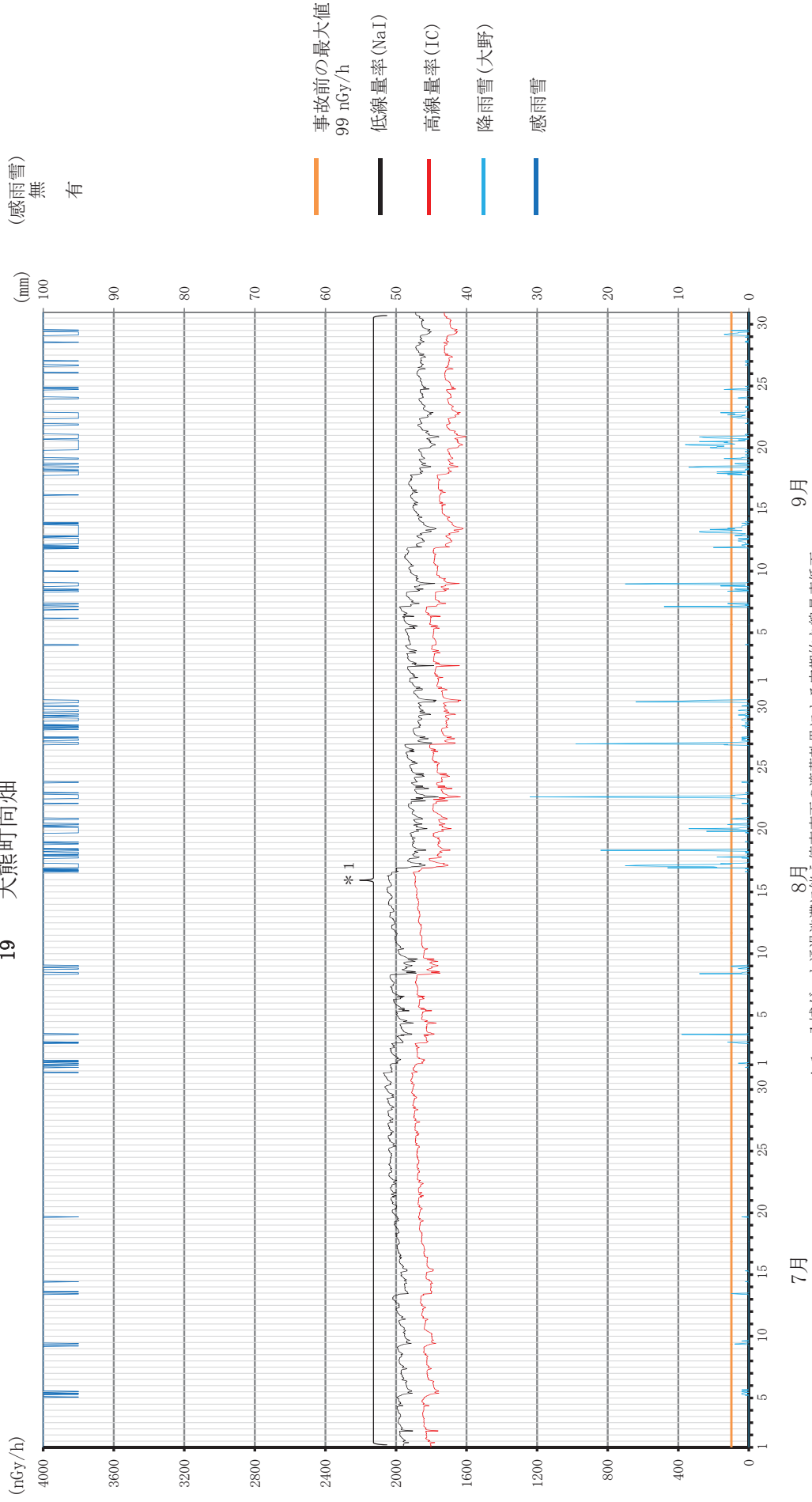
空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内



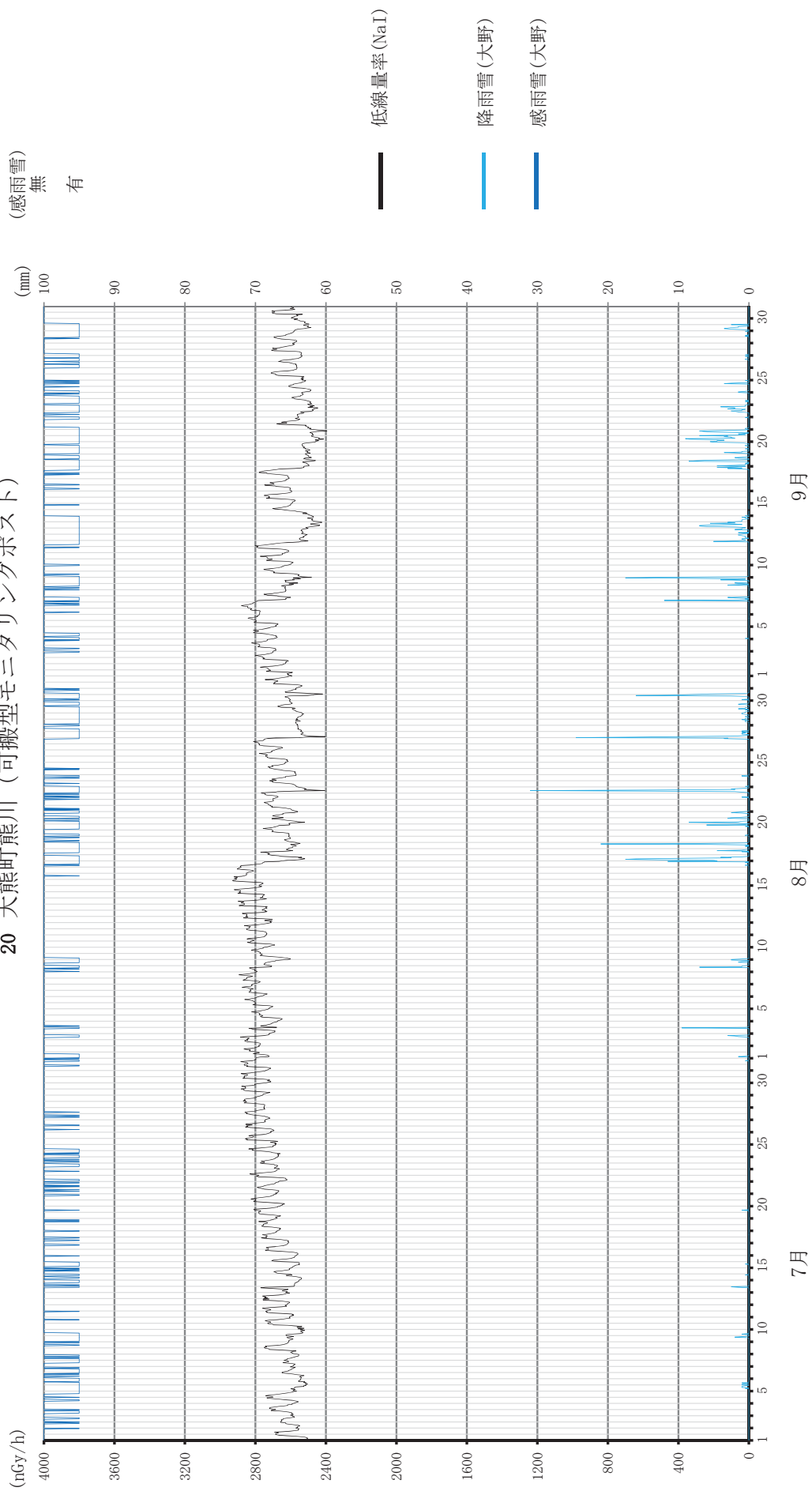
空間線量率の変動グラフ

19 大熊町向畑

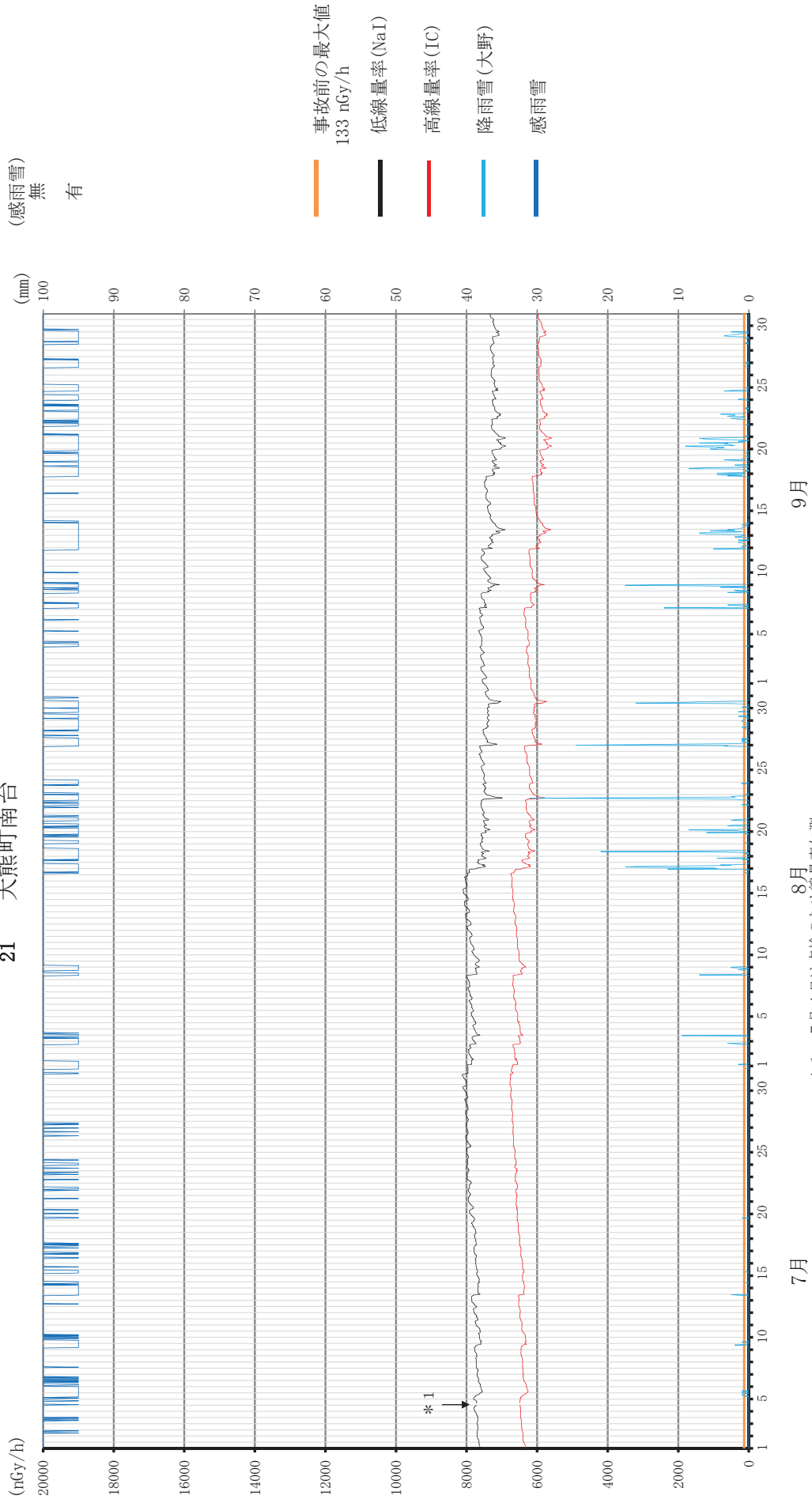


*1 入城ゲート通過渋滞に伴う停車車両の遮蔽効果による定期的な線量率低下

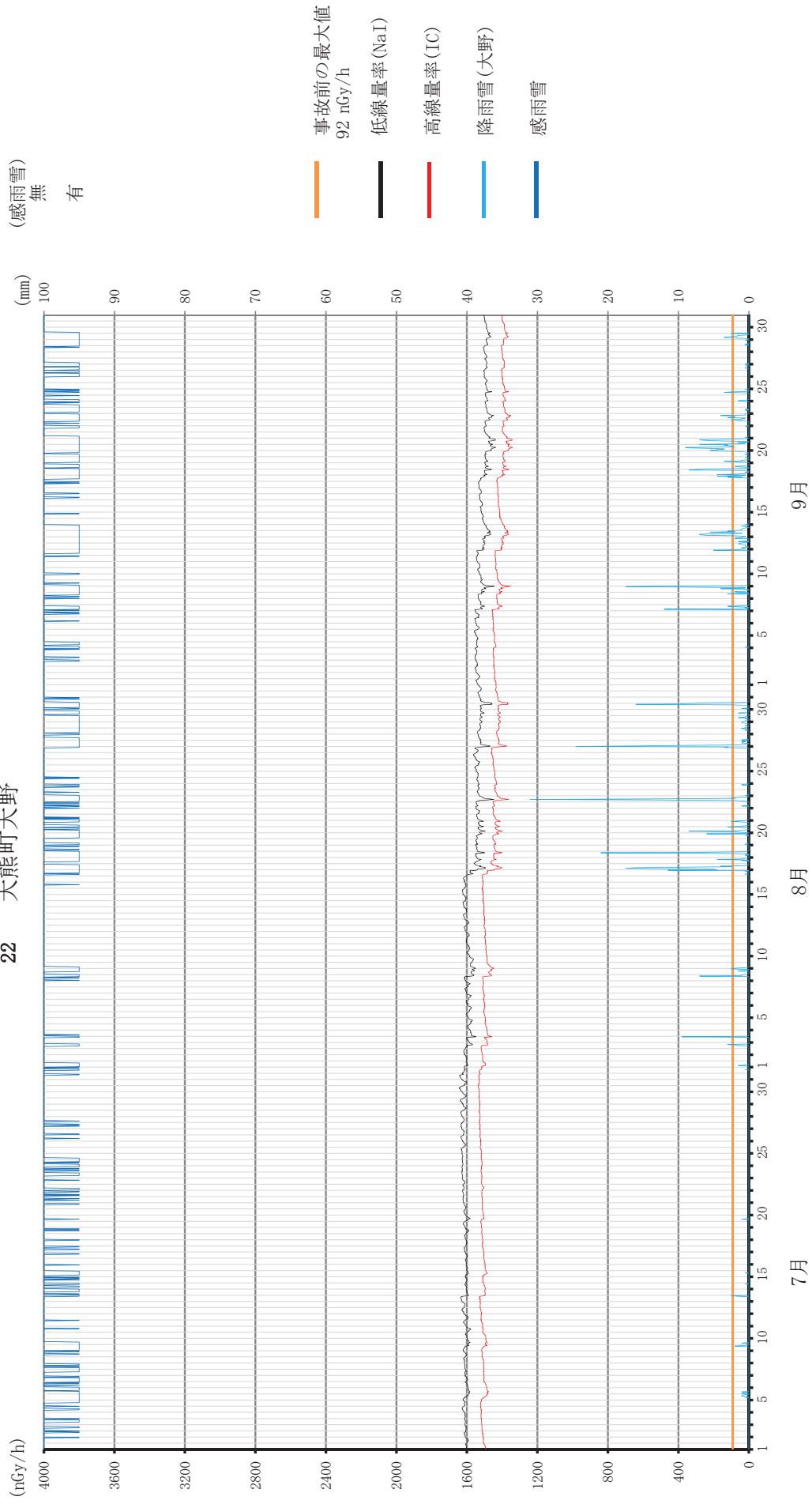
空間線量率の変動グラフ
20 大熊町熊川（可搬型モニタリングポスト）



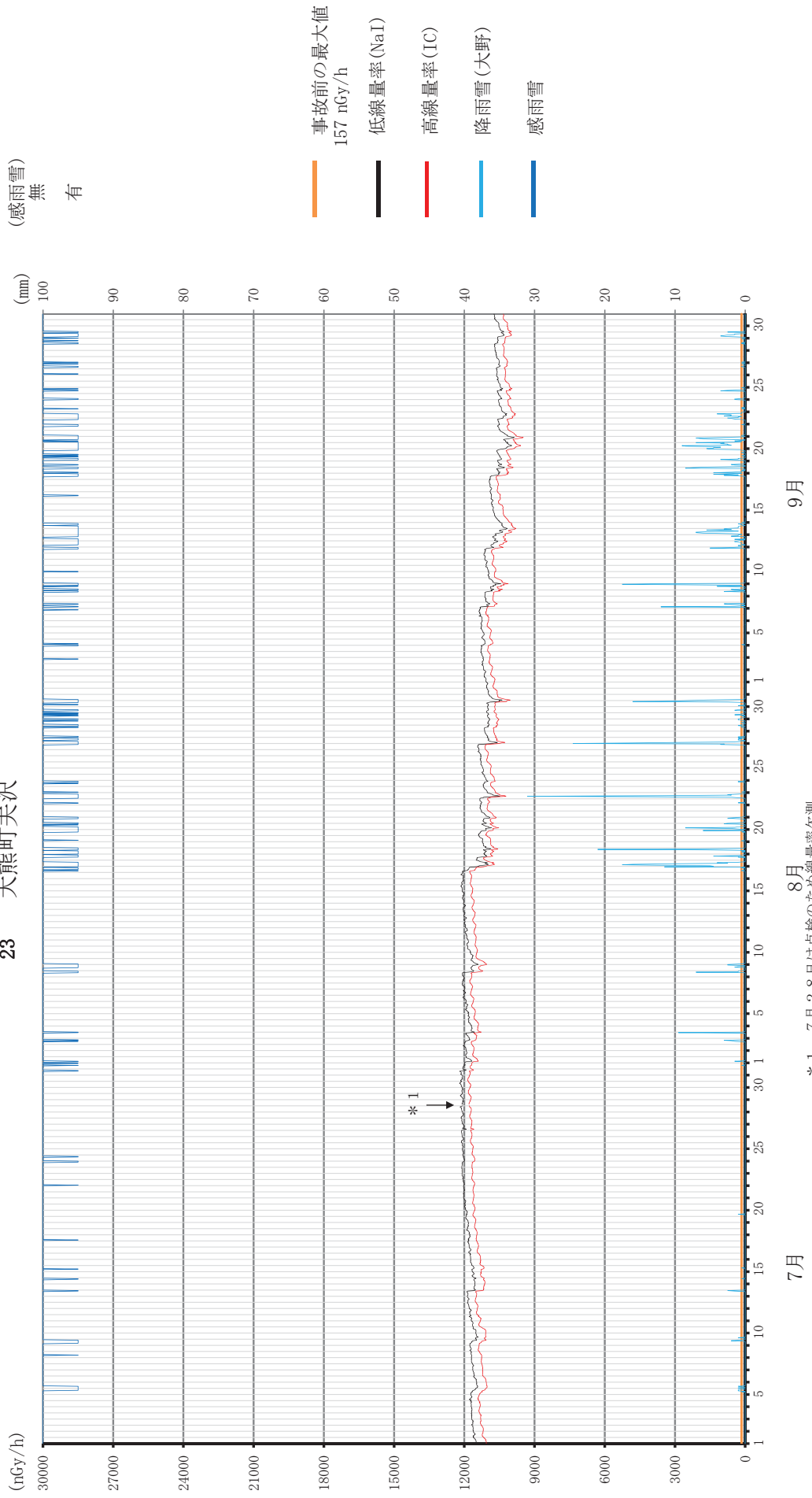
空間線量率の変動グラフ
21 大熊町南台



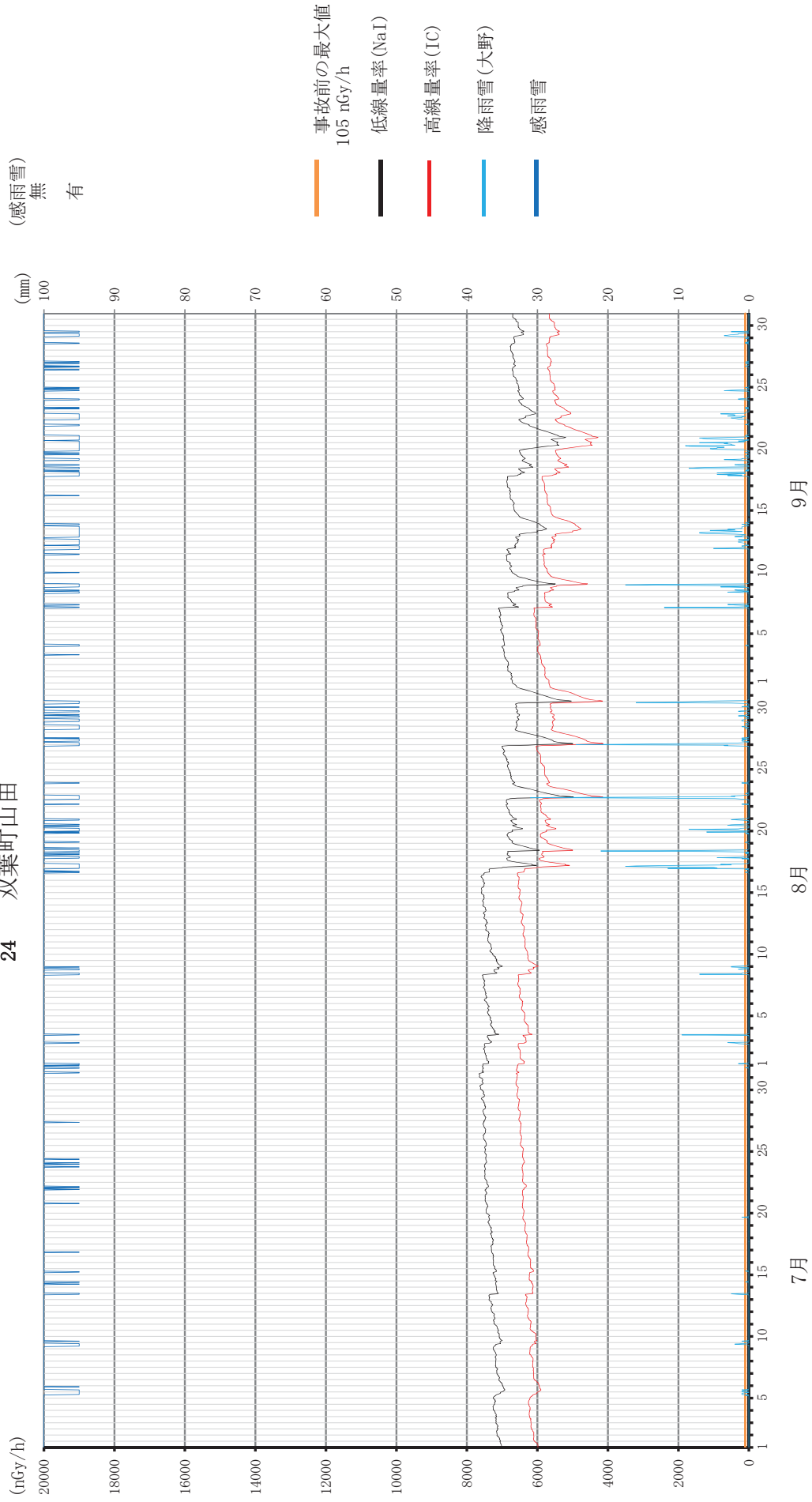
空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野



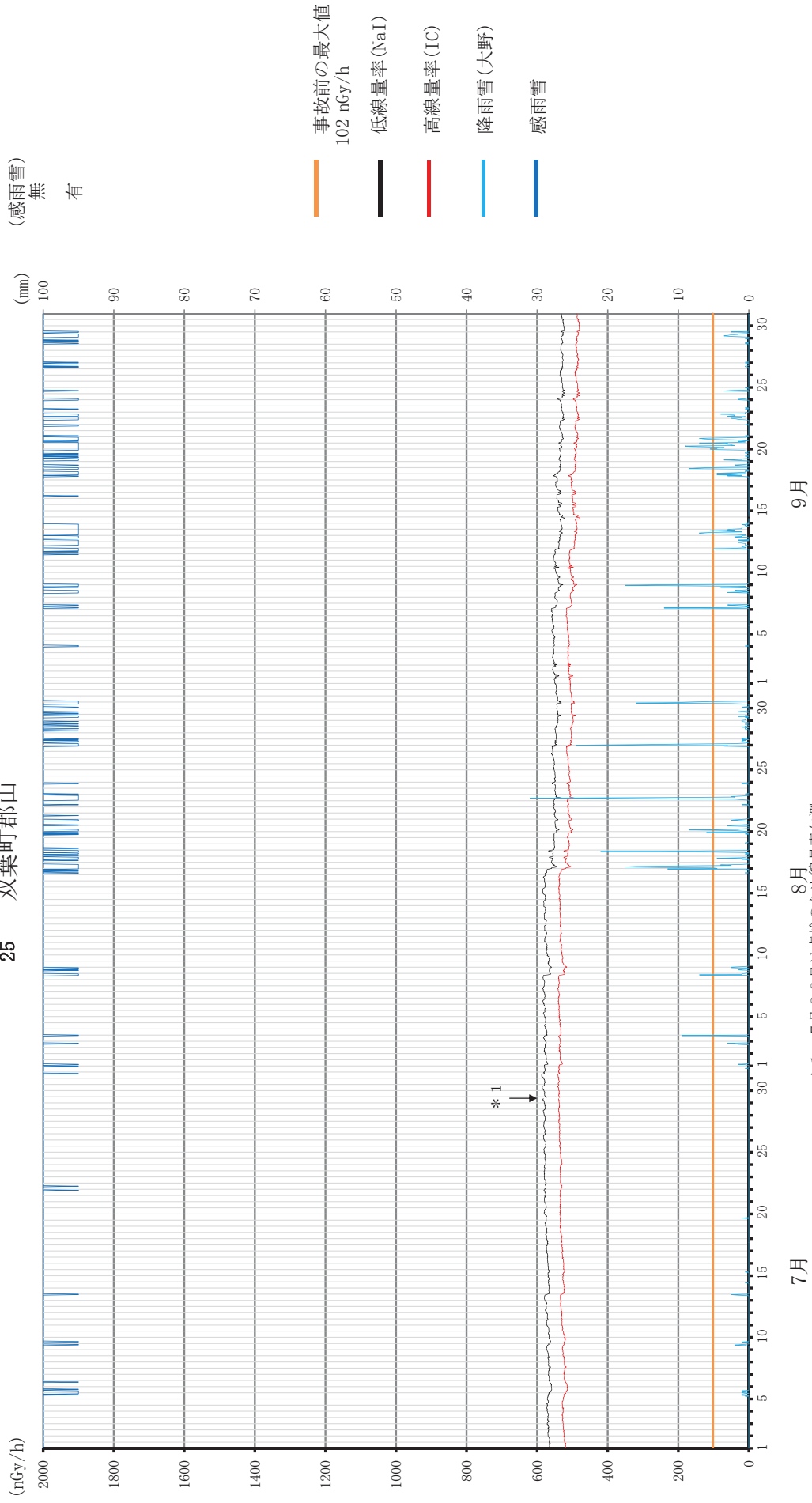
空間線量率の変動グラフ
23 大熊町夫沢



空間線量率の変動グラフ
24 双葉町山田

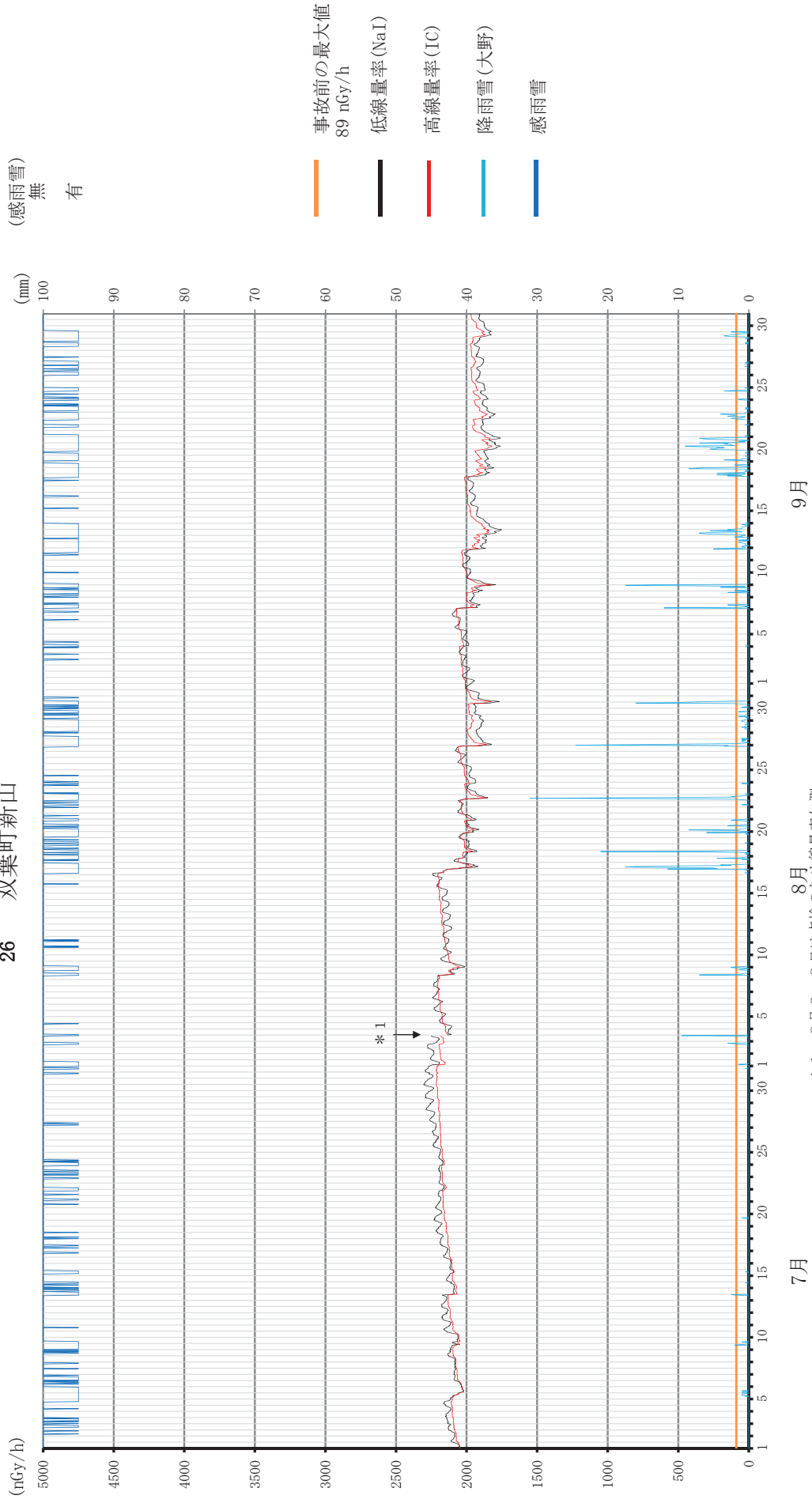


空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山

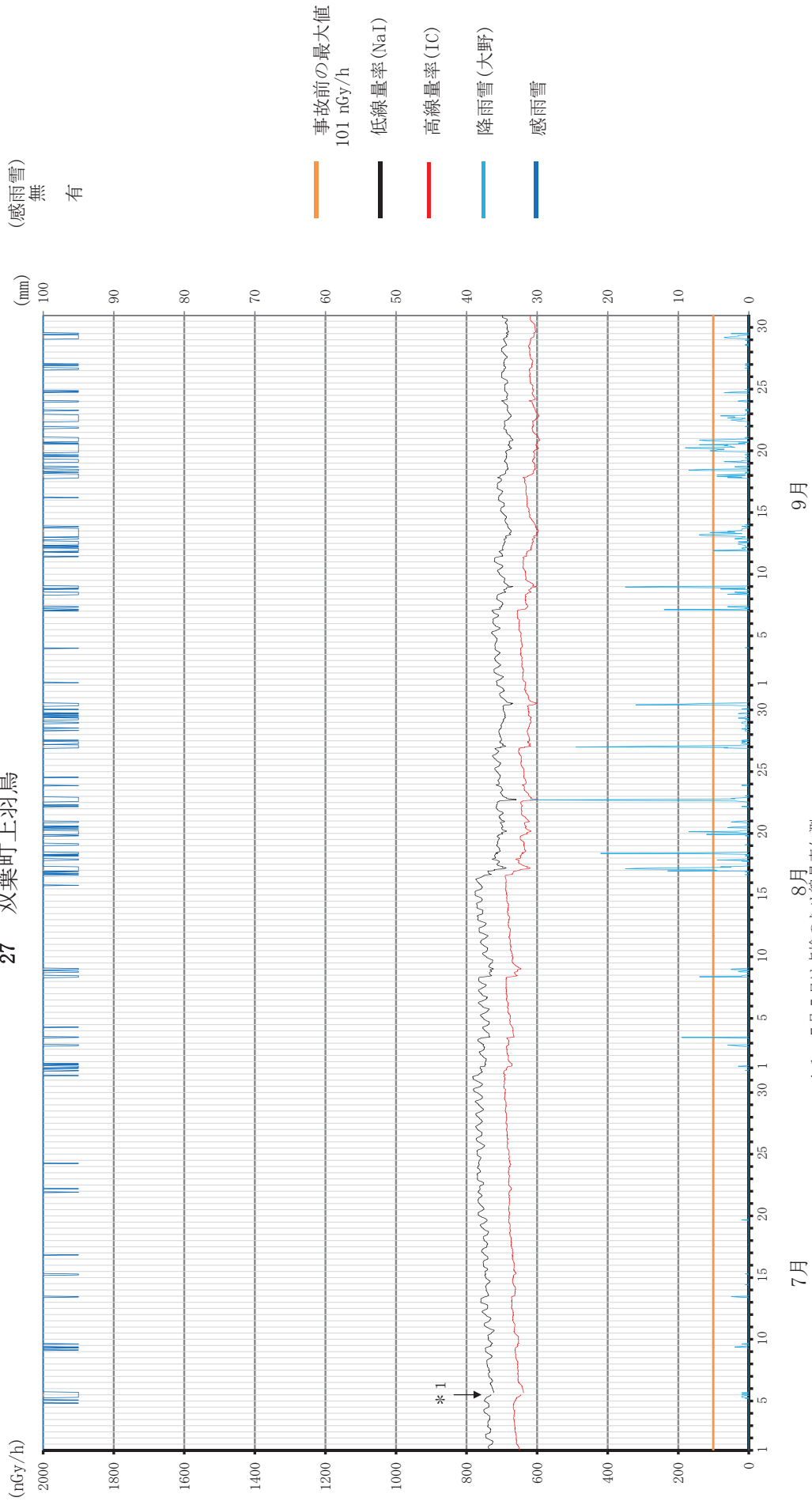


* 1 7月29日は点検のため線量率欠測

空間線量率の変動グラフ 26 双葉町新山

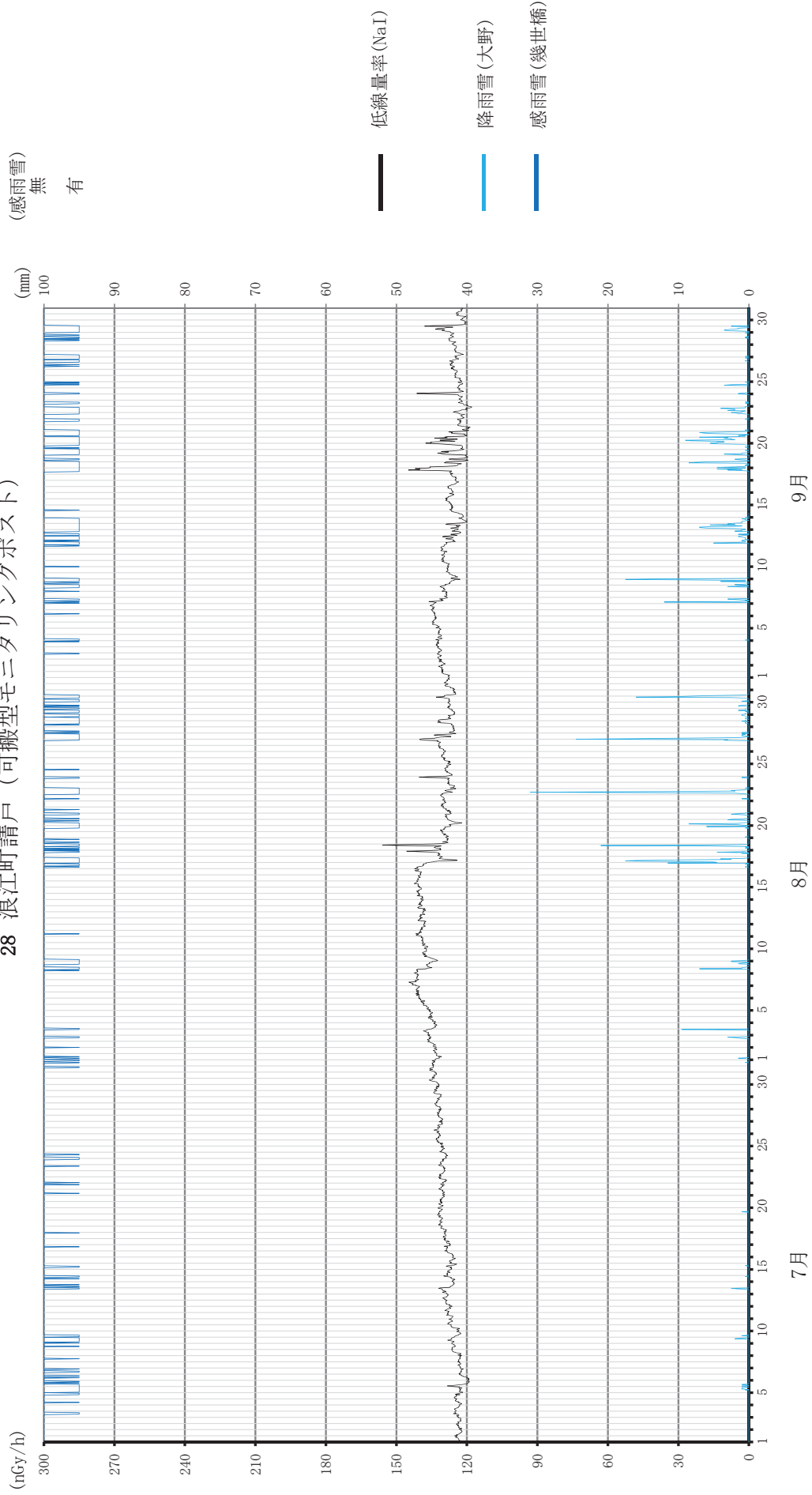


空間線量率の変動グラフ
27 双葉町上羽鳥

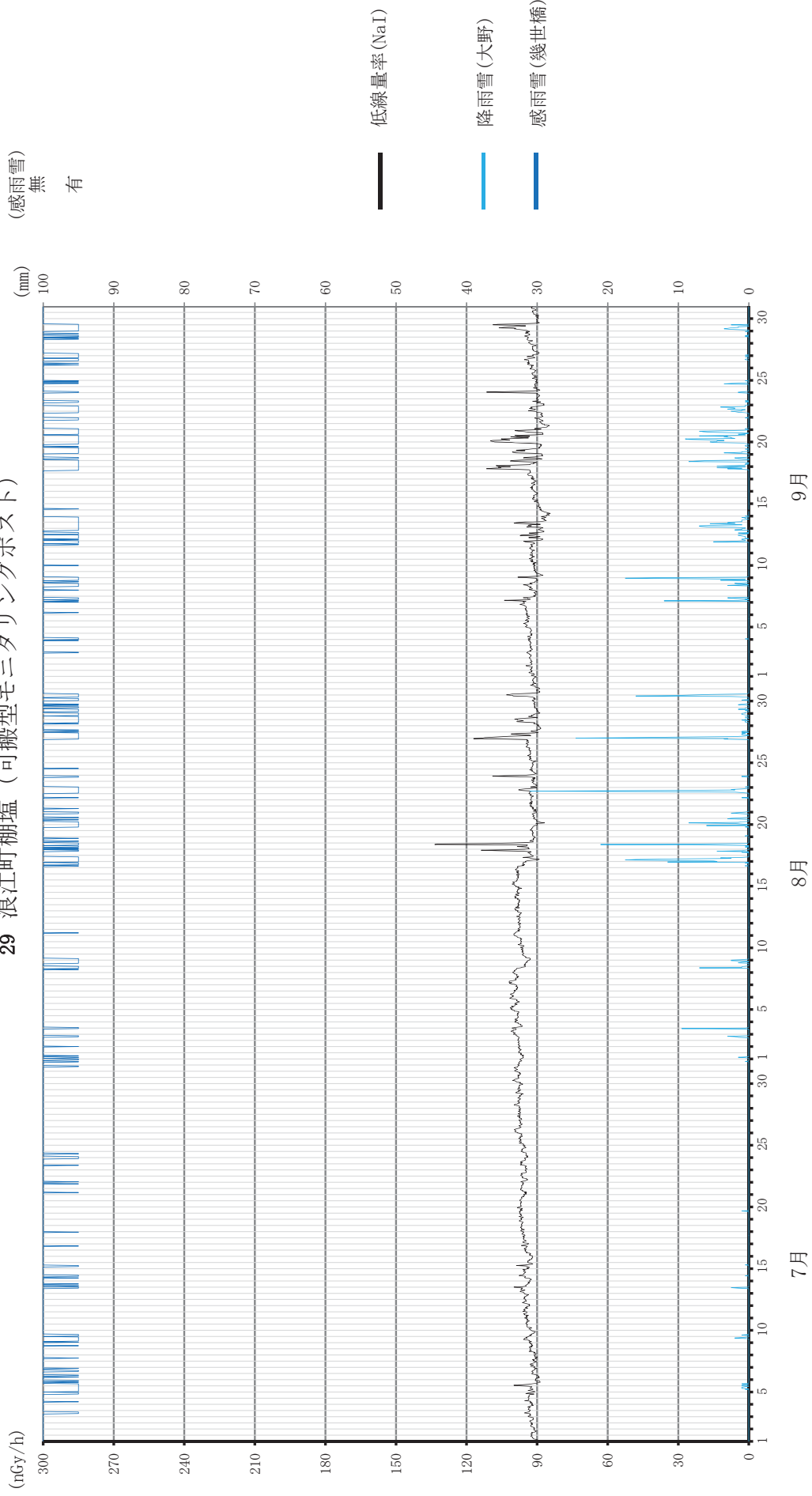


*1 7月5日は点検のため線量率欠測

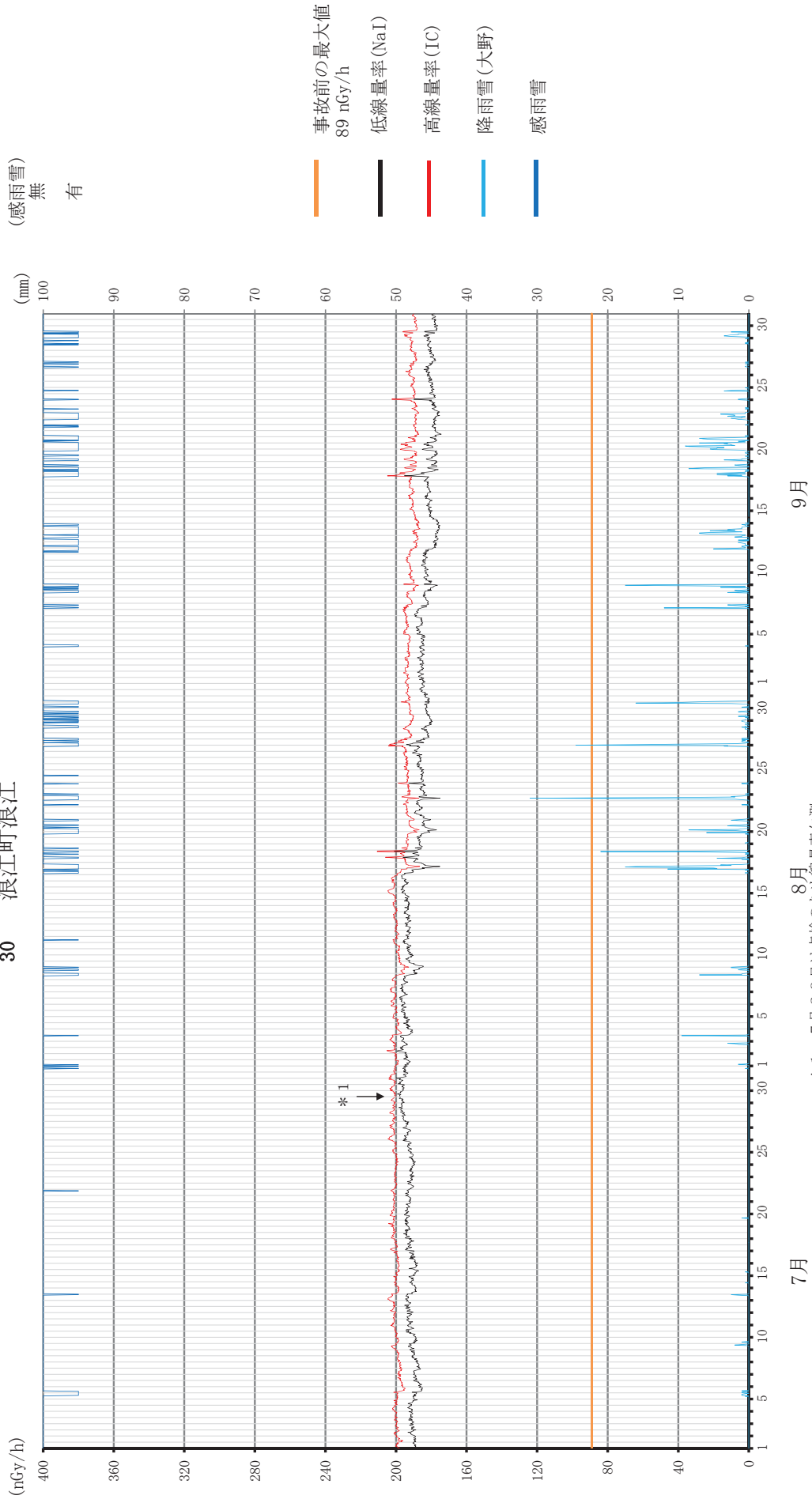
空間線量率の変動グラフ
28 浪江町請戸（可搬型モニタリングポスト）



空間線量率の変動グラフ 29 浪江町棚塩（可搬型モニタリングポスト）

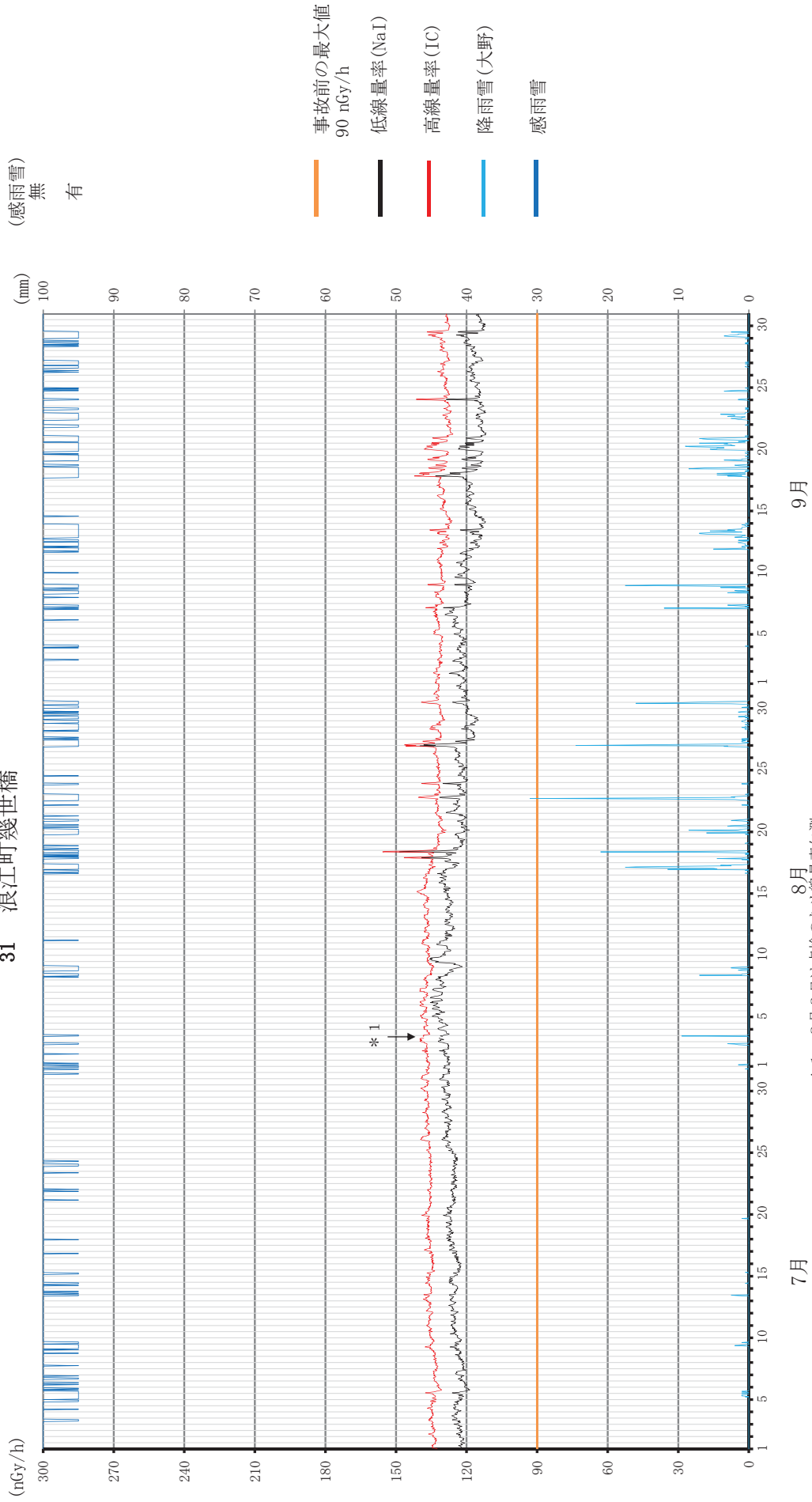


空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江



* 1 7月29日は点検のため線量率欠測

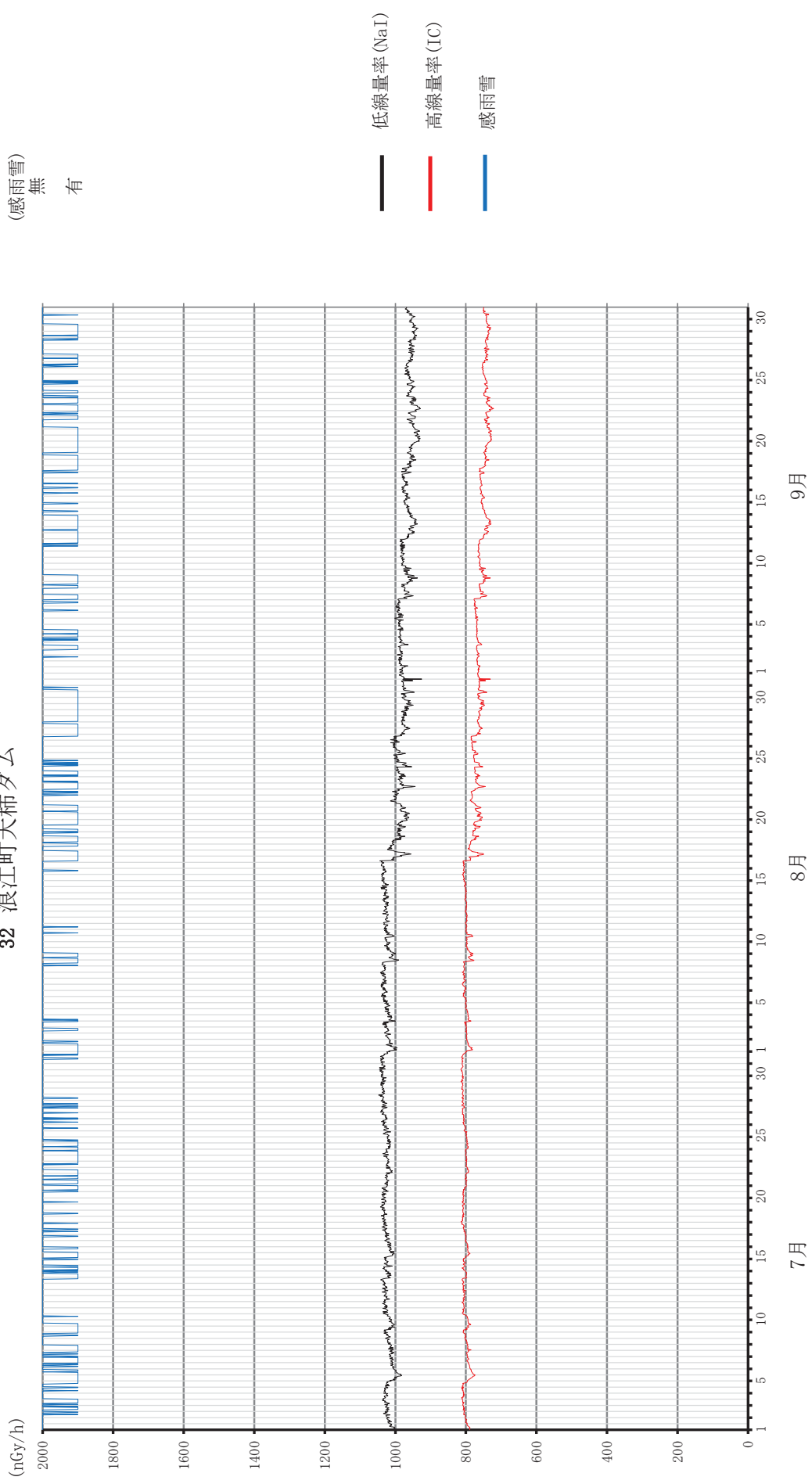
空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋



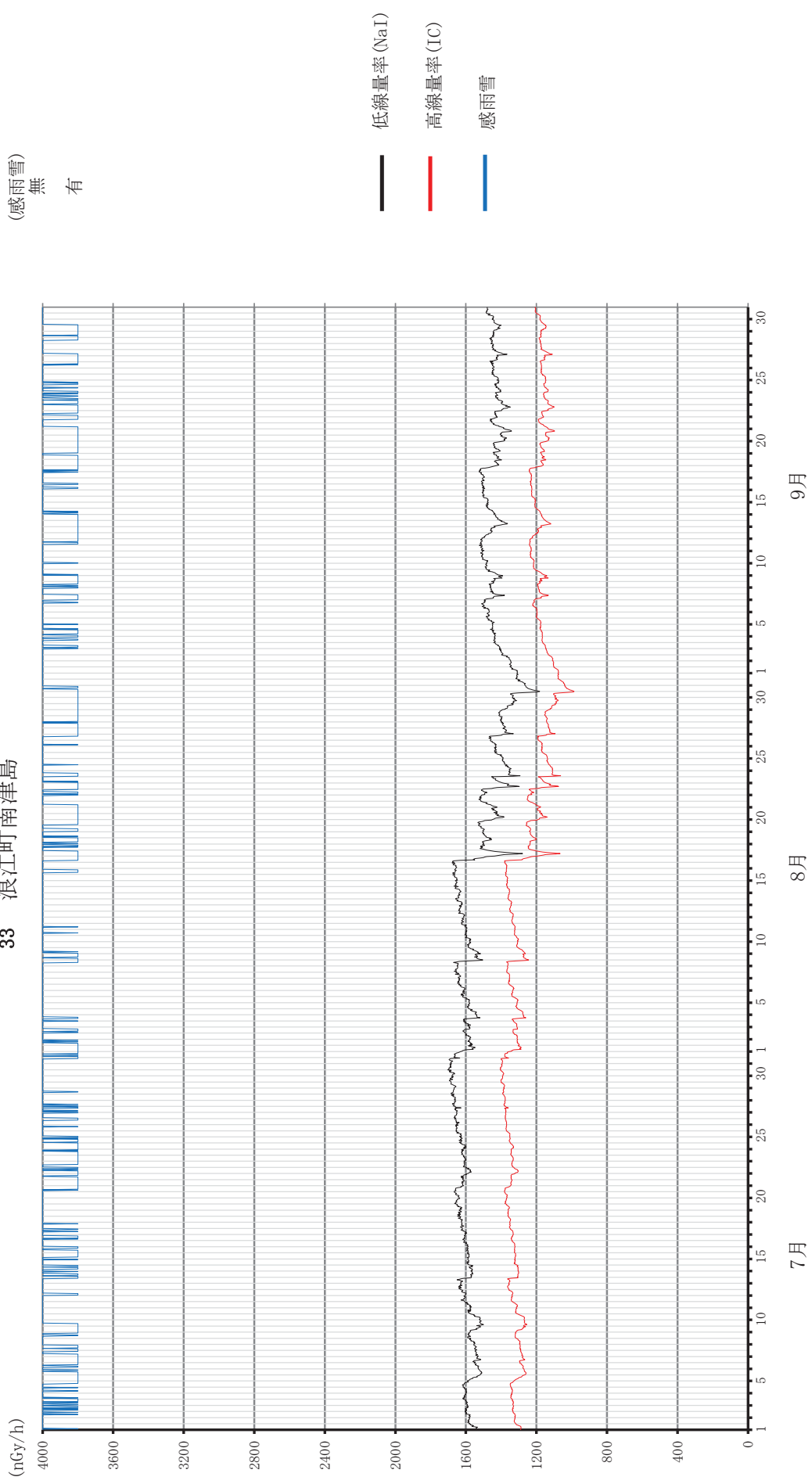
*1 8月3日は点検のため線量率欠測

空間線量率の変動グラフ

32 浪江町大柿ダム

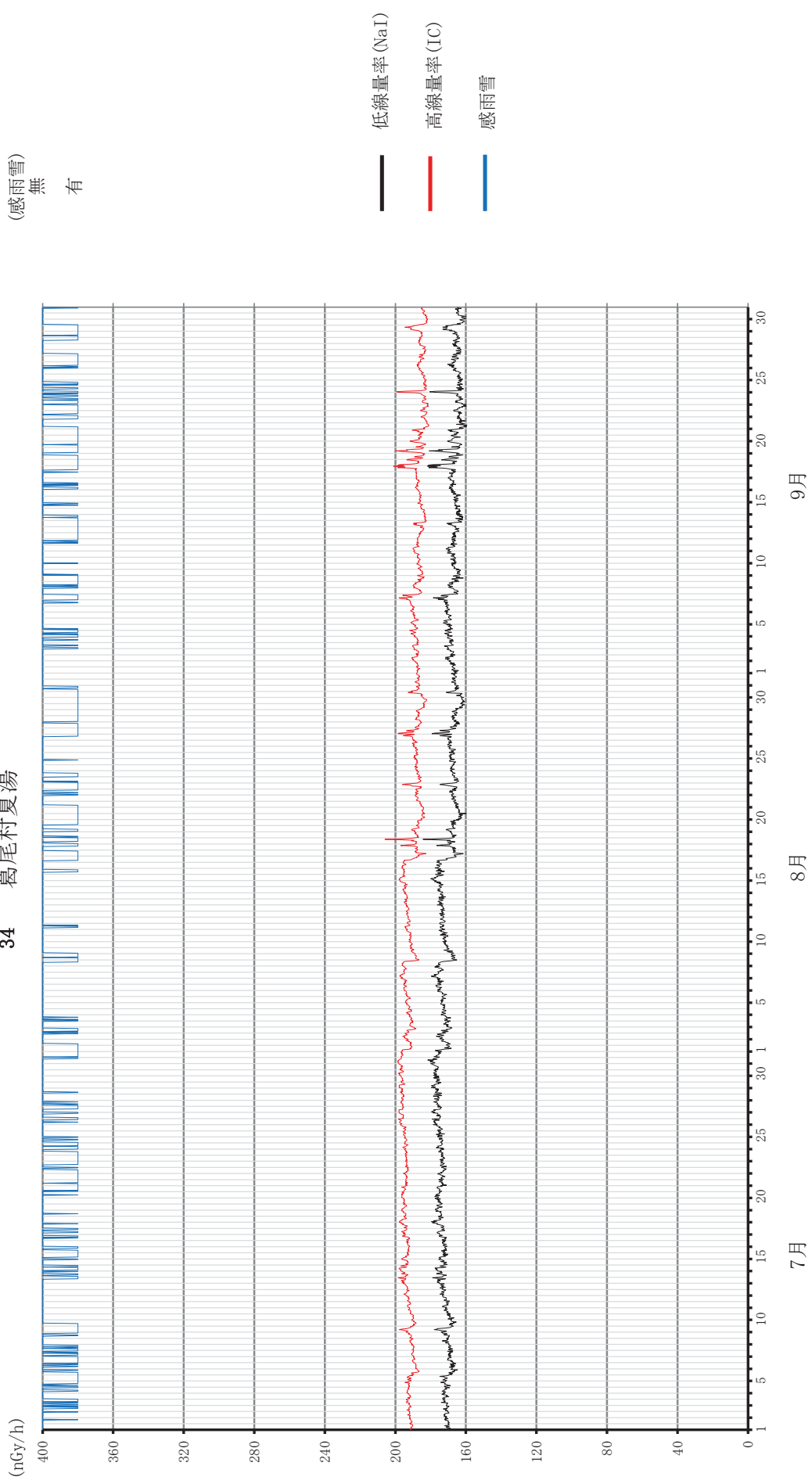


空間線量率の変動グラフ
33 浪江町南津島

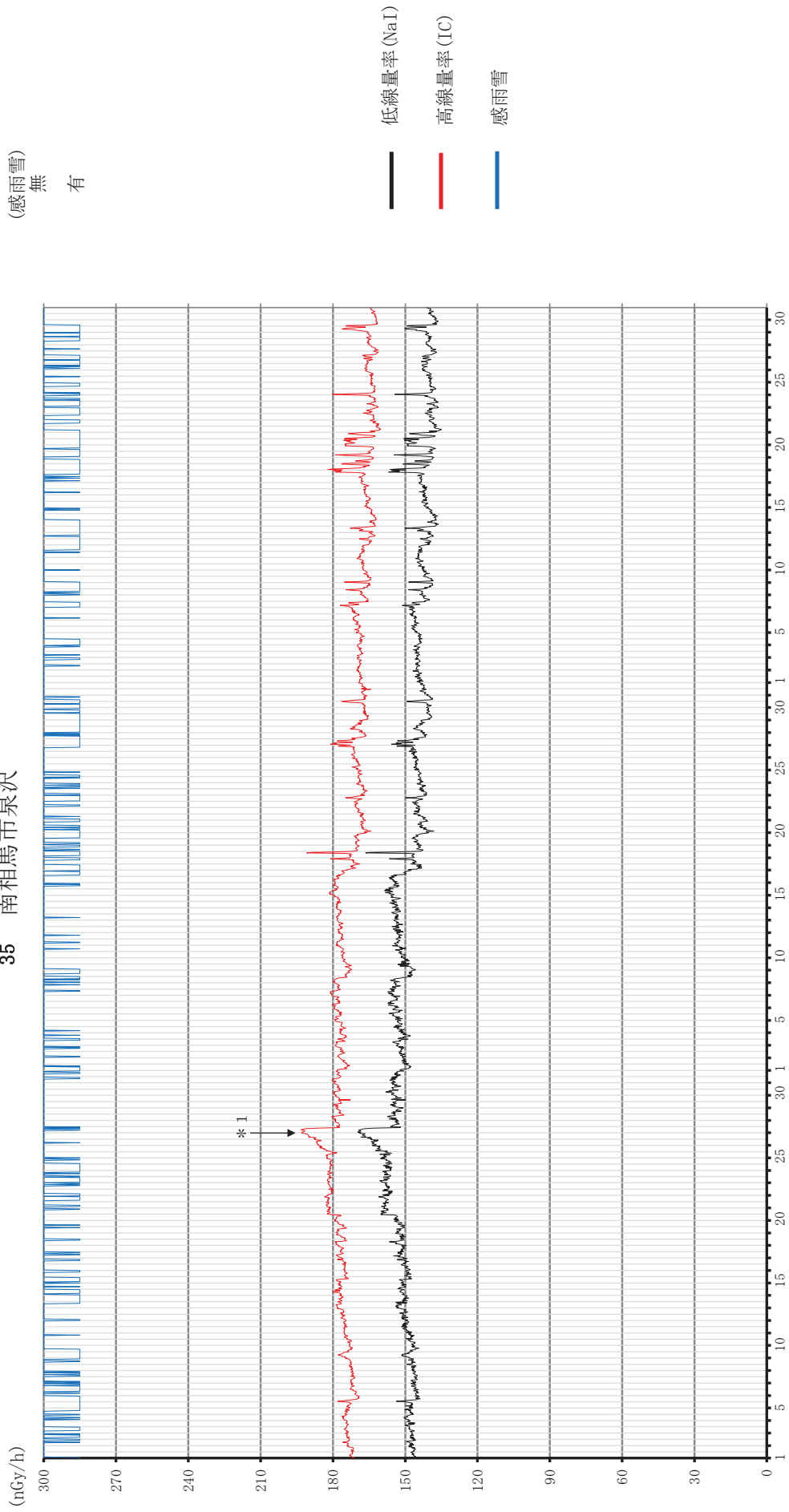


空間線量率の変動グラフ

34 葛尾村夏湯

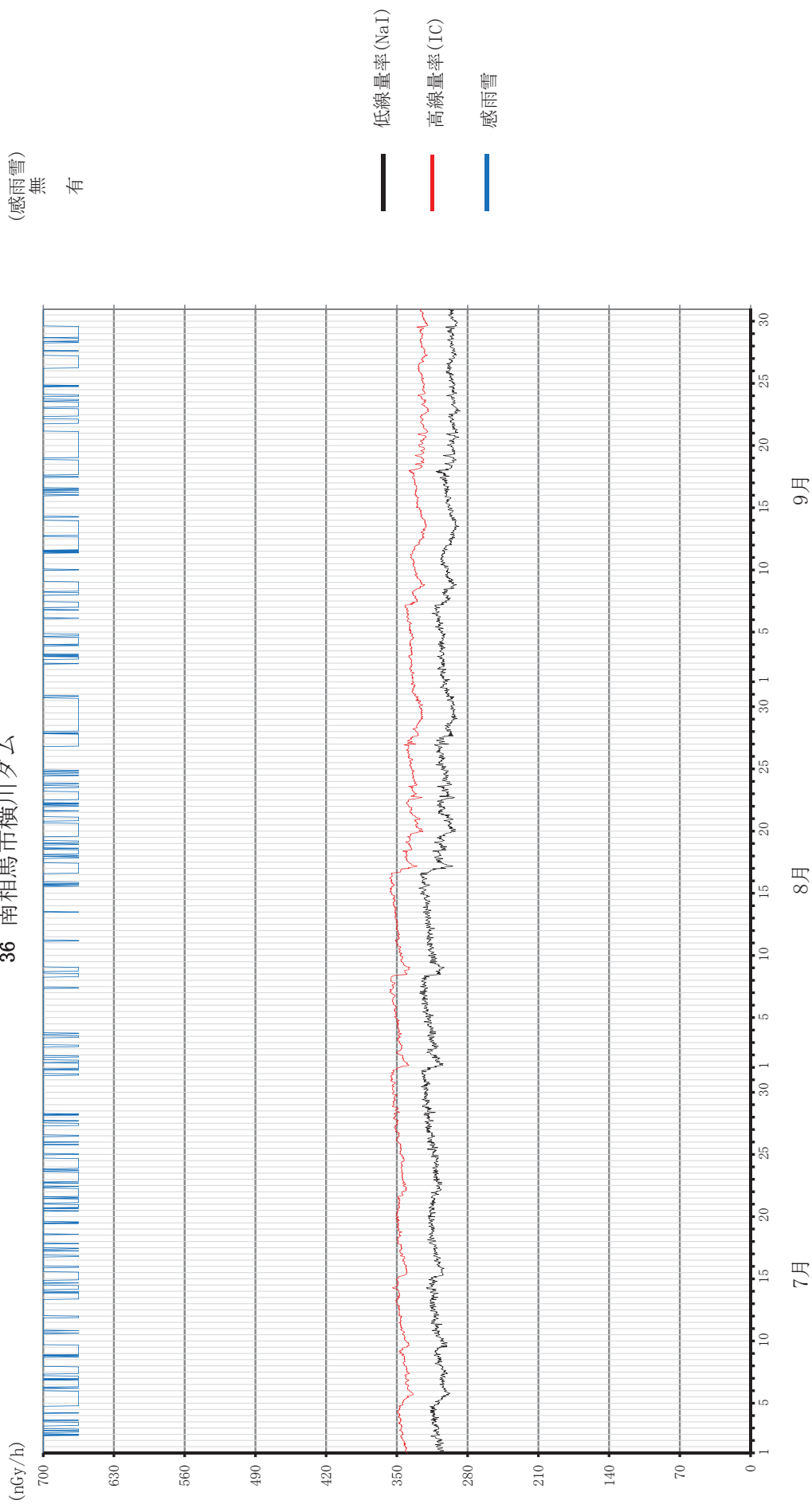


空間線量率の変動グラフ 35 南相馬市泉沢



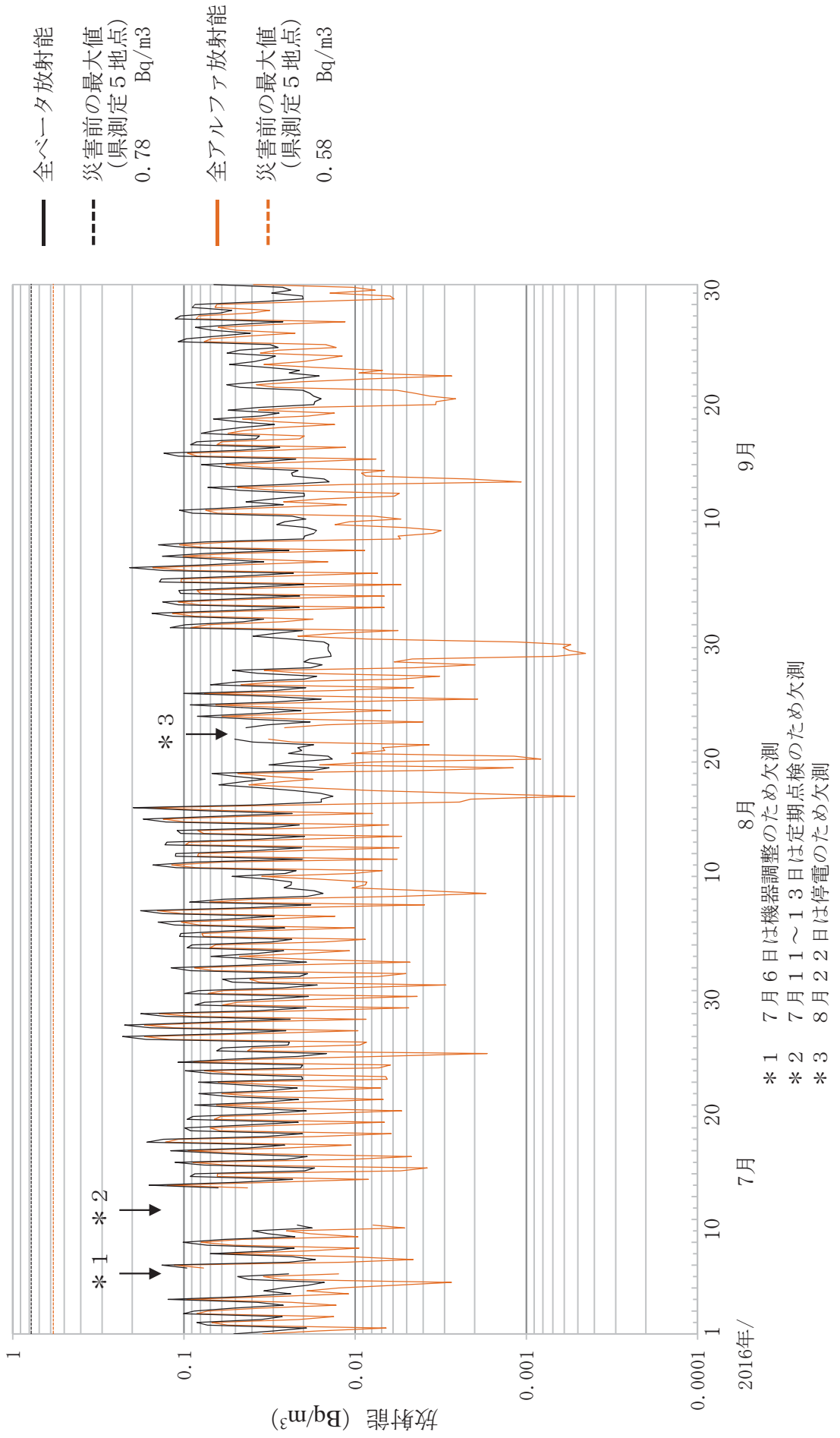
* 1 局舎近傍に除染廃棄物が仮置きされたため線量率上昇

空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム



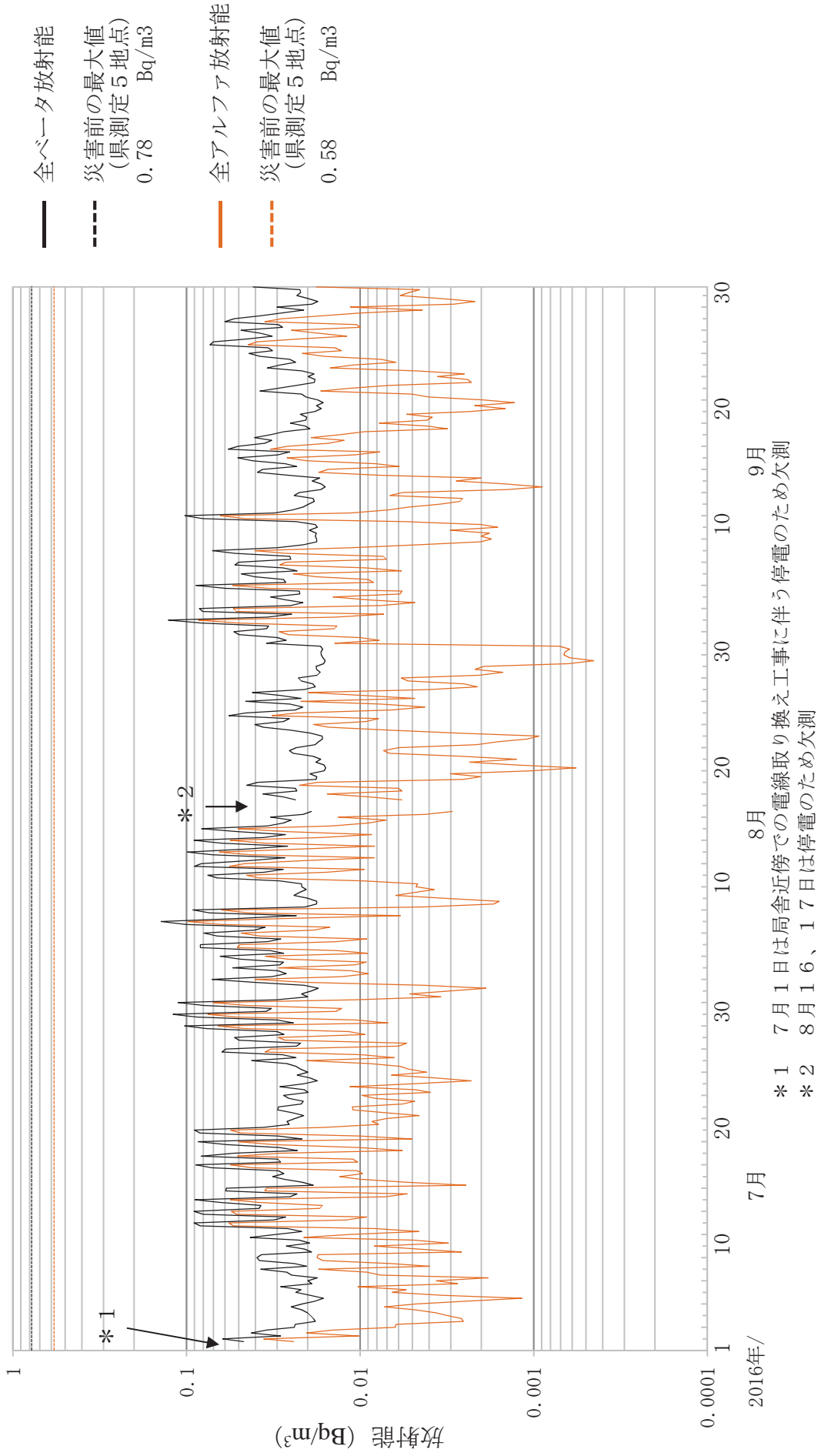
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(平成28年07月01日～9月30日)



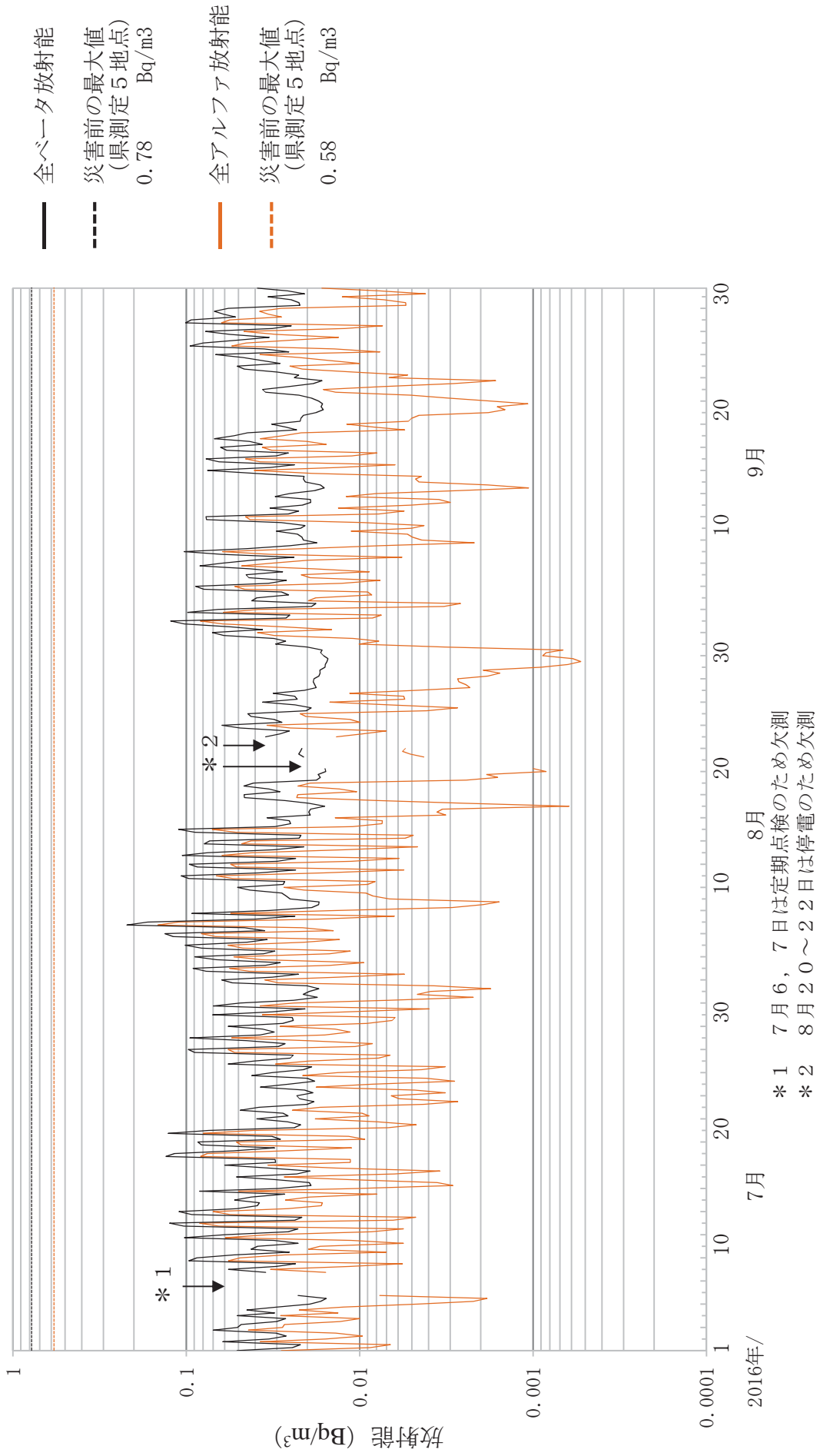
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(平成28年07月01日～9月30日)



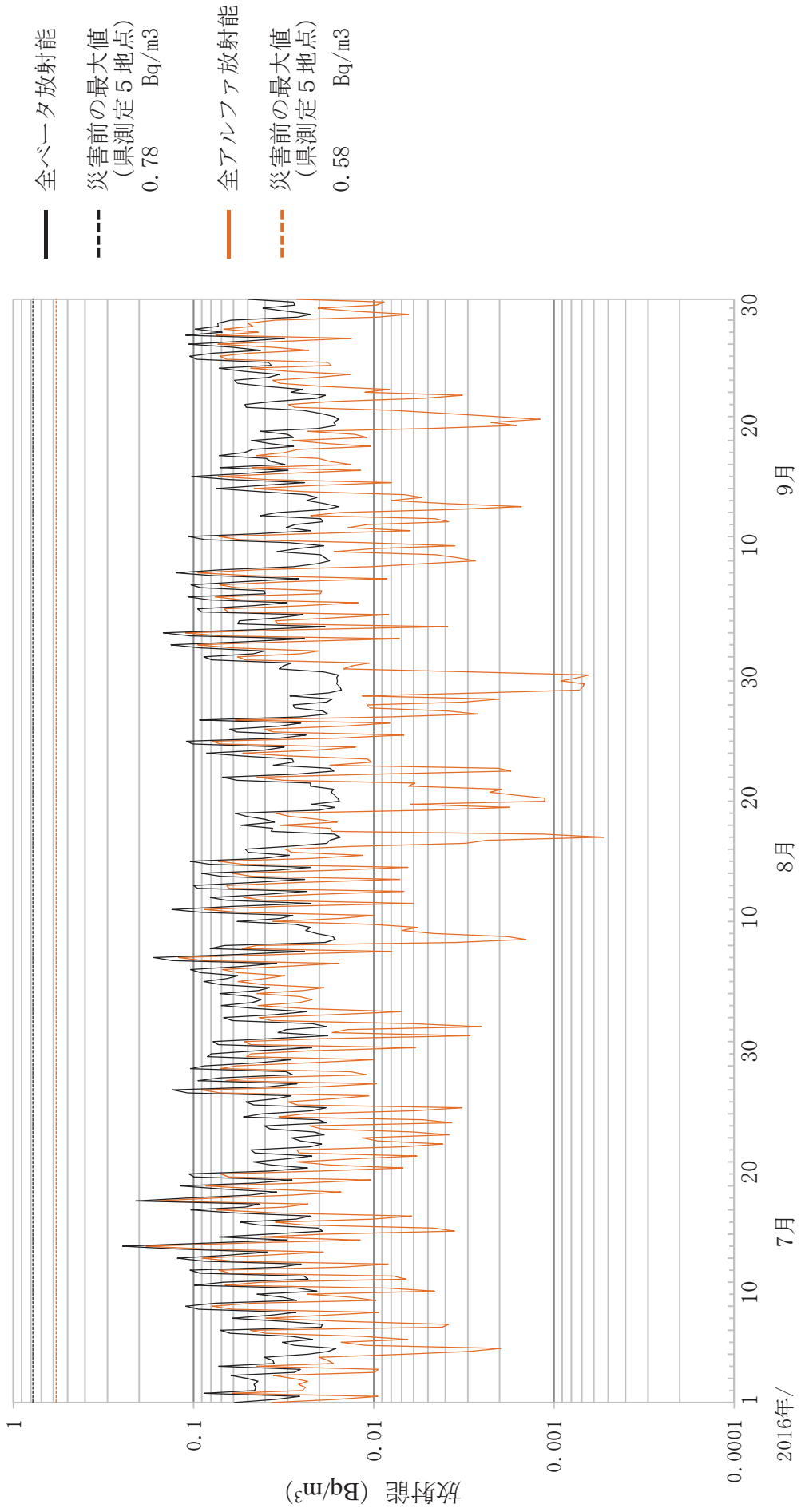
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(平成28年07月01日～9月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

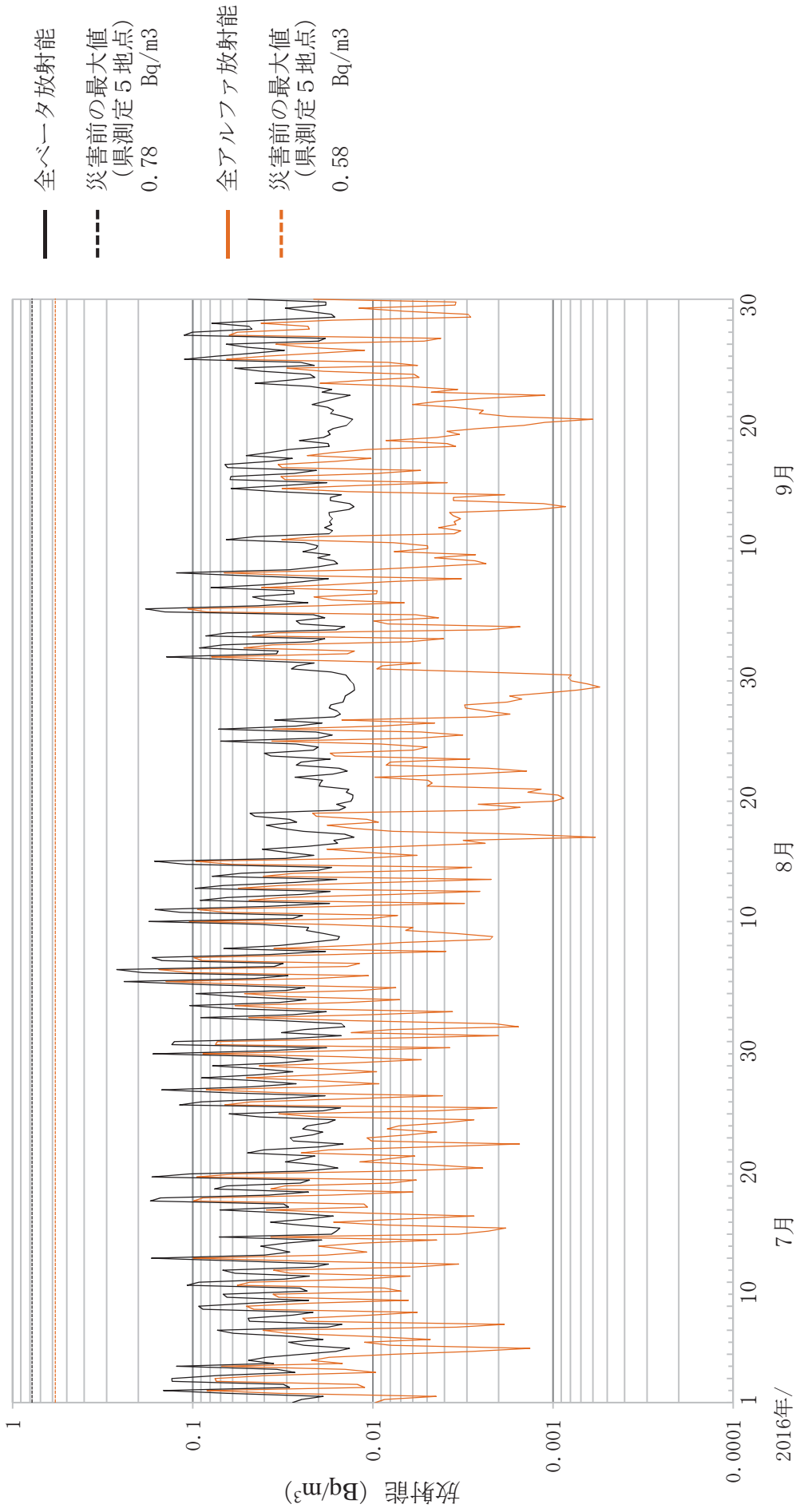
4 榎葉町木戸ダム
(平成28年07月01日～9月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

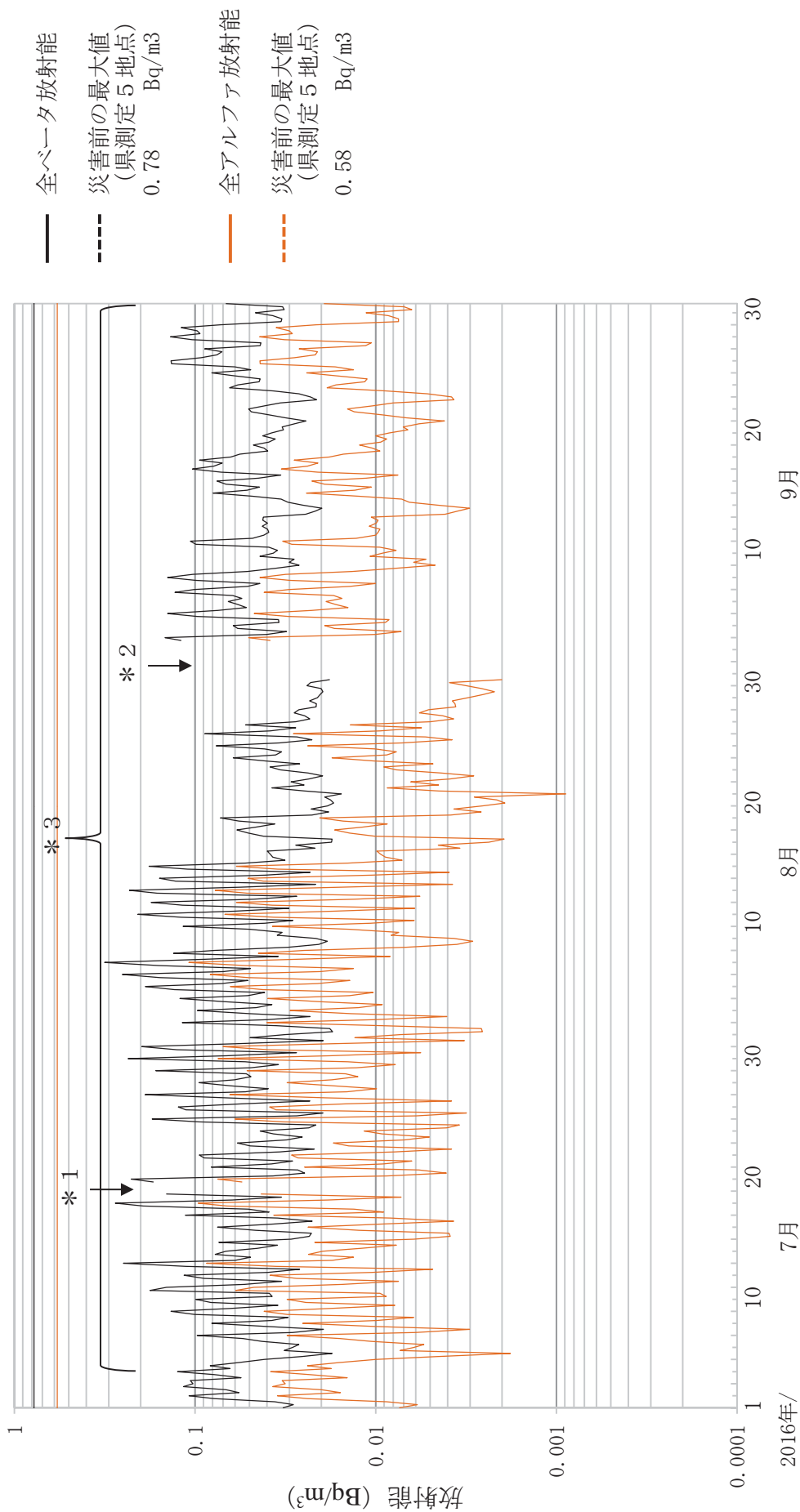
5 榎葉町繁岡

(平成28年07月01日～9月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

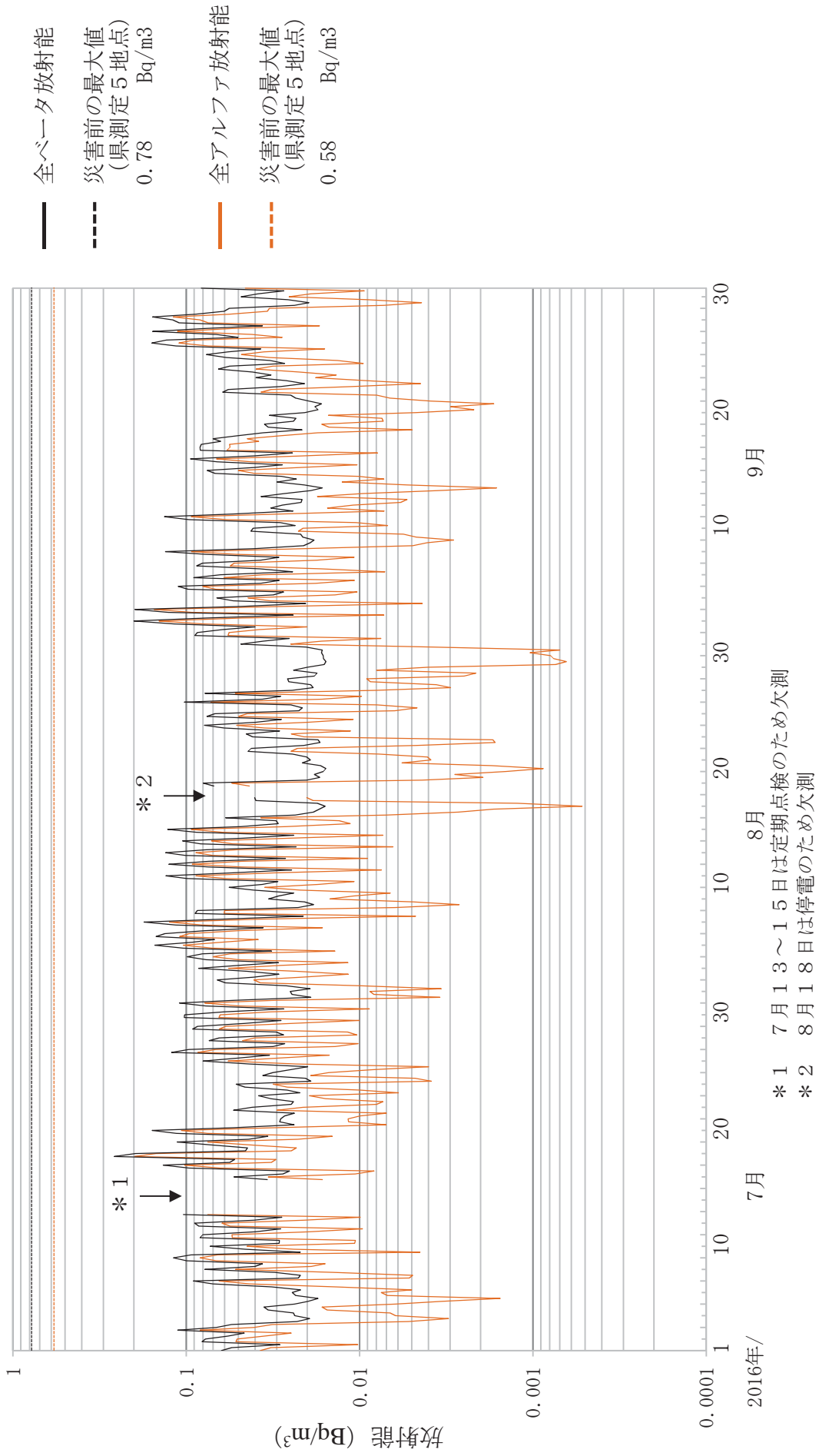
6 富岡町富岡
(平成28年07月01日～9月30日)



- * 1 7月19日は機能維持点検のため欠測
- * 2 8月30, 31日及び9月1, 2日は除染作業のため欠測
- * 3 10月に配管部付属機器の破損が確認されたため、機器の最終確認日(7月4日)から9月30日までを参考値とする

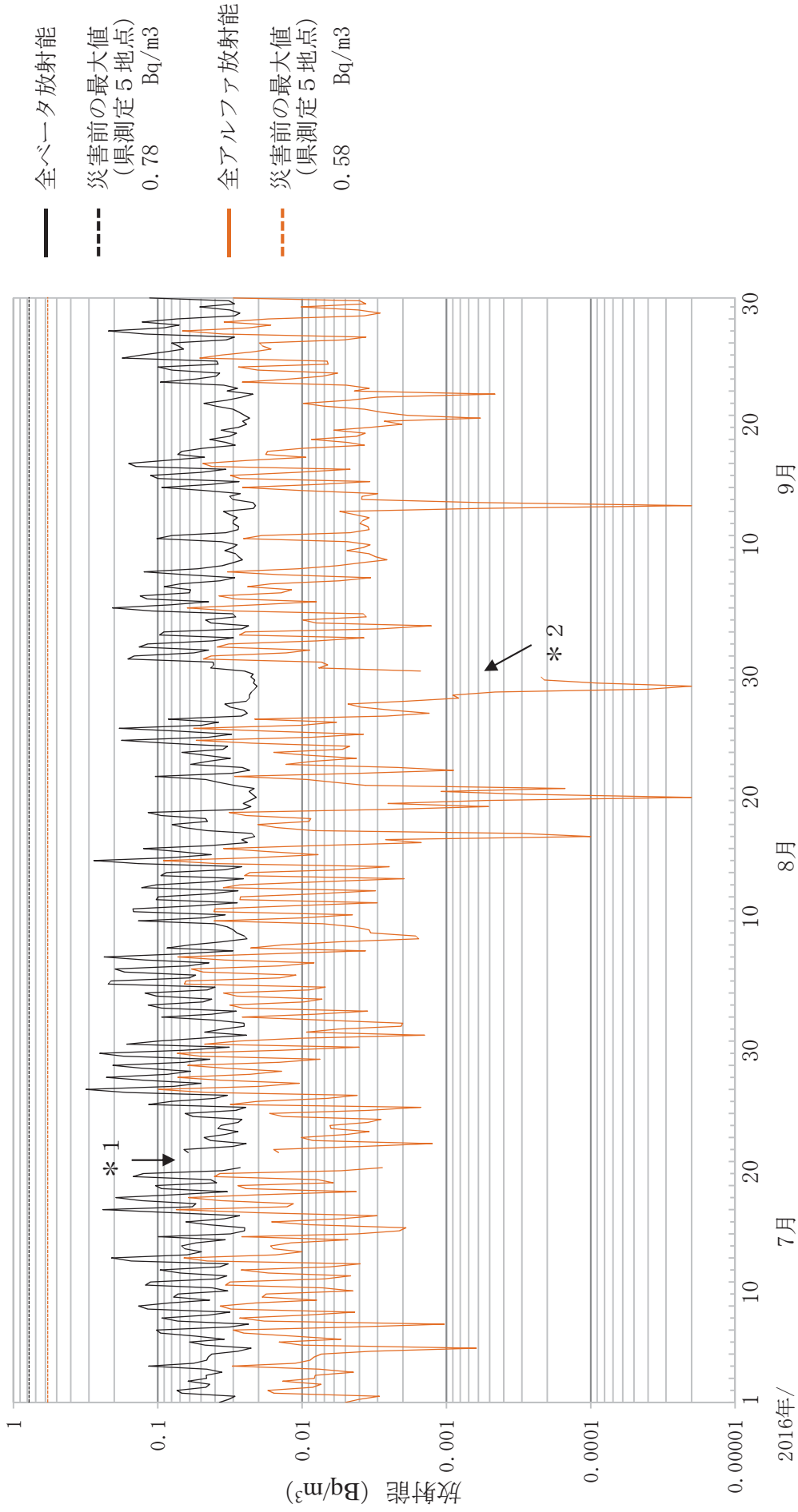
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
(平成28年07月01日～9月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

8 大熊町大野
(平成28年07月01日～9月30日)

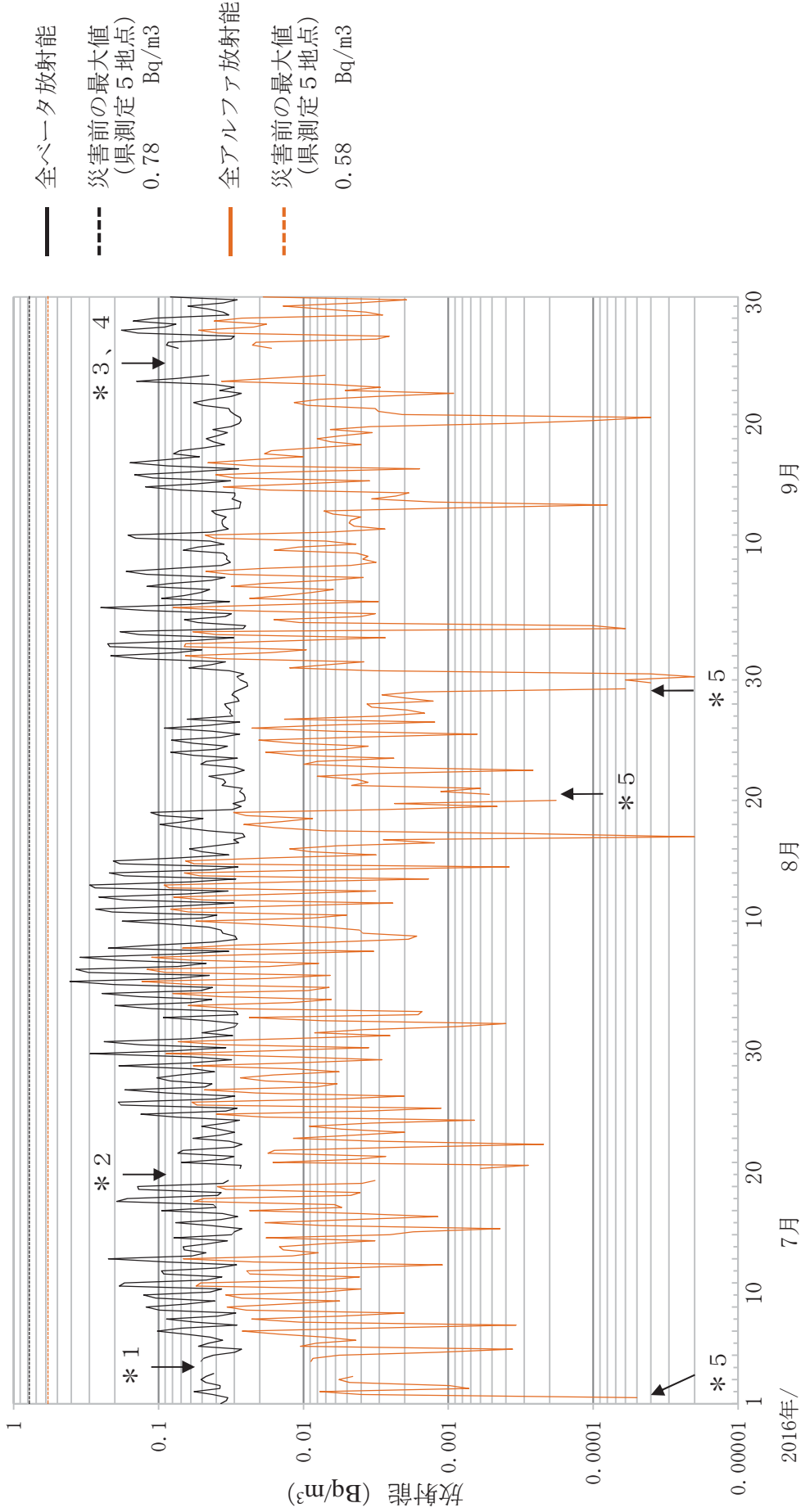


*1 7月20, 21日は機能維持点検のため欠測

*2 8月30日18時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されていない

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

9 大熊町夫沢
(平成28年07月01日～9月30日)



*1 7月4日はダストモニタ吸引口閉塞による吸引ポンプ停止のため欠測

*2 7月19、20日は機能維持点検のため欠測

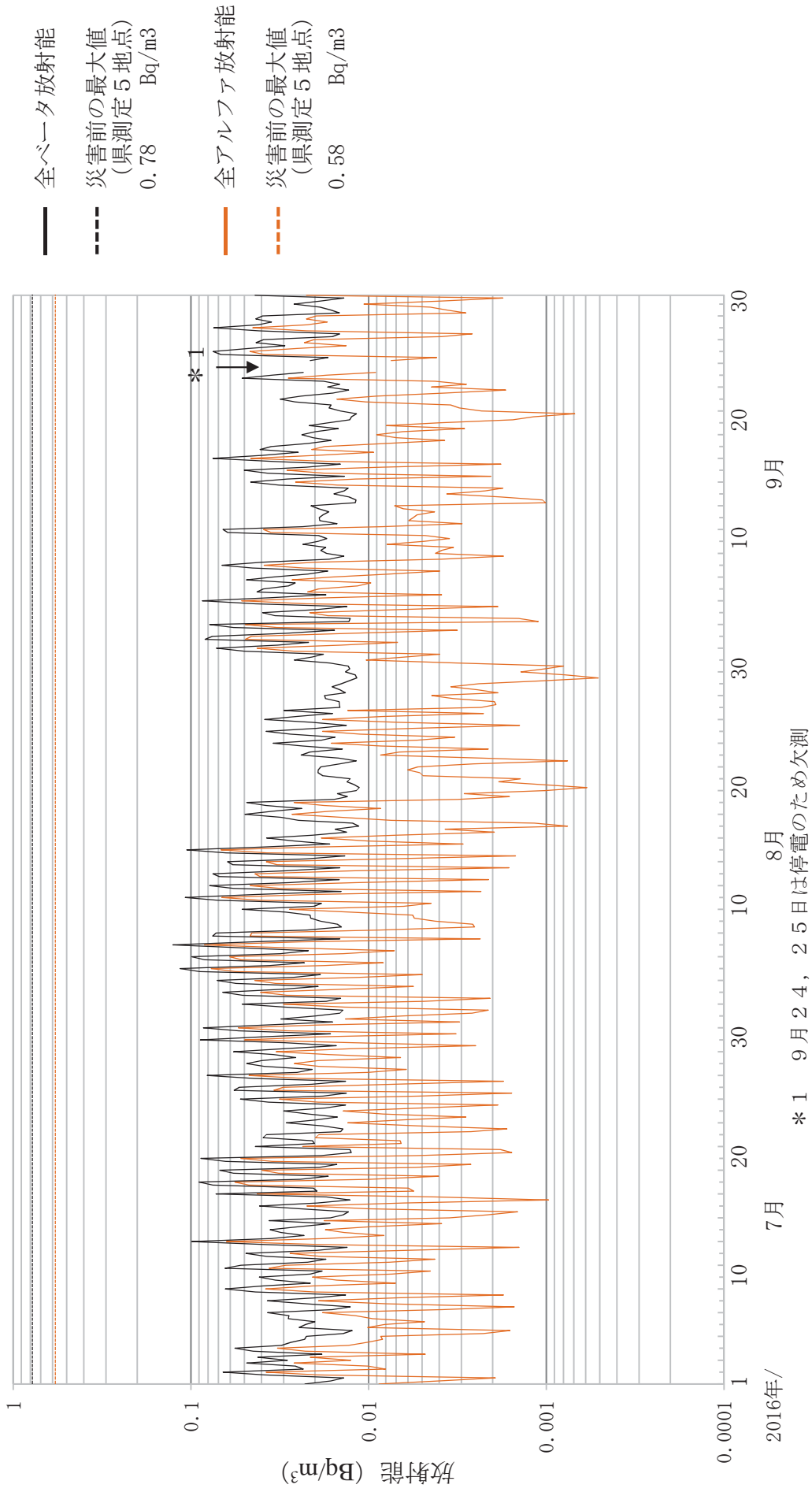
*3 9月24日は停電のため欠測

*4 9月25、26日は機器の不具合により、停電復旧時に測定が自動再開されなかったため欠測

*5 7月1日12時、8月20日12時及び8月29日18時の全アルファ放射能は0Bq/m³のため、対数グラフに表示されない

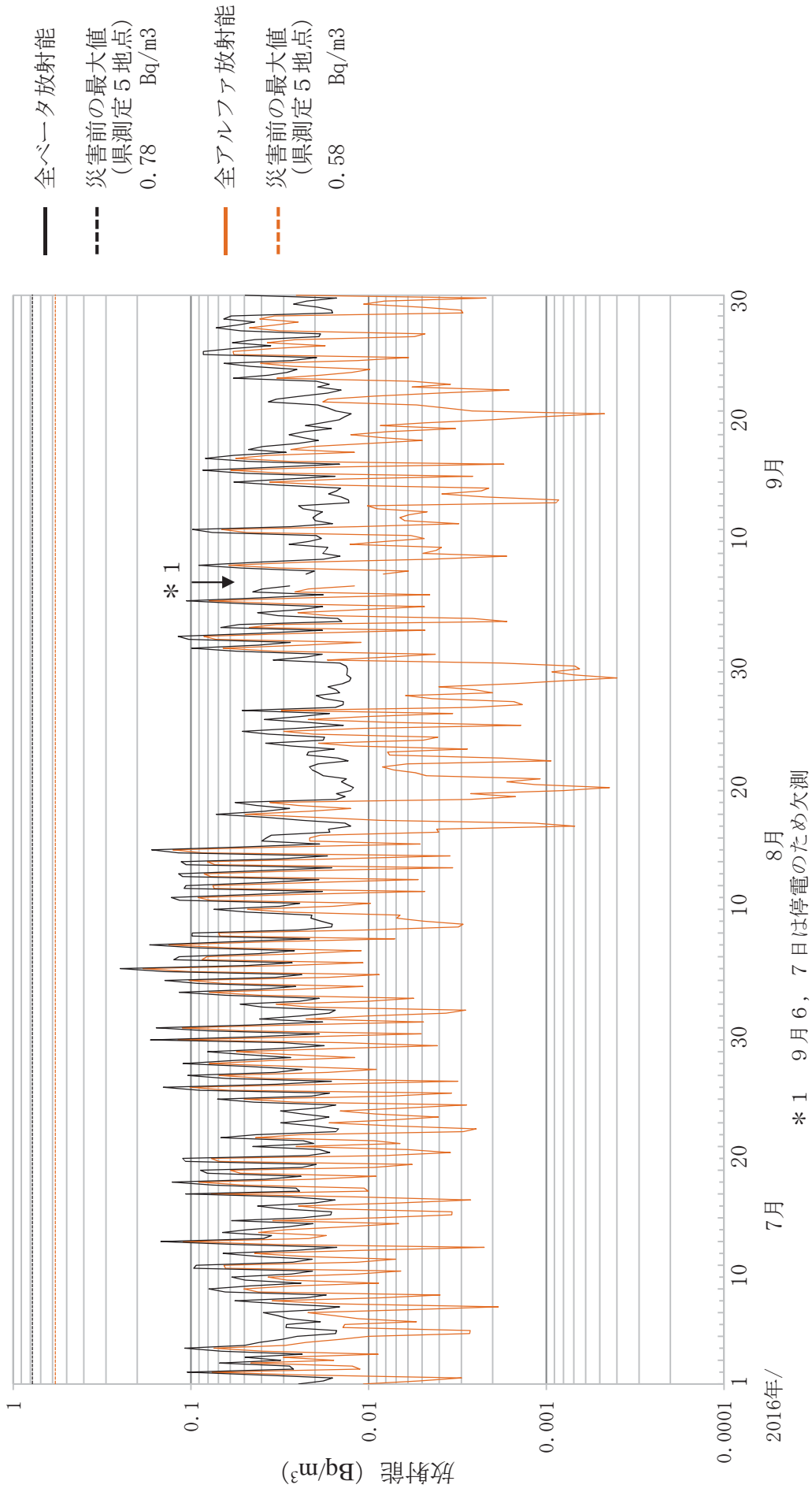
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(平成28年07月01日～9月30日)



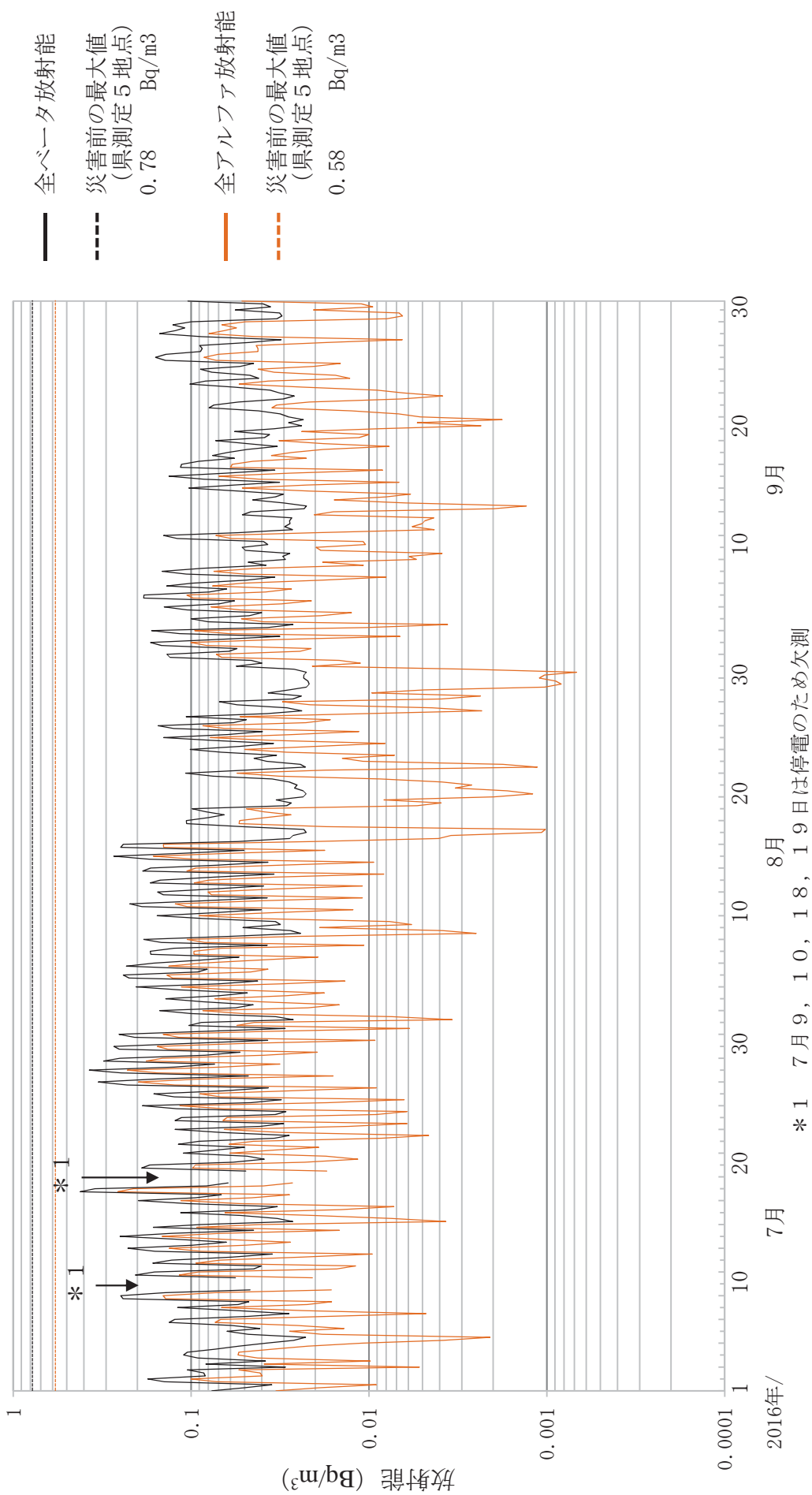
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(平成28年07月01日～9月30日)



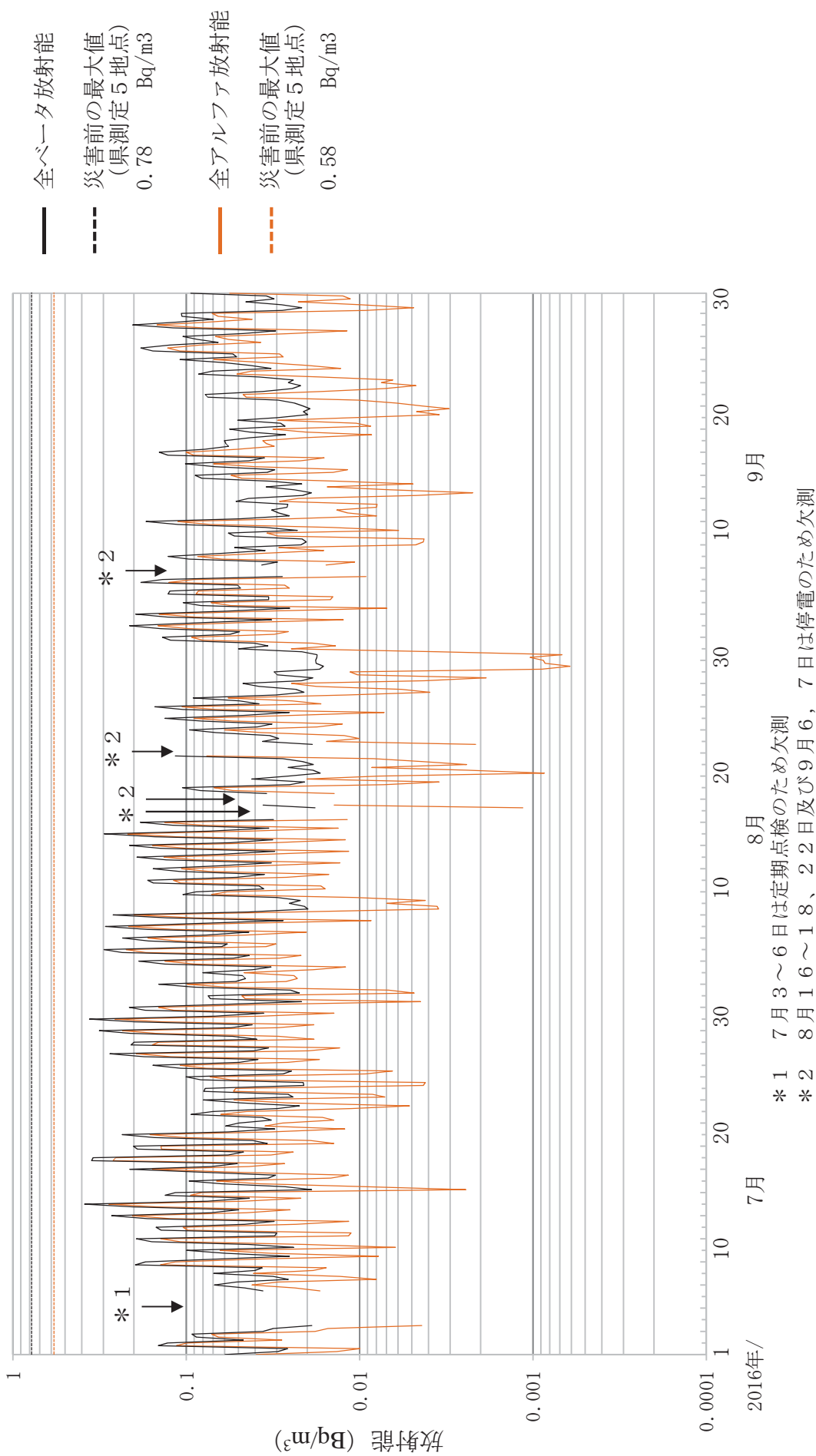
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(平成28年07月01日～9月30日)



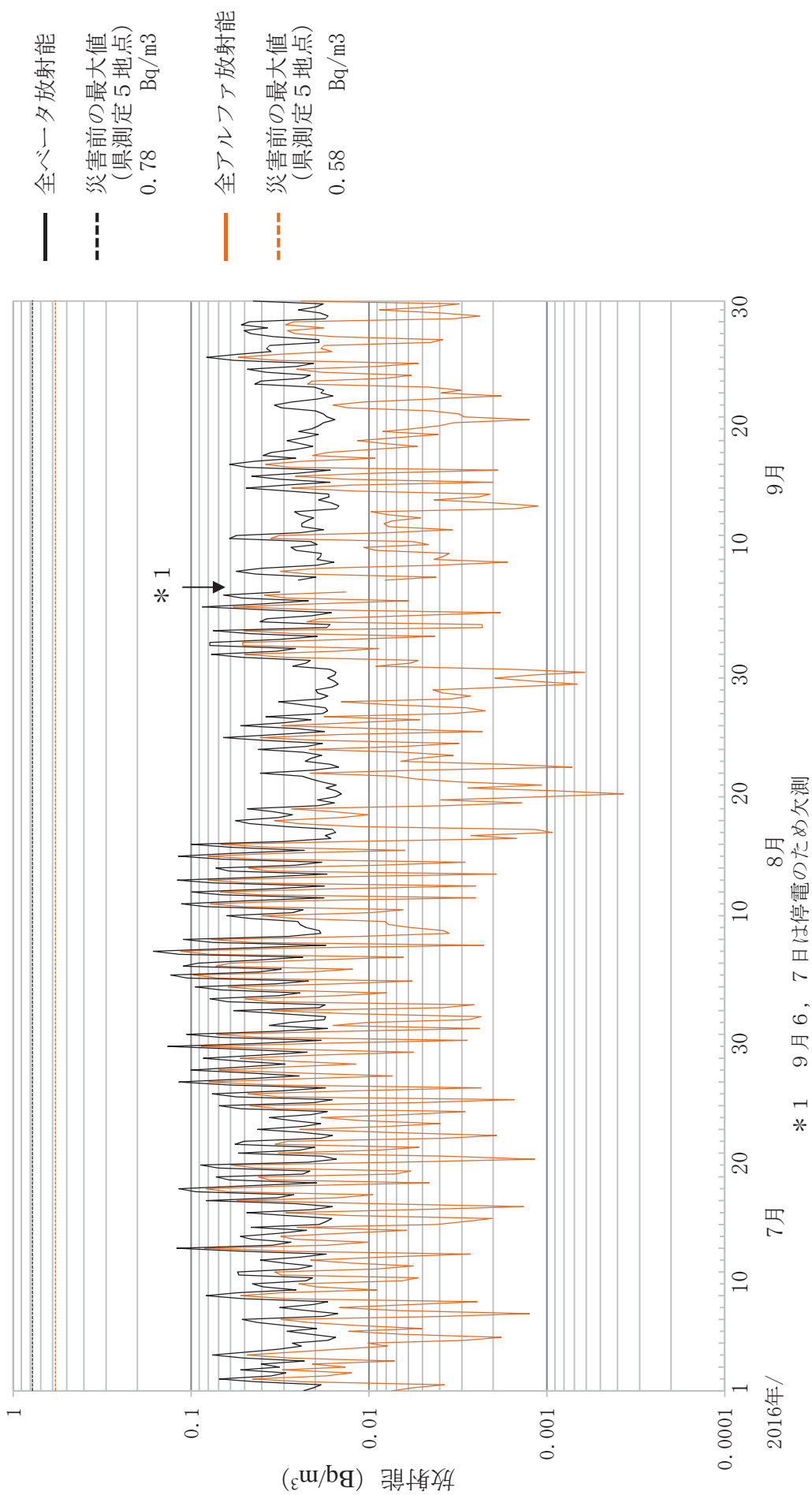
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(平成28年07月01日～9月30日)



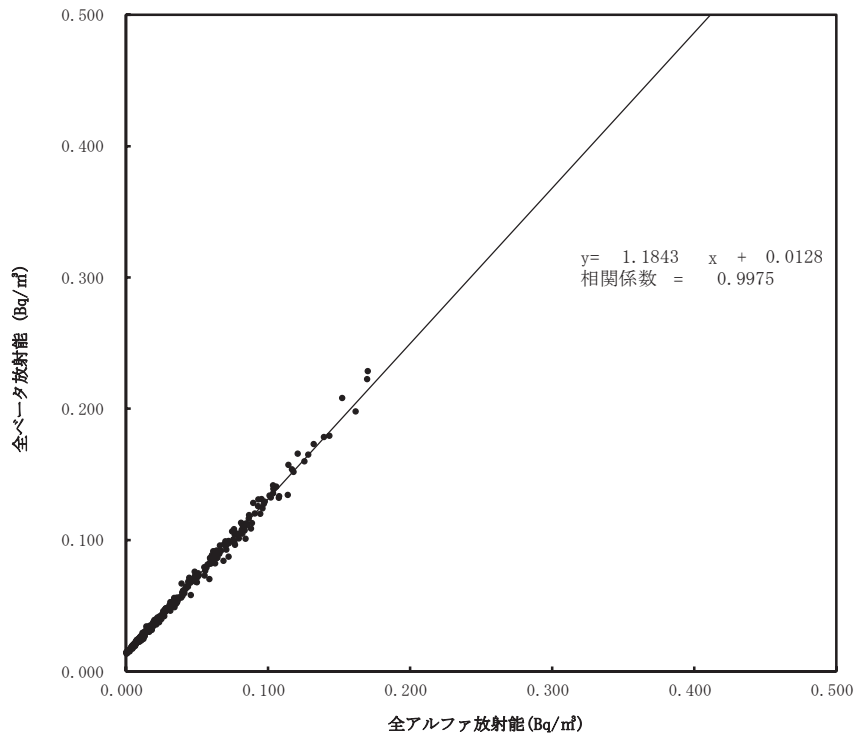
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(平成28年07月01日～9月30日)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(いわき市小川)



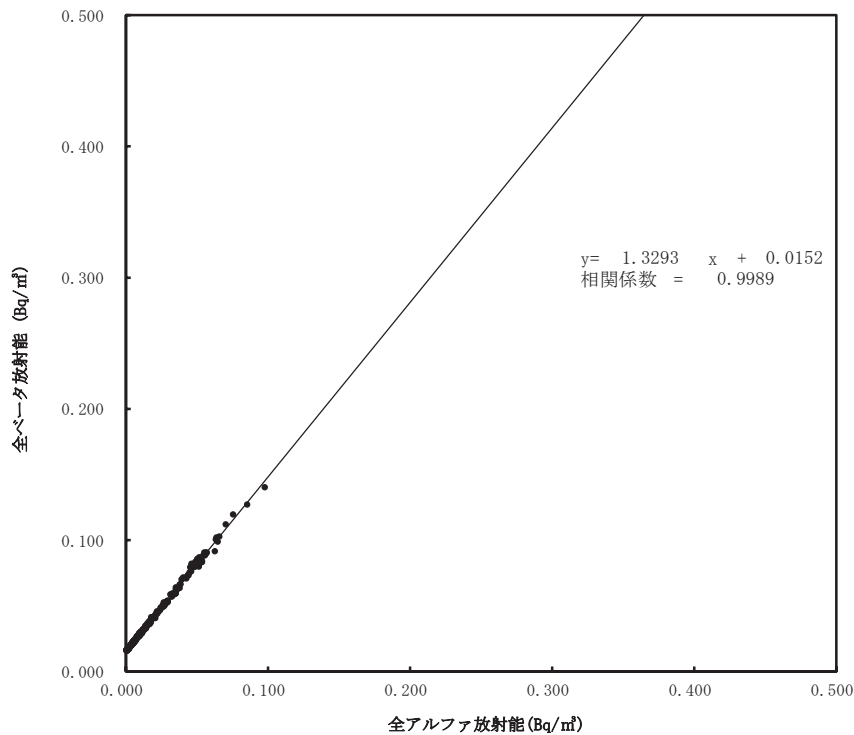
注1 点検前：7月1日～7月11日 点検後：7月13日～9月30日

注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能（傾き）が大きくなった。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン (U₃O₈) 線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリシウム-241 (²⁴¹Am) 線源、ベータ線は塩素-36 (³⁶Cl) 線源を用いた。

大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(田村市都路馬洗戸)



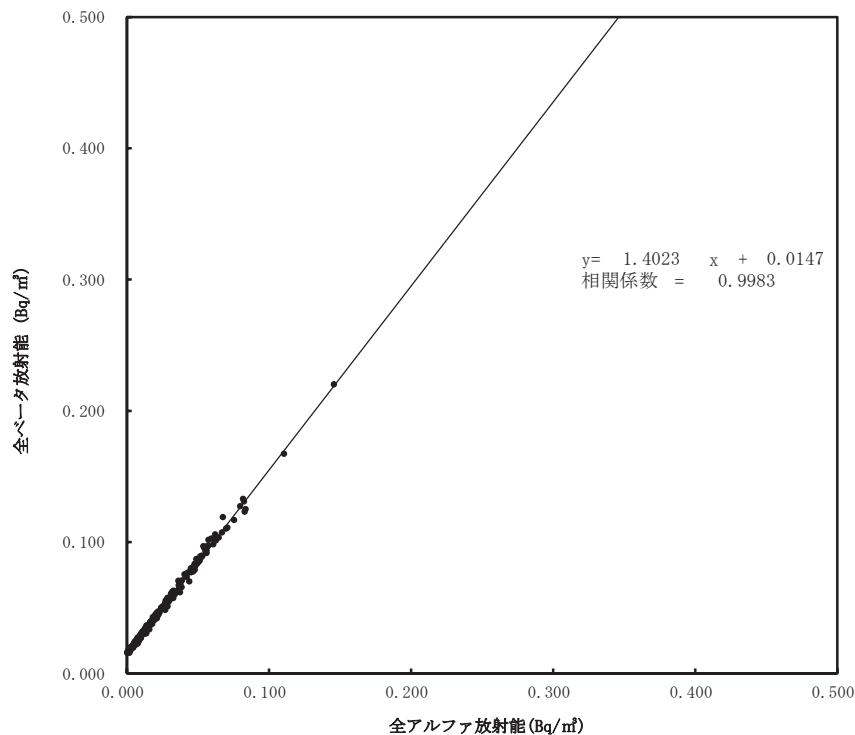
注1 点検前：～6月29日（第1四半期） 点検後：7月1日～9月30日

注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能（傾き）が大きくなった。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン (U₃O₈) 線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリシウム-241 (²⁴¹Am) 線源、ベータ線は塩素-36 (³⁶Cl) 線源を用いた。

大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(広野町小滝平)



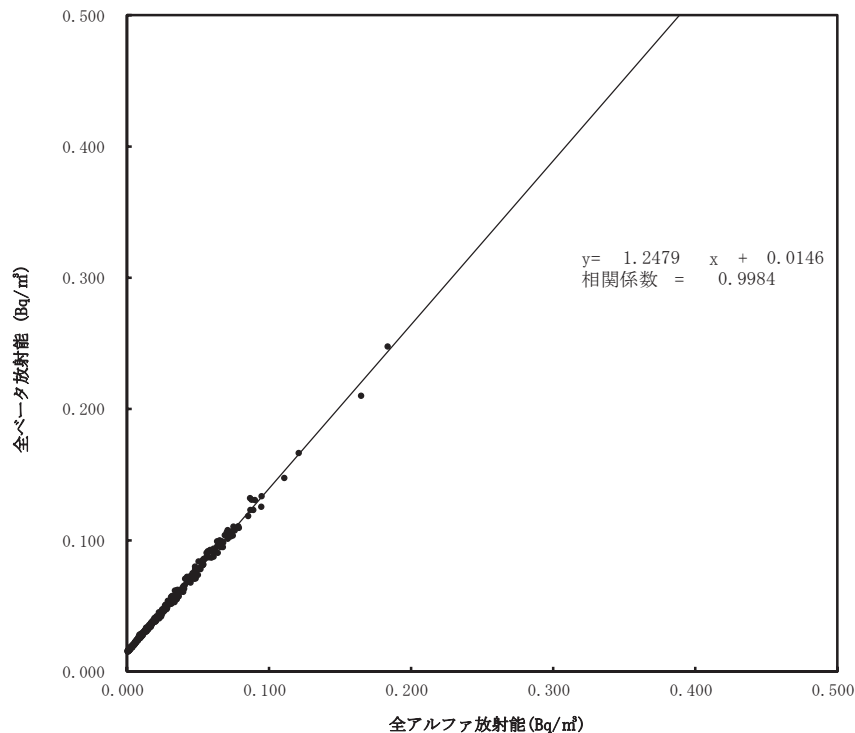
注1 点検前：7月1日～7月6日 点検後：7月7日～9月30日

注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能(傾き)が大きくなった。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン(U₃O₈)線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリシウム-241(²⁴¹Am)線源、ベータ線は塩素-36(³⁶Cl)線源を用いた。

大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(檜葉町木戸ダム)



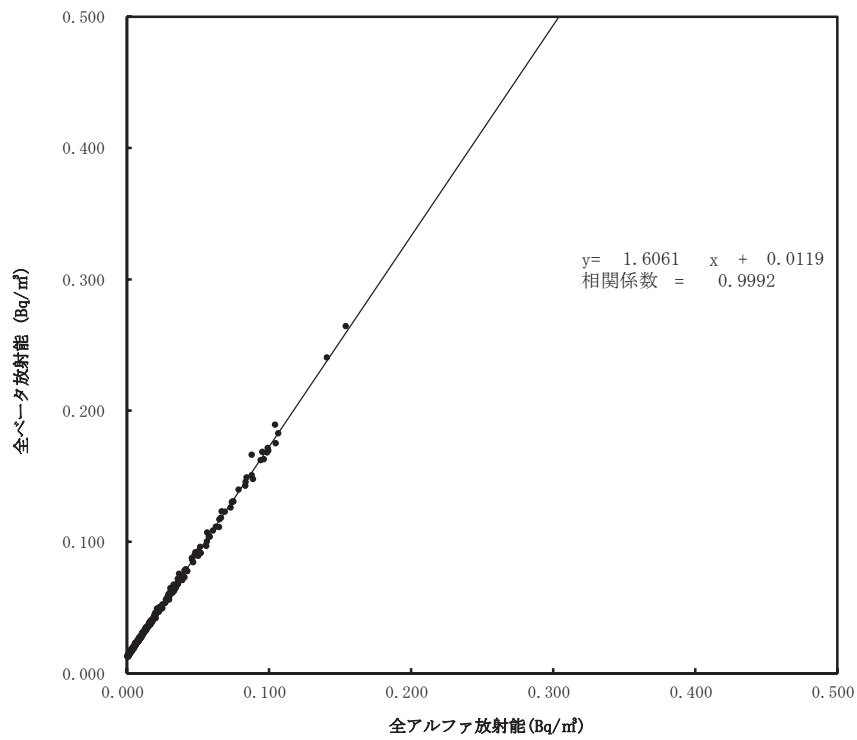
注1 点検前：～6月27日(第1四半期) 点検後：6月29日～(第1四半期)

注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能(傾き)が大きくなった(第2四半期の期間内では変化していない)。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン(U₃O₈)線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリシウム-241(²⁴¹Am)線源、ベータ線は塩素-36(³⁶Cl)線源を用いた。

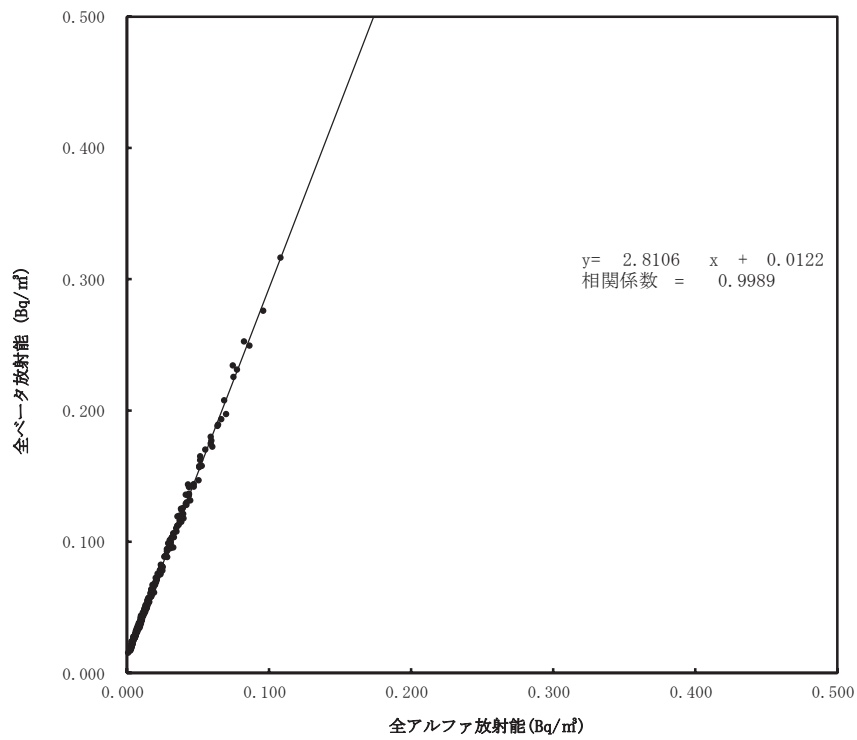
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(檜葉町繁岡)



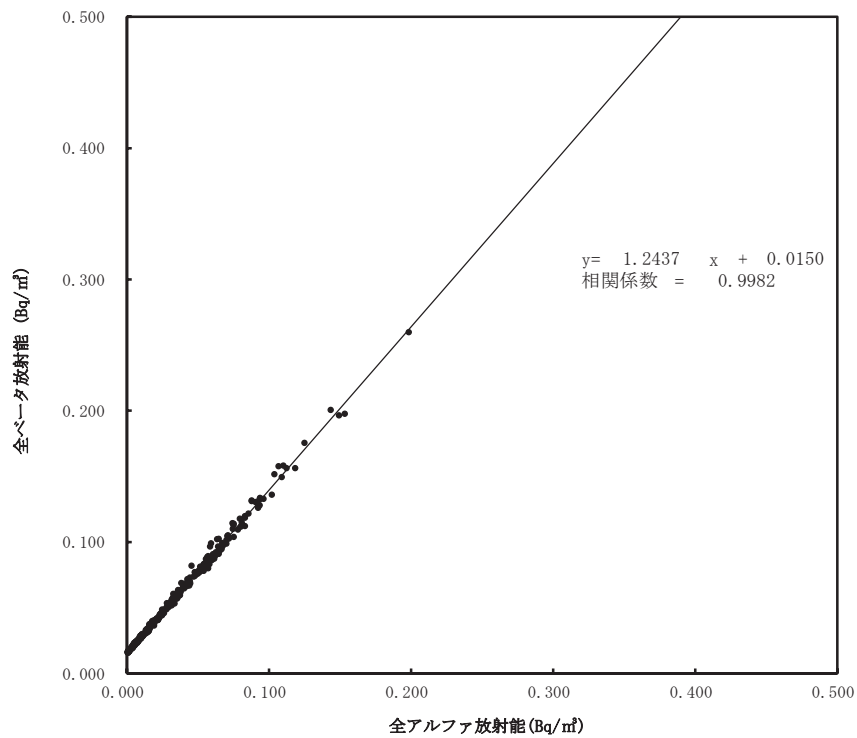
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(富岡町富岡)



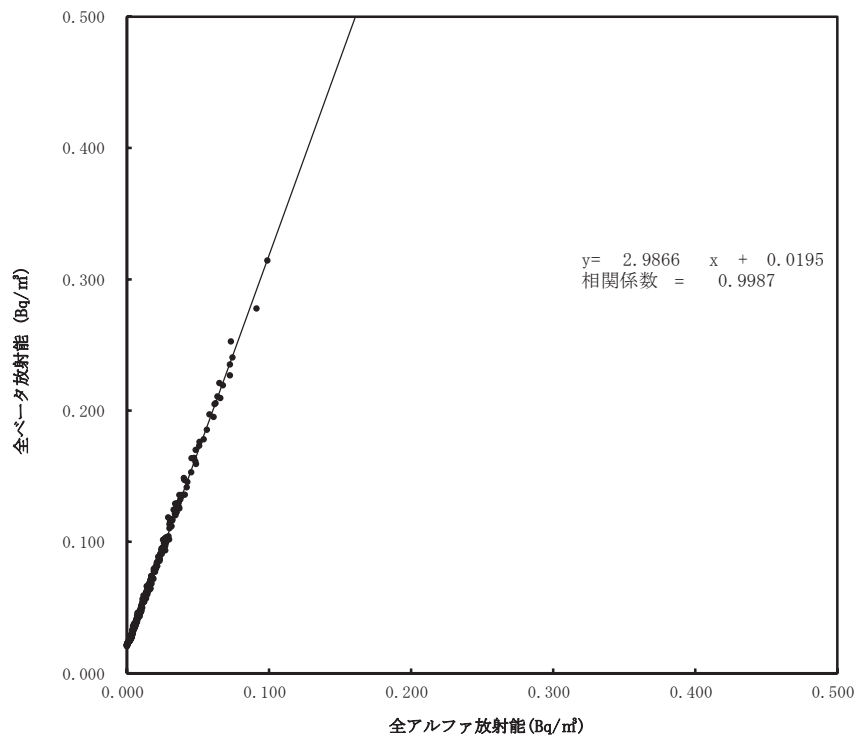
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(川内村下川内)



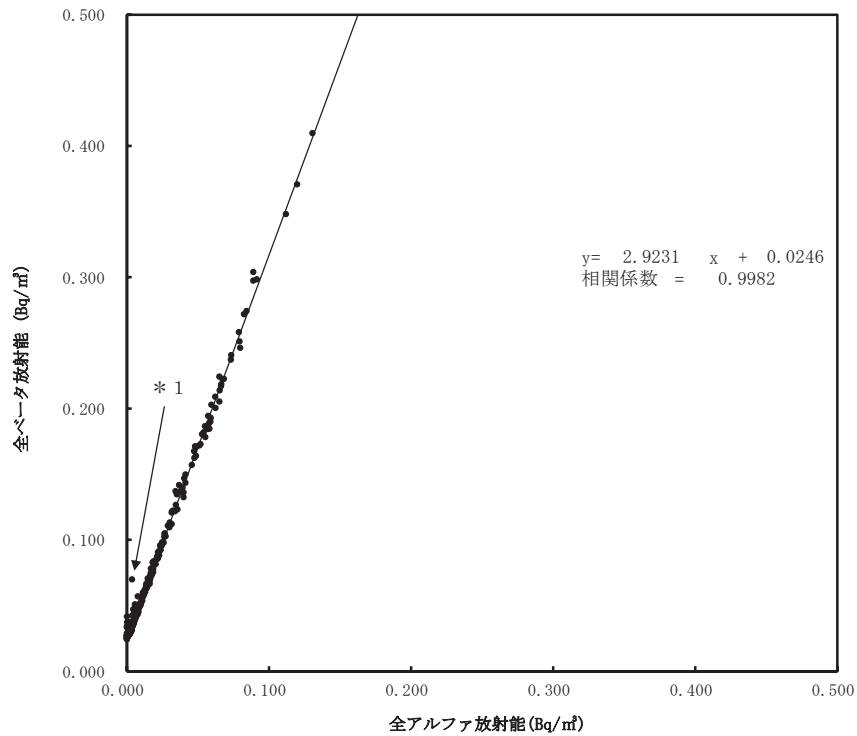
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(大熊町大野)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(大熊町夫沢)

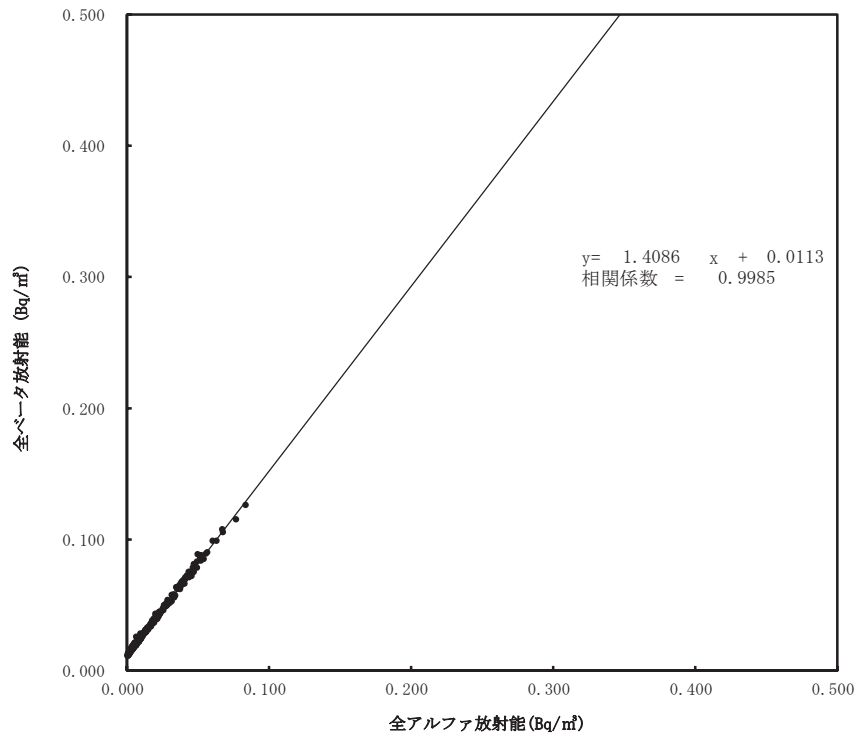


* 1 7月7日12:00(6:00～12:00の6時間値)の相関直線から外れた値については、原因は特定できていないが、当時の状況は次のとおり。

- ・夫沢局での線量率及びMCAによるスペクトルにおいて有意な変動は確認できなかった。
- ・夫沢局は発電所の南に位置し、同時帯の風向は北から北東であり、発電所方面から風が吹いていた。
- ・同時帯においては散水等の粉じん防止対策を行いながら廃炉作業を行っていたことを東京電力に確認した。
- ・作業場所付近及び発電所敷地境界のダストモニタに有意な上昇がないことを東京電力に確認した。

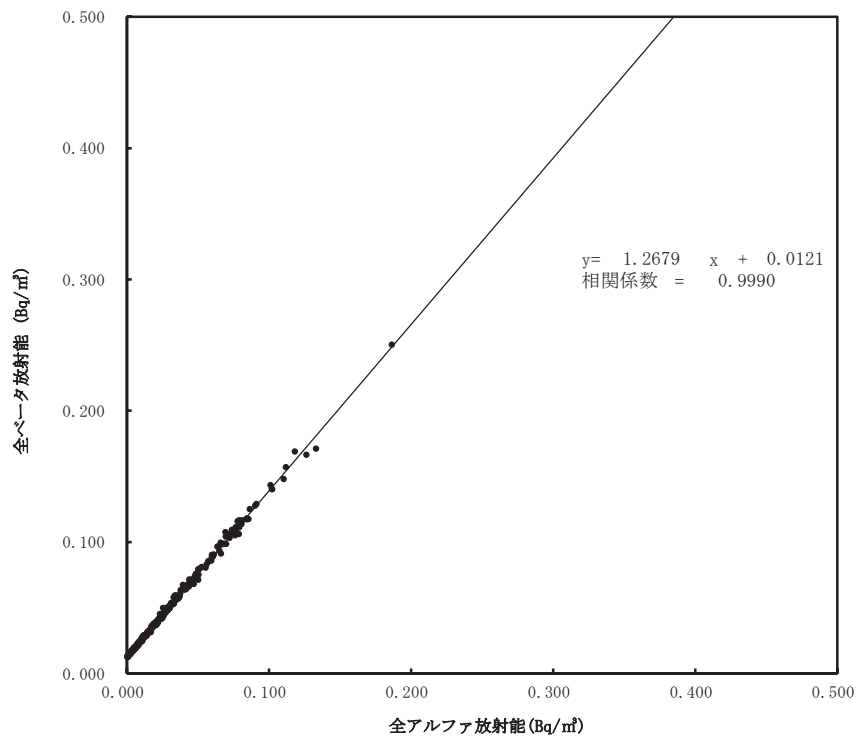
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(双葉町郡山)



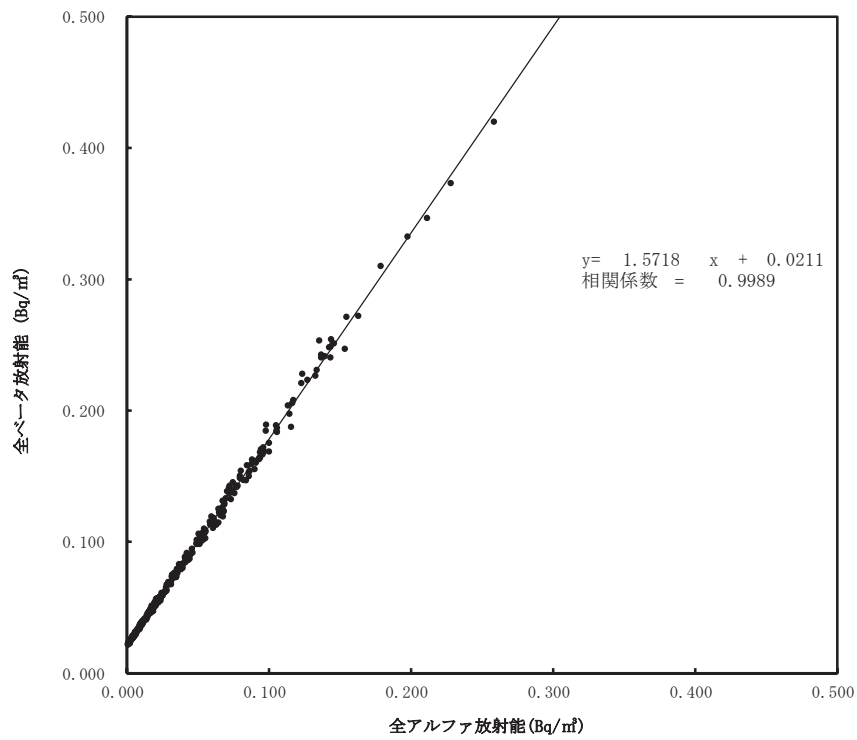
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(浪江町幾世橋)



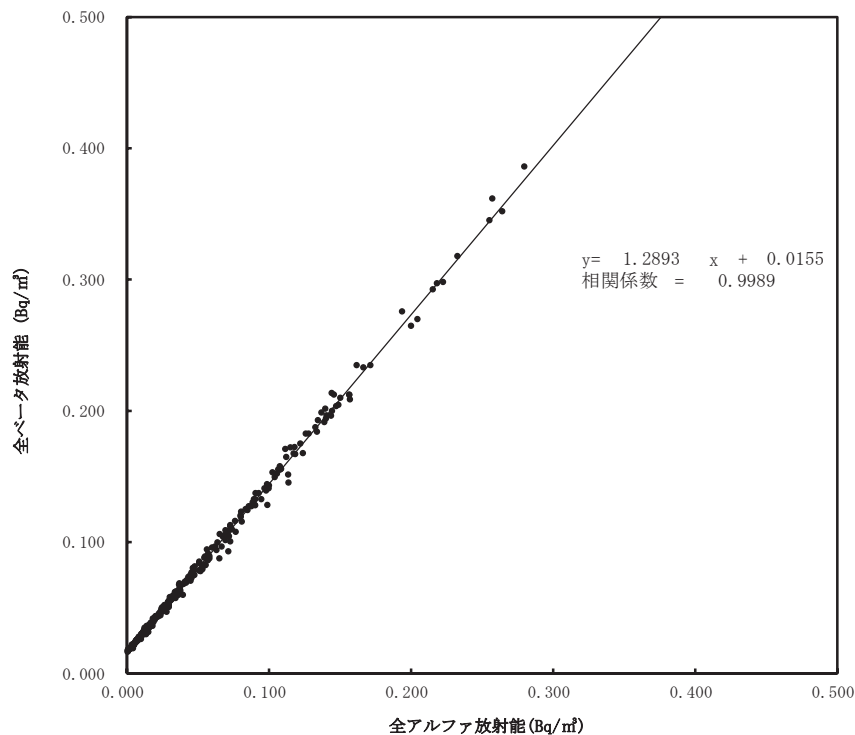
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(浪江町大柿ダム)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(葛尾村夏湯)



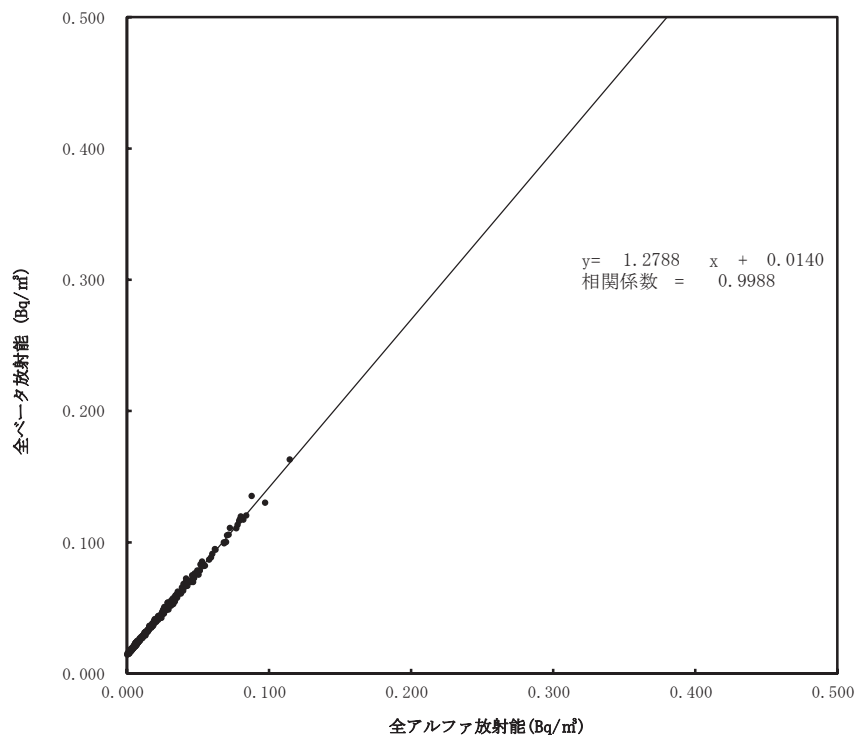
注1 点検前：7月1日～7月4日 点検後：7月6日～9月30日

注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能(傾き)が大きくなった。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン (U₃O₈) 線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリカシウム-241 (²⁴¹Am) 線源、ベータ線は塩素-36 (³⁶Cl) 線源を用いた。

大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(平成28年7月～9月)
(南相馬市泉沢)

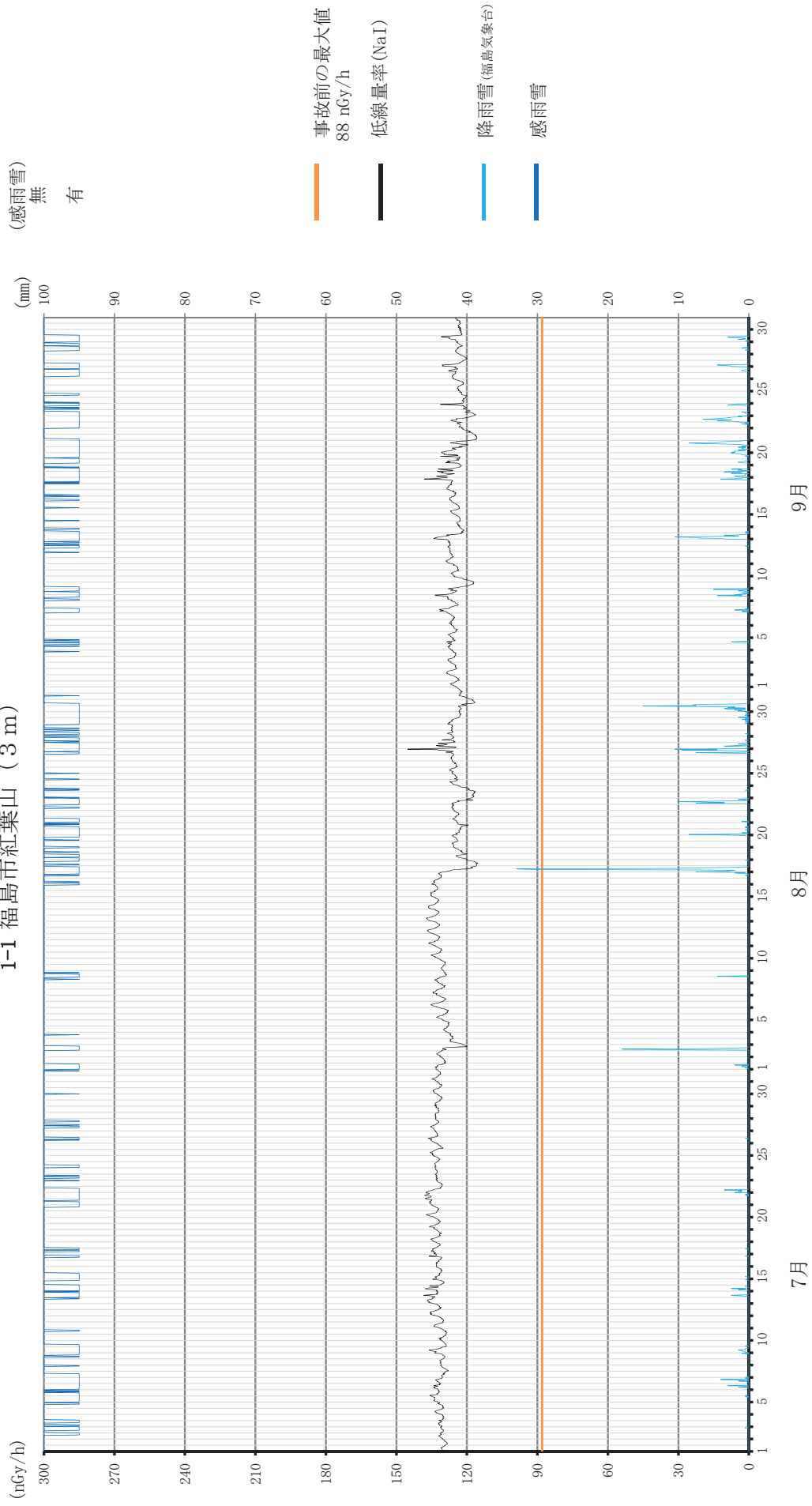


注1 点検前：～6月13日(第1四半期) 点検後：6月13日～(第1四半期)

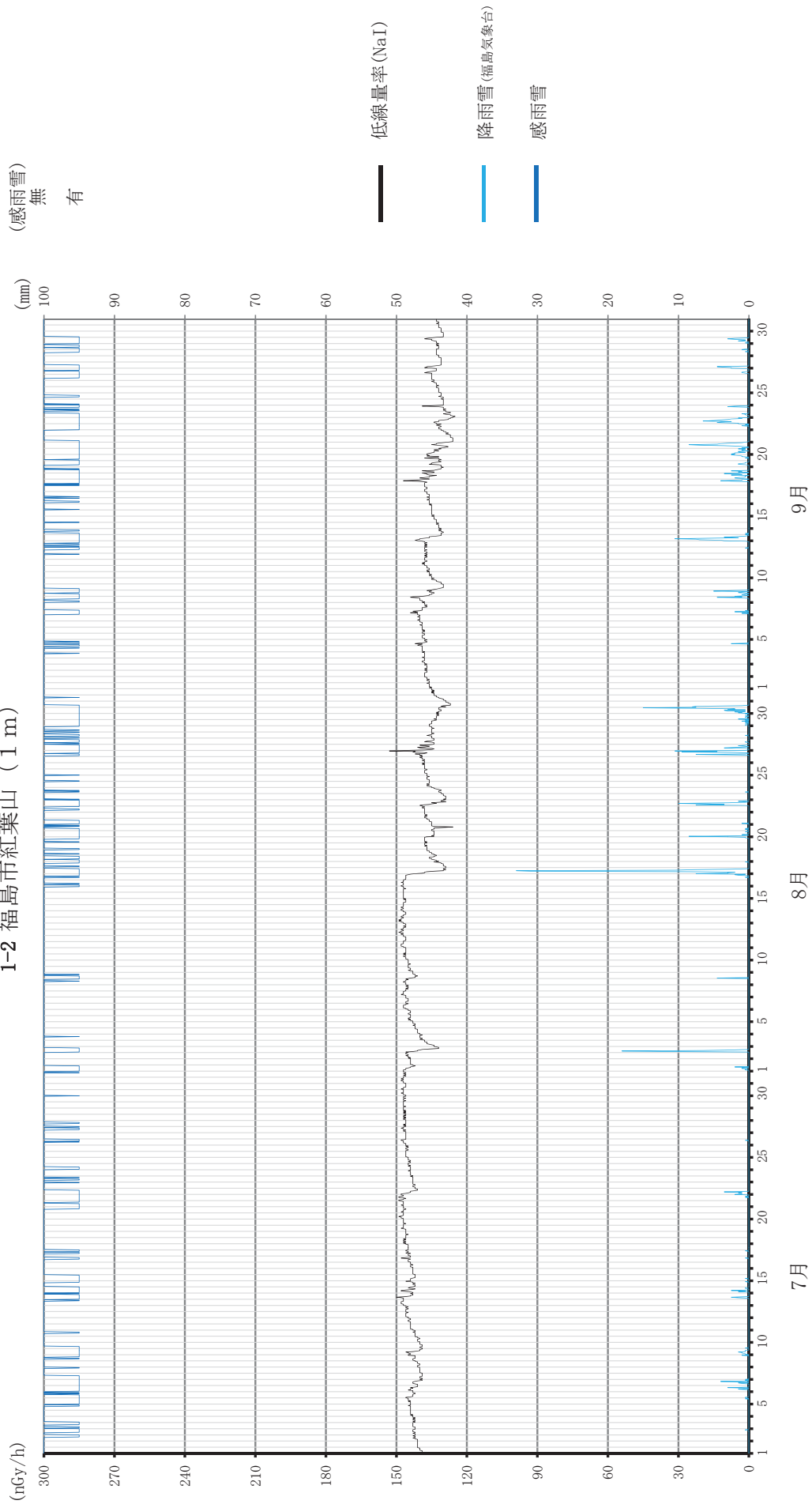
注2 ダストモニタ点検時の検出器校正において使用する標準線源を変更^{※1}したため、平成28年度第1四半期に比べて全ベータ放射能/全アルファ放射能(傾き)が大きくなった(第2四半期の期間内では変化していない)。

*1 以前の点検まで使用する標準線源は酸化ウラン (U₃O₈) 線源を用いていたが、JIS規格の改定により、今回の点検からアルファ線はアメリカシウム-241 (²⁴¹Am) 線源、ベータ線は塩素-36 (³⁶Cl) 線源を用いた。

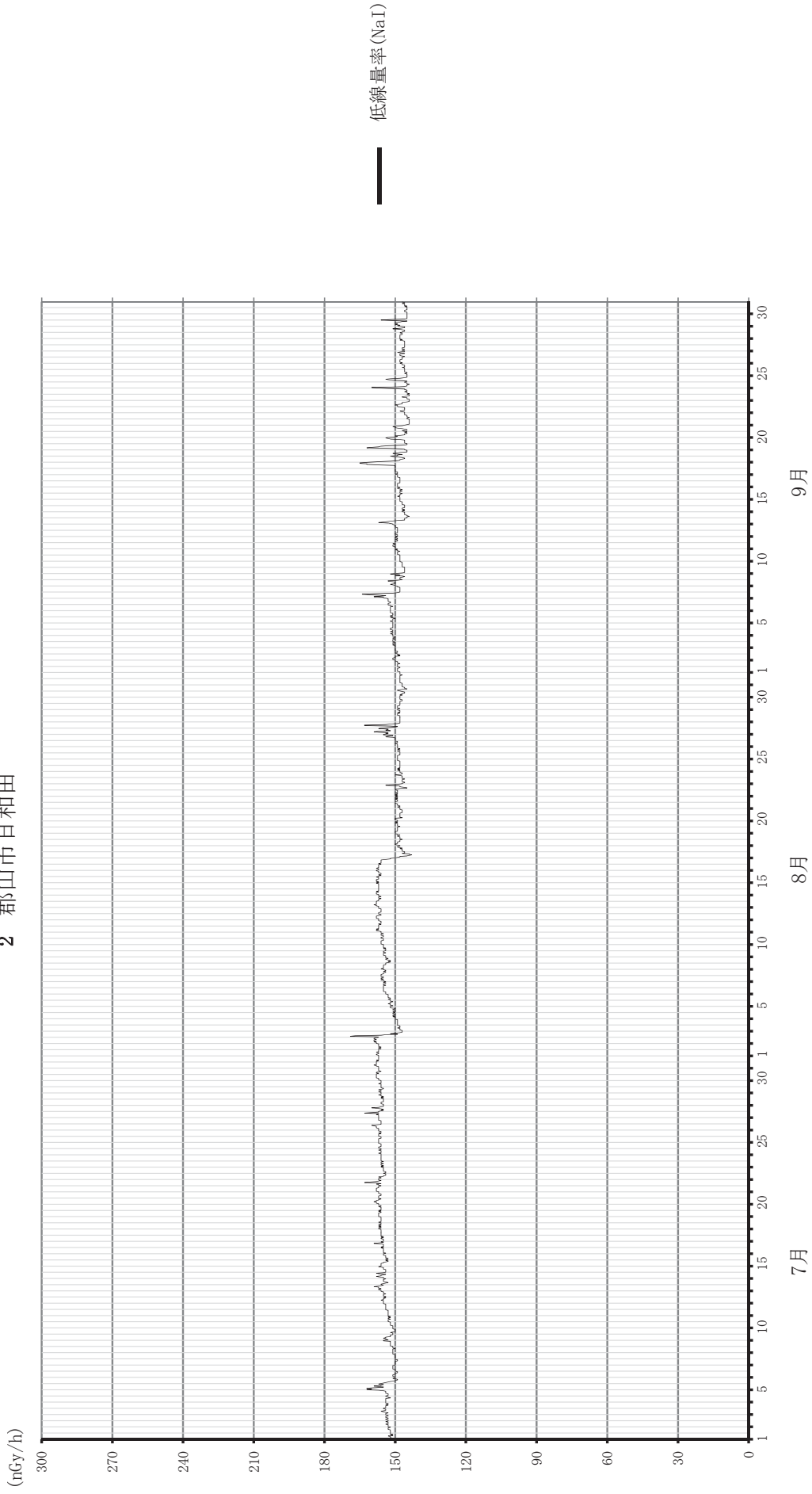
空間線量率の変動グラフ
1-1 福島市紅葉山 (3 m)



空間線量率の変動グラフ 1-2 福島市紅葉山 (1 m)



空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田



空間線量率の変動グラフ
3 いわき市平

